



CX725、CX725R、CX727、 XC4140、XC4143、XC4150、 XC4153 MFP

ユーザーズガイド

2020 年 10 月

www.lexmark.com

機種番号:

7528

機種:

1A9、196、5A6、5A8、5A9、576、578、598

目次

安全情報.....	7
表記規則.....	7
製品ステートメント.....	7
プリンタの詳細.....	10
プリンタに関する情報を見つける.....	10
プリンタの設置場所を選択する.....	11
プリンタ構成.....	12
ケーブルを接続する.....	13
操作パネルを使用する.....	15
電源ボタンとインジケータランプの状態について理解する.....	15
ホーム画面を使用する場合.....	16
ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する.....	18
ホーム画面をカスタマイズする.....	18
サポートされるアプリケーション.....	18
[用紙とお気に入り(Forms and Favorites)]をセットアップする.....	18
[カードコピー]をセットアップする.....	19
ショートカットナビを使用する.....	19
スキャンセンターを設定する.....	19
ディスプレイのカスタマイズを使用する.....	20
デバイスクォータを設定する.....	20
QRコードジェネレータを使用する.....	21
カスタマサポートを使用する.....	21
クラウドコネクタプロフィールを作成する.....	21
ブックマークを管理する.....	22
連絡先を管理する.....	23
ユーザー補助機能をセットアップして使用する.....	25
拡大モードを有効にする.....	25
音声ガイダンスを有効にする.....	25
音声ガイダンスのスピーチ速度を調整する.....	25
音声のパスワードまたは個人 ID 番号を有効にする.....	25
ジェスチャを使用して画面を操作する.....	25
ディスプレイのキーボードを使用する.....	26

用紙と特殊用紙をセットする.....	27
特殊用紙のサイズとタイプを設定する.....	27
ユニバーサル用紙設定を構成する.....	27
トレイをセットする.....	27
多目的フィーダーに用紙をセットする.....	29
トレイのリンク.....	30
用紙サポート.....	32
サポートされている用紙サイズ.....	32
サポートされている用紙タイプ.....	33
サポートされている用紙の重さ.....	34
印刷.....	35
用紙を印刷する.....	35
コンピュータから印刷する.....	35
モバイルデバイスから印刷する.....	35
フラッシュドライブから印刷する.....	37
サポートされているフラッシュメモリとファイルタイプ.....	38
コンフィデンシャルジョブを設定する.....	38
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する.....	39
クラウドコネクタプロファイルからの印刷.....	40
フォントサンプルリストを印刷する.....	40
ディレクトリリストを印刷する.....	40
印刷ジョブをキャンセルする.....	40
コピー.....	42
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	42
コピーを作成する.....	42
写真をコピーする.....	42
レターヘッド紙にコピーする.....	42
用紙の両面にコピーする.....	43
コピーを縮小または拡大する.....	43
丁合印刷する.....	43
コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する.....	43
1枚の用紙に複数ページをコピーする.....	43
ショートカットコピーを作成する.....	44

E メールで送信する.....	45
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	45
E メール用に SMTP サーバーを設定する.....	45
E メールを送信する.....	46
E メールショートカットを作成する.....	46
Fax.....	47
プリンタを設定して Fax を送信する.....	47
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	54
FAX を送信する.....	54
FAX を予約送信する.....	55
FAX 宛先のショートカットを作成する.....	55
FAX 解像度の変更.....	55
FAX の濃度を調整する.....	56
FAX ログの印刷.....	56
迷惑 FAX のブロック.....	56
FAX 保持.....	56
FAX の転送.....	56
スキャン.....	57
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	57
FTP サーバーへのスキャンデータの送信.....	57
FTP ショートカットを作成する.....	57
ネットワークフォルダのショートカットを作成する.....	57
フラッシュドライブにスキャンする.....	58
スキャンして FAX サーバーに送信する.....	59
スキャン文書をコンピュータに送信する.....	59
クラウドコネクタプロファイルにスキャンする.....	59
プリンタメニューを理解する.....	60
メニューマップ.....	60
デバイス.....	61
印刷する.....	75
用紙.....	84
コピー.....	86
Fax.....	89

E メール.....	101
FTP.....	107
USB ドライブ.....	111
ネットワーク/ポート.....	115
セキュリティ.....	127
レポート.....	134
ヘルプ.....	135
トラブルシューティング.....	136
メニュー設定ページを印刷する.....	136
プリンタを保護する.....	137
プリンタメモリを消去する.....	137
プリンタハードディスクメモリを消去する.....	137
プリンタのハードディスクを暗号化する.....	137
出荷時初期設定を復元する.....	137
揮発性に関する記述.....	138
プリンタのメンテナンス.....	139
スピーカー音量の調整.....	139
ネットワーク.....	140
シリアル印刷を設定する (Windows のみ).....	142
プリンタ部品の清掃.....	143
部品と消耗品を注文する.....	145
消耗品を交換する.....	149
プリンタを移動する.....	174
電力と用紙を節約する.....	175
リサイクル.....	175
紙詰まりを取り除く.....	177
紙詰まりを防止する.....	177
紙詰まりの場所を特定する.....	178
トレイの紙づまり.....	179
ドア E の後ろの紙づまり.....	180
多目的フィーダーの紙づまり.....	180
標準排紙トレイの紙づまり.....	181
ドア A の紙づまり.....	182

問題に対処する.....	187
ネットワーク接続の問題.....	187
ハードウェアオプションの問題.....	189
消耗品の問題.....	191
給紙の問題.....	193
印刷の問題.....	196
色品質の問題.....	218
FAX に関するトラブル.....	221
スキャンに関するトラブル.....	223
カスタマサポートに問い合わせる.....	227
アップグレードと移行.....	228
ハードウェア.....	228
ソフトウェア.....	242
ファームウェア.....	243
通知.....	245
索引.....	252

安全情報

表記規則

メモ: メモは、役立つ情報を示します。

注意: 注意は、製品本体またはソフトウェアに障害を与える可能性のある場合を示します。

警告: 警告は、人体に損傷を与える可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。

以下の警告文があります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 損傷の危険性を示します。

 **注意—感電危険:** 感電の危険性を示します。

 **注意—表面高温:** 接触した場合、火傷を起こす危険性を示します。

 **注意—転倒危険:** 押しつぶしの危険性を示します。

 **注意—挟み込み危険:** 動作している部品の間にはさまれる危険があることを示します。

製品ステートメント

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品の近くにあって簡単にアクセスでき、正しく接地され、定格を守ったコンセントに電源コードを接続してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品をご使用の際は、延長コードや、複数コンセントの電源タップ、多口の延長プラグ、UPS 機器に接続しないでください。このようなタイプのアクセサリは、レーザープリンタを接続すると簡単に電力容量を超過してしまい、火災、機器の故障、プリンタの性能低下などの原因になる可能性があります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品とともに使用できるのは、プリンタと付属の電源コードの間に適切に接続できる Lexmark インラインサージプロテクタのみです。Lexmark 以外のサージプロテクタを使用すると、火災、物的損傷、プリンタの性能低下などが起こるおそれがあります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアで使用する場合、ケーブルはオーストラリア通信メディア庁によって承認されているものである必要があります。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷雨時には、本製品のセットアップや、電源コード、FAX、電話など、電氣的な接続を行わないでください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、イーサネットおよび電話線の接続など、すべての外部接続が表示どおりのポートに正しく行われていることを確認してください。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの設置後にコントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷のときは、FAX を使用しないでください。
-  **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。
-  **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量が 20 kg (44 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。
-  **注意—傷害の恐れあり:** プリンタを移動するときは、けがやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。
- すべてのドアとトレイが閉じられていることを確認します。
 - プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
 - プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
 - プリンタに別途フロアスタンド型オプショントレイまたは排紙オプションが取り付けられている場合は、それらを取り外してからプリンタを移動します。
 - プリンタにキャスターベースがある場合は、慎重に新しい場所に移動します。しきいや床の割れ目を通るときは注意してください。
 - プリンタにキャスターベースがなく、オプションのトレイまたは排紙オプションで構成されている場合は、排紙オプションを取り外してからプリンタをトレイから取り外します。どのオプションの場合も、プリンタと同時に持ち上げないでください。
 - 必ずプリンタの持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
 - プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。
 - オプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
 - プリンタは直立状態に保ってください。
 - 急激な動きは避けてください。
 - 下に置くときにプリンタの下に指が入らないようにしてください。
 - プリンタの周囲に十分なスペースがあることを確認します。
-  **注意—転倒危険:** プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスターベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。
-  **注意—転倒危険:** 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。
-  **注意—表面高温:** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。
-  **注意—挟み込み危険:** 挟み込みを防止するため、このラベルが貼られている作業領域では、十分注意してください。挟み込みによる負傷は、ギア、ドア、トレイ、およびカバーなどの動作している部品の周りで起こる可能性があります。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 本製品はレーザーを使用しています。『ユーザーズガイド』に記載されている手順以外の制御、調整などを行うと、有害な放射にさらされる恐れがあります。

 **注意—傷害の恐れあり：**この製品に使用されているリチウム電池は、交換を前提としていません。リチウム電池の交換を誤ると破裂する危険性があります。リチウム電池の再充電、分解、焼却は行わないでください。使用済みのリチウム電池を廃棄する際は、製造元の指示およびお使いの地域の法律に従ってください。

本機は、特定のメーカーのコンポーネントとともに使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計、テスト、承認されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。メーカーは、他の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

取扱説明書に記載以外の事項については、サービス担当者にお尋ねください。

本製品は印刷処理において印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害ガスが発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択についてのセクションをよく読み、有害ガスが放出されないようにしてください。

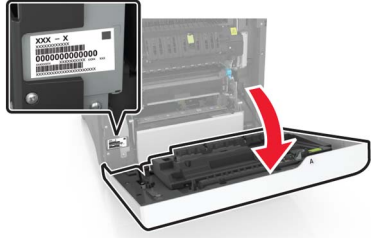
この製品は、通常の操作中に少量のオゾンが発生する可能性があるため、推奨される被爆制限値をはるかに下回るレベルまでオゾンの濃度を抑制するよう設計されたフィルタが取り付けられています。非常に頻繁に使用してもオゾンの濃度レベルが高くならないよう、この製品は換気のよいエリアに設置し、製品の保守説明に記載されているとおり、オゾンおよび排気フィルタを交換してください。フィルタに関する記述が製品の保守説明に見当たらない場合、この製品には交換が必要なフィルタが搭載されていないことを意味します。

この手引きを大切に保管してください。

プリンタの詳細

プリンタに関する情報を見つける

検索する場所	入手先
初期セットアップ手順: - プリンタに接続する - プリンタソフトウェアをインストールする	詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照するか、http://support.lexmark.comを参照してください。
プリンタを使用するための詳細な設定および手順: - 用紙および特殊用紙を選択して保存する - 用紙をセットする - プリンタ設定を構成する - ドキュメントおよび写真を表示して印刷する - プリンタソフトウェアをセットアップして使用する - ネットワーク上でプリンタを構成する - プリンタの手入れと保守を実施する - 問題に対処して解決する	情報センター—http://infoserve.lexmark.com にアクセスします。 [ヘルプ]メニューページ—プリンタのファームウェアのガイドを参照するか、http://support.lexmark.comを参照してください。 タッチ画面ガイド—http://support.lexmark.comを参照してください。 製品ビデオ—http://infoserve.lexmark.com/idv/ を参照してください。
プリンタのユーザー補助機能のセットアップと設定に関する情報	Lexmark アクセシビリティガイド—http://support.lexmark.comを参照してください。
プリンタソフトウェアの使用に関するヘルプ	Microsoft Windows または Macintosh のオペレーティングシステムのヘルプ—プリンタソフトウェアプログラムまたはアプリケーションを開き、[ヘルプ]をクリックします。  をクリックすると、状況に対応した情報が表示されます。 メモ: - ヘルプシステムはプリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。 - オペレーティングシステムに応じて、プリンタソフトウェアは、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップに配置されます。

検索する場所	入手先
最新の補足情報、更新、およびお客様サポート: • マニュアル • ドライブダウンロード • ライブチャットサポート • E メールサポート • 電話サポート	http:// support.lexmark.com)を参照してください。 メモ: 国または地域を選択してから、製品を選択し、該当するサポートサイトを表示します。お住まいの国または地域を担当するサポートの連絡先情報については、Web サイトまたはプリンタに同梱されている書面の保証書でご確認ください。 カスタマサポートにお問い合わせの際には、次の情報を手元に用意しておいてください。 • ご購入の場所と日付 • プリンタタイプとシリアル番号 
• 安全情報 • 規制情報 • 保証情報 • 環境情報	保証情報は国または地域によって異なります。 • 米国—プリンタに同梱されている『限定保証宣言』を参照するか、http:// support.lexmark.com)を参照してください。 • その他の国および地域—プリンタに同梱されている書面の保証書をご覧ください。 『製品情報ガイド』—詳細については、プリンタに同梱されているマニュアルを参照するか、http:// support.lexmark.com)を参照してください。

プリンタの設置場所を選択する

プリンタの設置場所を選ぶときは、トレイ、カバー、およびドアが開けて、ハードウェアオプションを取り付けるため十分なスペースがあることを確認します。

- プリンタをコンセントの近くにセットします。

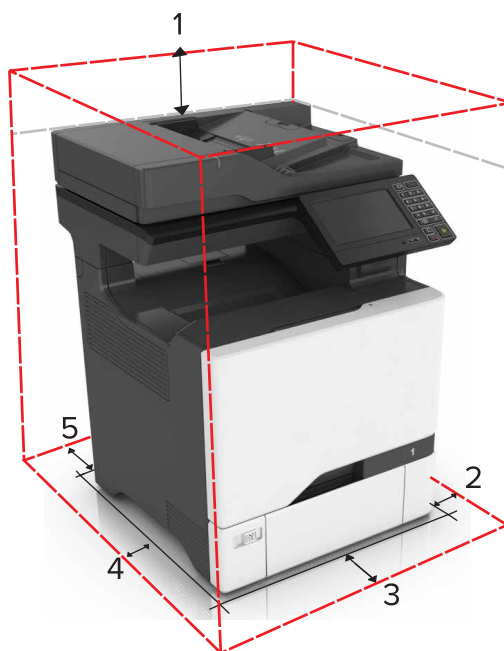
⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険をさけるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

- 室内の空気の流れが最新版の ASHRAE 62 基準または CEN Technical Committee 156 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- プリンタを以下の状態に保ちます。
 - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にする。
 - ホチキスや紙クリップを近くに置かない。
 - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにする。
 - 直射日光、極度の湿気を避ける。
- 推奨温度になるように観察し、変動しないようにします。

周辺温度	10 ~ 32.2°C (50 ~ 90°F)
保管温度	-40 ~ 40°C (-40 ~ 104°F)

- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。



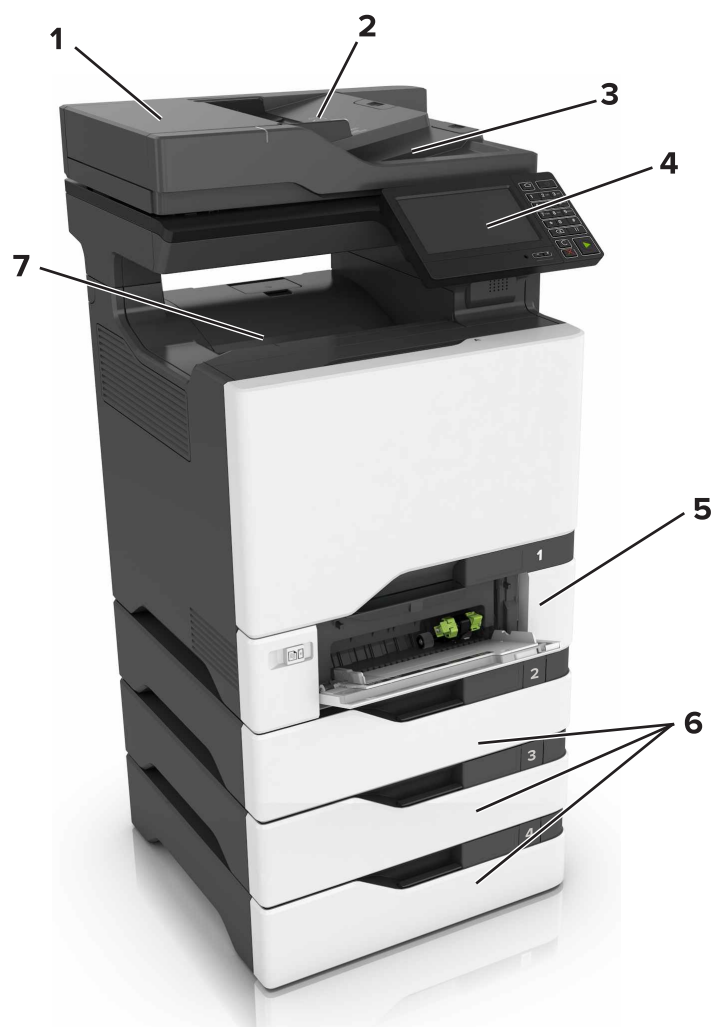
1	上部	229 mm (9 インチ)
2	右側	178 mm (7 インチ)
3	正面	508 mm (20 インチ)
4	左側	127 mm (5 インチ)
5	背面	101.6 mm (4 インチ)

プリンタ構成

 **注意—転倒危険:** プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスターベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

 **注意—転倒危険:** 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

550 枚トレイを 3 台追加して、プリンタを構成設定できます。



1	自動原稿フィーダ (ADF)
2	ADF トレイ
3	ADF 排紙トレイ
4	操作パネル
5	650 枚デュアルカセット
6	オプションの 550 枚トレイ
7	標準排紙トレイ

ケーブルを接続する

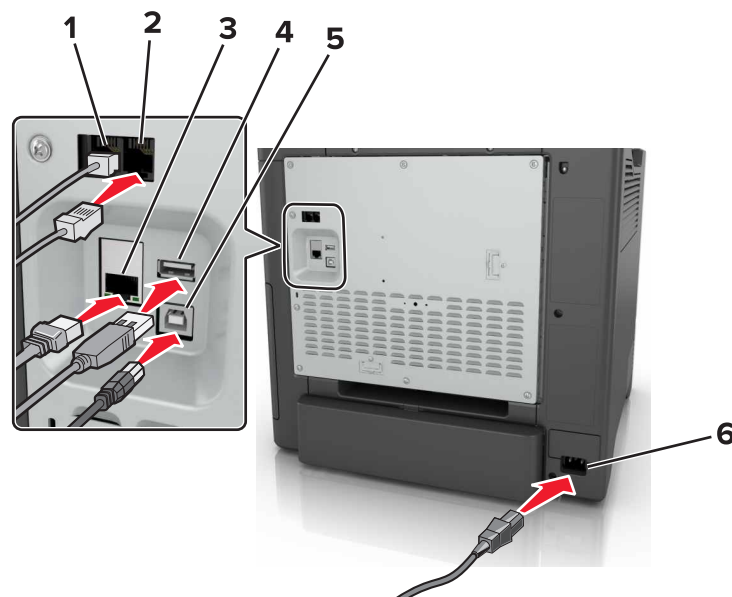
⚠ 注意—感電危険: プリンタの外部を清掃する際には、雷雨時には、本機のセットアップ、電源コード、FAX 機能などの電氣的接続、電話などとのケーブル接続を行わないでください。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電のリスクを回避するため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

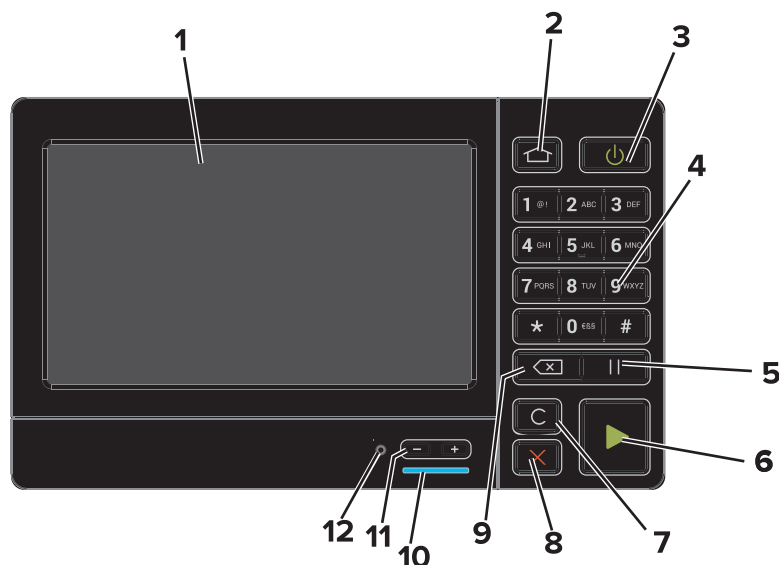
⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのお客様は、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、印刷を実行している間は、USB ケーブル、ワイヤレスネットワークアダプタ、または以下のエリアのプリンタに触れないでください。



	項目	目的
1	EXT ポート	追加デバイス (電話または留守番電話) をプリンタおよび電話回線に接続します。プリンタ用の専用 Fax 回線がなく、この接続方法が国または地域でサポートされている場合には、このポートを使用します。 メモ: ポートにアクセスするには、アダプタプラグを取り外します。
2	LINE ポート	標準壁ジャック (RJ-11)、DSL フィルタ、または VoIP アダプタ、または Fax を送受信するために電話回線にアクセスできるその他のアダプタ経由で、プリンタをアクティブな電話回線に接続します。
3	イーサネットポート	プリンタをネットワークに接続します。
4	USB ポート	キーボードまたは互換性のあるオプションを接続します。
5	USB プリンタポート	プリンタをコンピュータに接続します。
6	電源コードソケット	プリンタを正しく接地されたコンセントに接続します。

操作パネルを使用する



	項目	目的
1	表示	- プリンタメッセージと消耗品のステータスを表示します。 - プリンタを設定して操作します。
2	[ホーム]ボタン	ホーム画面に移動します。
3	電源ボタン	- プリンタの電源のオン/オフを切り替えます。 - メモ: プリンタの電源をオフにするには、電源ボタンを 5 秒間押し続けます。 - スリープモードまたはハイバネートモードにプリンタを設定します。 - スリープモードまたはハイバネートモードからプリンタを復帰します。
4	キーパッド	入力フィールドに数字または記号を入力します。
5	[ポーズ]ボタン	FAX 番号にダイヤルポーズを入れます。
6	[スタート]ボタン	選択されているモードに応じて、ジョブを開始します。
7	[すべてクリア]または[リセット]ボタン	コピー、FAX、スキャンなどの機能のデフォルト設定をリセットします。
8	[停止]または[キャンセル]ボタン	現在のジョブを停止します。
9	バックスペースボタン	カーソルを後方に移動し、入力フィールドの文字を削除します。
10	インジケータランプ	プリンタの状態を確認します。
11	音量ボタン	ヘッドセットまたはスピーカーの音量を調整します。
12	ヘッドセットまたはスピーカーポート	ヘッドセットまたはスピーカーを接続します。

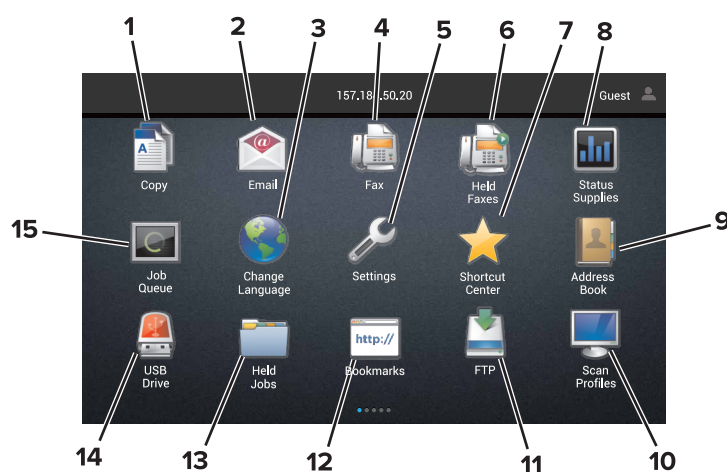
電源ボタンとインジケータランプの状態について理解する

インジケータランプ	プリンタの状態
オフ	プリンタがオフまた休止モードです。
青	プリンタは、準備ができているかデータの処理中です。
赤	ユーザーによるプリンタ操作が必要です。

電源ボタンのランプ	プリンタの状態
オフ	プリンタはオフか、準備ができていないか、データの処理中です。
黄色で点灯	プリンタはスリープモードです。
黄色で点滅	プリンタは休止モードです。

ホーム画面を使用する場合

メモ: ホーム画面のカスタマイズ設定、管理者設定、およびアクティブな内蔵ソリューションによっては、ホーム画面が異なって表示される場合があります。



タッチ		目的
1	コピー	コピーを作成します。
2	E メール	E メールを送信します。
3	言語を変更	プリンタディスプレイの言語を変更します。
4	Fax	FAX を送信します。
5	設定	プリンタのメニューを表示します。
6	保持された FAX	現在保持されているすべての FAX ジョブを表示します。 メモ: [保持された FAX] が非表示の場合、[保持された FAX をリリース]が表示されます。
7	ショートカットナビ	すべてのショートカットを整理します。
8	状況/消耗品	- プリンタで処理を続行するために操作が必要な場合には、必ずプリンタ警告またはエラーメッセージが表示されます。 - プリンタ警告またはメッセージの詳細と解決方法を示します。 メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。
9	アドレス帳	連絡先にアクセスしたり、連絡先を作成したり、整理したりします。
10	スキャンプロファイル	ドキュメントをスキャンして、直接コンピュータに保存します。
11	FTP	ドキュメントをスキャンして、直接 FTP サーバーに保存します。
12	ブックマーク	すべてのブックマークを整理します。

タッチ		目的
13	保持されたジョブ	現在保持された印刷ジョブを表示します。
14	USB ドライブ	フラッシュドライブ上の写真やドキュメントの表示、選択、印刷といった操作を行います。
15	ジョブのキュー	現在の印刷ジョブをすべて表示します。 メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。

これらの設定はホーム画面に表示される場合もあります。

タッチ	目的
アプリのプロファイル	アプリケーションプロファイルにアクセスします。
デバイスのロック	ユーザがホーム画面からプリンタ機能にアクセスできないようにします。

ホーム画面のアプリケーションをセットアップして使用する

ホーム画面をカスタマイズする

- 1 操作パネルで、[設定] > [デバイス] > [ホーム画面アイコンの表示]の順にタッチします。
- 2 ホーム画面に表示させたいアイコンを選択します。
- 3 変更を適用します。

サポートされるアプリケーション

アプリケーション	プリンタ機種
スキャンセンター	CX725、CX727、XC4140、XC4143、XC4150、XC4153
ショートカットセンター	CX725、CX727、XC4140、XC4143、XC4150、XC4153
Card Copy	CX725、CX727、XC4140、XC4143、XC4150、XC4153
ディスプレイのカスタマイズ	CX725、CX727、XC4140、XC4143、XC4150、XC4153
クラウドコネクタ	CX727、XC4140、XC4143、XC4150、XC4153
カスタマサポート	XC4140、XC4143、XC4150、XC4153
デバイスクォータ	XC4140、XC4143、XC4150、XC4153
QR コード	XC4140、XC4143、XC4150、XC4153
エコ設定	XC4140、XC4143、XC4150、XC4153

[用紙とお気に入り(Forms and Favorites)]をセットアップする

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アプリケーション] > [用紙とお気に入り] > [構成]をクリックします。

- 3 [追加(Add)]をクリックして、設定をカスタマイズします。

メモ:

- ブックマークの場所の設定が正しいことを確認するには、ブックマークがあるホストコンピュータの IP アドレスを入力します。
- ブックマークがあるフォルダへのアクセス権限が、プリンタに付与されていることを確認します。

- 4 変更を適用します。

[カードコピー]をセットアップする

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アプリ] > [カードのコピー] > [構成]の順にクリックします。

- 3 出力オプションを設定し、スキャンの設定を行います。

メモ:

- 1 枚のカードをスキャンするときには、必ずカラーの場合で解像度が 200 dpi 以下、モノクロの場合で 400 dpi 以下になるようにします。
- 複数のカードをスキャンするときには、必ずカラーの場合で解像度が 150 dpi 以下、モノクロの場合で 300 dpi 以下になるようにします。
- 複数のカードをスキャンするには、プリンタのハードディスクが必要です。
- プリンタネットワークと E メール設定が正しいことを確認します。

- 4 変更を適用します。

ショートカットナビを使用する

- 1 ホーム画面で、[ショートカットナビ]をタッチしてから、プリンタ機能を選択します。

- 2 [ショートカットを作成]をタッチしてから、設定を構成します。

- 3 [保存]をタッチしてから、一意のショートカット名を入力します。

- 4 変更を適用します。

スキャンセンターを設定する

- 1 ホーム画面で、[スキャンセンター]をタッチします。

- 2 送信先を選択および作成してから、設定を構成します。

メモ:

- ネットワーク送信先を作成するときは、エラーが発生しなくなるまで設定を検証し、調整するようにしてください。
- 内蔵 Web サーバーで作成された送信先だけが保存されます。詳細については、ソリューションに同梱されているマニュアルを参照してください。

- 3 変更を適用します。

ディスプレイのカスタマイズを使用する

アプリケーションを使用する前に、以下を確認してください。

- EWS で、[アプリ] > [ディスプレイのカスタマイズ] > [設定]をクリックします。
- スクリーンセーバー、スライドショー、壁紙の設定を有効にして設定します。

スクリーンセーバーとスライドショーのイメージを管理する

- 1 [スクリーンセーバーとスライドショーのイメージ]セクションで、イメージを追加、編集、または削除します。

メモ:

- 最大 10 個のイメージを追加できます。
- 有効にすると、エラー、警告、またはクラウドベースの通知がある場合のみ、スクリーンセーバーに状態アイコンが表示されます。

- 2 変更を適用します。

壁紙のイメージを変更する

- 1 ホーム画面で、[壁紙を変更]をタッチします。
- 2 使用するイメージを選択します。
- 3 変更を適用します。

フラッシュメモリからスライドショーを実行する

- 1 フラッシュメモリを USB ポートに挿入します。
- 2 ホーム画面から[スライドショー]をタッチします。
イメージがアルファベット順で表示されます。

メモ: スライドショーが開始された後はフラッシュメモリを取り外すことができますが、イメージはプリンタ内に保存されていません。スライドショーが停止した場合は、フラッシュメモリを再度挿入するとイメージが表示されます。

デバイスクォータを設定する

メモ:

- このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」、18 ページ](#) を参照してください。
- アプリケーションにアクセスするには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アプリ] > [デバイスクォータ] > [設定]をクリックします。

3 [ユーザーアカウント]セクションで、ユーザーを追加または編集し、ユーザーの数量割当を設定します。

4 変更を適用します。

メモ: アプリケーションとそのセキュリティ設定を行う方法に関する情報については、『デバイスクォータ管理者ガイド』を参照してください。

QR コードジェネレータを使用する

メモ:

- このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」、18 ページ](#) を参照してください。
- アプリケーションにアクセスするには、管理者権限が必要になることがあります。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アプリ] > [QR コードジェネレータ] > [設定]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- 初期設定の QR コード値を選択します。
- QR コード値を入力します。

4 変更を適用します。

カスタマサポートを使用する

メモ: このアプリケーションは、一部のプリンタ機種でのみサポートされています。詳細については、[「サポートされるアプリケーション」、18 ページ](#) を参照してください。

1 プリンタのホーム画面で、[カスタマサポート]をタッチします。

2 情報を印刷または E メール送信します。

メモ: アプリケーション設定に関する情報については、『カスタマサポート管理者ガイド』を参照してください。

クラウドコネクタプロファイルを作成する

メモ: このアプリケーションは、特定の国または地域でのみ使用できます。詳細については、Lexmark の担当者にお問い合わせください。

1 ホーム画面で、[クラウドコネクタ]をタッチします。

2 クラウドサービスプロバイダを選択します。

3 [作成]または  をタッチします。

- 4 一意のプロファイル名を入力します。
メモ: プロファイルを保護するために PIN を作成することをお勧めします。
- 5 [OK]をタッチして、認証コードをメモします。
メモ: 認証コードは 24 時間のみ有効です。
- 6 Web ブラウザを開き、<https://lexmark.cloud-connect.co> にアクセスします。
- 7 [次へ]をクリックして、利用規約に同意します。
- 8 認証コードを入力し、[接続]をクリックします。
- 9 クラウドサービスプロバイダのアカウントにログインします。
- 10 権限を付与します。
メモ: 認証プロセスを完了するために、72 時間以内にプロファイルを開きます。

ブックマークを管理する

ブックマークを作成する

サーバーまたは Web 上に保存されている、頻繁にアクセスするドキュメントを印刷する場合は、ブックマークを使用します。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
メモ:
 - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。
- 2 [ブックマーク] > [ブックマークを追加]の順にクリックして、ブックマーク名を入力します。
- 3 アドレスのプロトコルの種類を選択し、以下のいずれかの手順を実行します。
 - HTTP および HTTPS の場合は、作成するブックマークの URL を入力します。
 - HTTPS の場合、IP アドレスの代わりにホスト名を使用してください。例えば、「123.123.123.123/sample.pdf」の代わりに「myWebsite.com/sample.pdf」を入力します。また、ホスト名がサーバー証明書のコモン名 (CN) の値と一致していることも確認します。サーバー証明書の CN 値の取得の詳細については、Web ブラウザのヘルプ情報を参照してください。
 - FTP の場合は、FTP アドレスを入力します。たとえば、「myServer/myDirectory」と入力します。FTP ポートを入力します。コマンドを送信する場合は、ポート 21 が初期設定のポートです。
 - SMB の場合は、ネットワークフォルダのアドレスを入力します。例えば、「myServer/myShare/myFile.pdf」と入力します。ネットワークドメイン名を入力します。
 - 必要に応じて、FTP および SMB の認証タイプを選択します。

ブックマークへのアクセスを制限するには、PIN を入力します。

メモ: アプリケーションでは、以下のファイルタイプがサポートされています。PDF、JPEG、TIFF、HTML ベースの Web ページ。DOCX や XLSX など、その他のファイルタイプは一部のプリンタ機種でサポートされています。

- 4 [保存]をクリックします。

フォルダを作成する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [ブックマーク] > [フォルダを追加]の順にクリックして、フォルダ名を入力します。

メモ: フォルダへのアクセスを制限するには、PIN を入力します。

- 3 [保存]をクリックします。

メモ: フォルダ内にフォルダやブックマークを作成することができます。ブックマークを作成するには、[「ブックマークを作成する」](#)、[22 ページ](#)を参照してください。

連絡先を管理する

連絡先を追加する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アドレス帳]をクリックします。

- 3 [連絡先]セクションから連絡先を追加します。

メモ: 1 つまたは複数のグループに連絡先を割り当てることができます。

- 4 必要に応じて、アプリケーションアクセスを許可するためにログイン方式を指定します。

- 5 変更を適用します。

グループを追加する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [アドレス帳]をクリックします。

3 [連絡先グループ]セクションからグループ名を追加します。

メモ: グループに 1 つまたは複数の連絡先を割り当てることができます。

4 変更を適用します。

連絡先またはグループを編集する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- [連絡先]セクションで連絡先名をクリックして、情報を編集します。
- [連絡先グループ]セクションでグループ名をクリックして、情報を編集します。

4 変更を適用します。

連絡先またはグループを削除する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [アドレス帳]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- [連絡先]セクションで、削除する連絡先を選択します。
- [連絡先グループ]セクションで、削除するグループ名を選択します。

ユーザー補助機能をセットアップして使用する

拡大モードを有効にする

- 1 操作パネルで、音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **[拡大モード]**を選択します。
- 3 **[OK]**を選択します。

拡大した画面を操作する方法の詳細については、[「ジェスチャを使用して画面を操作する」](#)、25 ページを参照してください。

音声ガイダンスを有効にする

操作パネルから

- 1 音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **[OK]**を選択します。

キーボードから

- 1 音声メッセージが聞こえるまで **5** キーを長押しします。
- 2 **Tab** キーを押してフォーカスカーソルを**[OK]**ボタンに移動し、**Enter** キーを押します。

メモ:

- 音声ガイダンスは、ヘッドホンヘッドホンジャックに挿入しても有効になります。
- 音量を調整するには、操作パネルの下部で音量ボタンを使用します。

音声ガイダンスのスピーチ速度を調整する

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[デバイス]** > **[アクセシビリティ]** > **[スピーチ速度]**を選択します。
- 2 スピーチ速度を選択します。

音声のパスワードまたは個人 ID 番号を有効にする

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[デバイス]** > **[アクセシビリティ]** > **[パスワード/PIN を発声]**を選択します。
- 2 設定を有効にします。

ジェスチャを使用して画面を操作する

メモ:

- 音声ガイダンスを有効にしている場合のみ、ジェスチャで操作できます。

- 拡大とパンのジェスチャを使用するには、[拡大]を有効にします。
- 文字の入力と特定の設定の調整を行うには、物理キーボードを使用します。

ジェスチャ	機能
ダブルタップ	画面でオプションまたは項目を選択します。
トリプルタップ	文字とイメージを拡大/縮小します。
右または下にスワイプ	画面で次の項目に移動します。
左または上にスワイプ	画面で前の項目に移動します。
パン	画面の限界を超えて拡大してイメージの特定の部分を表示します。 メモ: このジェスチャでは、拡大/縮小したイメージをドラッグするために 2 本の指で操作する必要があります。
上にスワイプして左	アプリケーションを終了してホーム画面に戻ります。
下にスワイプして左	• ジョブをキャンセルします。 • 前の設定に戻ります。 • 設定または値を変更せずに、表示された画面を終了します。
上にスワイプして下	音声のプロンプトを繰り返します。

ディスプレイのキーボードを使用する

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 指をキーにドラッグすると、その文字が発音されます。
- 画面から指をはなしてその文字を入力するか、フィールドに文字を打ち込みます。
- 文字を削除するには、**Backspace** キーを押します。
- 入力フィールドの内容を聞くには、**Tab** キーを押して次に **Shift + Tab** キーを押します。

用紙と特殊用紙をセットする

特殊用紙のサイズとタイプを設定する

トレイが自動的に普通紙のサイズを検知します。特殊用紙(ラベル、厚紙、封筒など)の場合は次のようにします。

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[設定] > [用紙] > [トレイ構成] > [用紙のサイズ/タイプ] > で給紙源を選択
- 2 特殊用紙のサイズとタイプを設定します。

ユニバーサル用紙設定を構成する

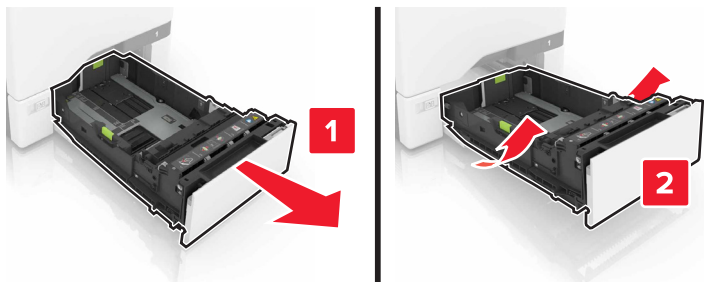
- 1 ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [メディアの構成] > [ユニバーサル設定]をタッチします
- 2 設定を行います。

トレイをセットする

 **注意—転倒危険:** 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

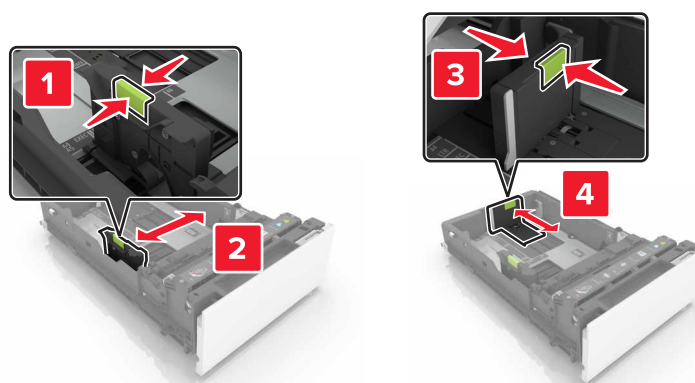
- 1 トレイを取り外します。

メモ: 紙づまりを防ぐために、プリンタがビジー状態の間はトレイを取り外さないでください。

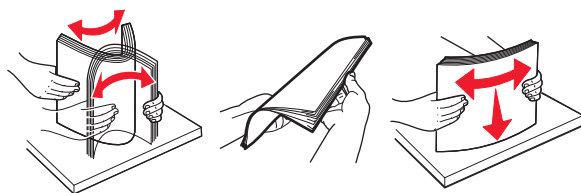


- 2 セットする用紙のサイズに合わせてガイドを調整します。

メモ: トレイの下部にあるインジケータで、ガイドの位置合わせをします。



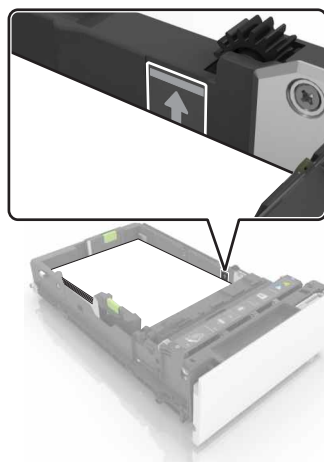
3 ほぐしたり、パラパラめくったり、端を揃えたりしてから用紙をセットする。



4 印刷面を上にして、用紙の束をセットします。

メモ:

- 片面印刷の場合、レターヘッド紙は、ヘッダーがトレイの正面を向くように上向きにセットします。
- 両面印刷の場合、レターヘッド紙は、ヘッダーがトレイの後方を向くように下向きにセットします。
- 用紙をカセットにスライドしないでください。
- 重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにする。用紙を入れすぎると、紙詰まりの原因になることがあります。

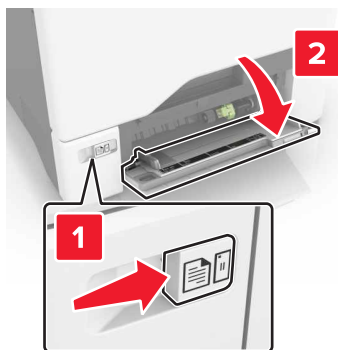


5 トレイを挿入します。

必要に応じて、トレイにセットされた用紙に合った用紙サイズとタイプを設定します。

多目的フィーダーに用紙をセットする

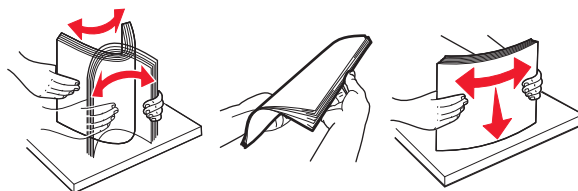
1 多目的フィーダーを開きます。



2 セットする用紙のサイズに合わせてガイドを調整します。



3 ほぐしたり、パラパラめくったり、端を揃えたりしてから用紙をセットする。



4 用紙をセットします。

- 用紙または厚紙を、印刷面を下にして上端がプリンタに最初に入るようにセットします。



- フラップ面を上にして、用紙ガイドの右側に封筒をセットします。ヨーロッパサイズの封筒は、フラップ面が最初にプリンタに入るようにセットします。



警告—破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は使用しないでください。

5 操作パネルの[用紙]メニューで、トレイにセットされた用紙と一致するように、用紙サイズとタイプを設定します。

トレイのリンク

- 1 ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [給紙口を選択します]をタッチします。
- 2 リンクしているトレイと同じ用紙サイズと用紙タイプを設定します。
- 3 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成設定メニュー] > [トレイ構成設定] > [同一用紙サイズのトレイのリンク]をタッチします。
- 4 [自動]をタッチします。

トレイとのリンクを解除するには、同じ用紙サイズと用紙タイプの設定を持つトレイが他にないことを確認してください。

警告—破損の恐れあり: フューザーの温度は、指定した用紙タイプによって異なります。印刷の問題を回避するには、プリンタの用紙タイプの設定をトレイにセットした用紙に合わせます。

用紙サポート

サポートされている用紙サイズ

用紙サイズ	寸法	550 枚 トレイ	多目的 フィーダ*	両面印刷 印刷	ADF
A4	210 x 297 mm (8.3 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓	✓
A5 長辺	210 x 148 mm (8.3 x 5.8 インチ)	✓	✓	✓	✗
A5 短辺	148 x 210 mm (5.8 x 8.3 インチ)	✓	✓	✓	✓
A6	105 x 148 mm (4.1 x 5.8 インチ)	✓	✓	✓	✓
バナー	最大幅: 215.9 mm (8.5 インチ) 最大長: 1320.8 mm (52 インチ)	✗	✓	✗	✗
エグゼクティブ	184.2 x 266.7 mm (7.3 x 10.5 インチ)	✓	✓	✓	✓
フォリオ	215.9 x 330.2 mm (8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓	✓
JIS B5	182 x 257 mm (7.2 x 10.1 インチ)	✓	✓	✓	✓
リーガル	215.9 x 355.6 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓
レター	215.9 x 279.4 mm (8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓	✓
オフィシオ	215.9 x 340 mm (8.5 x 13.4 インチ)	✓	✓	✓	✓
ステートメント	139.7 x 215.9 mm (5.5 x 8.5 インチ)	✓	✓	✓	✓
ユニバーサル	105 x 148 mm ~ 215.9 x 355.6 mm (4.13 x 5.83 インチ) ~ 8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✗
ユニバーサル	76.2 x 127 mm ~ 215.9 x 355.6 mm (3 x 5 インチ ~ 8.5 x 14 インチ)	✗	✓	✗	✗
7 3/4 封筒	98.4 x 190.5 mm (3.9 x 7.5 インチ)	✗	✓	✗	✗
9 封筒	98.4 x 225.4 mm (3.86 x 8.9 インチ)	✗	✓	✗	✗

* この給紙トレイは、自動サイズ検知機能をサポートしません。

用紙サイズ	寸法	550 枚 トレイ	多目的 フィーダ*	両面印刷 印刷	ADF
10 封筒	104.8 x 241.3 mm (4.1 x 9.5 インチ)	✓	✓	X	X
B5 封筒	176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	✓	✓	X	X
C5 封筒	162 x 229 mm (6.4 x 9 インチ)	✓	✓	X	X
DL 封筒	110 x 220 mm (4.3 x 8.7 インチ)	✓	✓	X	X
モナーク	98.4 x 190.5 mm (3.9 x 7.5 インチ)	X	✓	X	X
その他封筒	98.4 x 162 mm ~ 176 x 250 mm (3.87 x 6.38 インチ) ~ 6.93 x 9.84 インチ)	X	✓	X	X
* この給紙トレイは、自動サイズ検知機能をサポートしません。					

サポートされている用紙タイプ

メモ: ラベル、封筒、および厚紙の印刷速度は常に遅くなります。

用紙タイプ	550 枚トレイ	多目的フィーダー	ADF
普通紙	✓	✓	✓
厚紙	✓	✓	X
再生紙	✓	✓	✓
光沢紙	✓	✓	X
重い光沢紙	✓	✓	X
ラベル紙	✓	✓	X
ビニールラベル紙	✓	✓	X
ボンド紙	✓	✓	✓
封筒	✓	✓	X
きめの粗い封筒	✓	✓	X
OHP フィルム	X	X	X
レターヘッド紙	✓	✓	✓
事前印刷用紙	✓	✓	✓
カラー用紙	✓	✓	✓

用紙タイプ	550 枚トレイ	多目的フィーダー	ADF
軽量紙	✓	✓	✓
重量紙	✓	✓	✓
カスタム紙種	✓	✓	✓

サポートされている用紙の重さ

用紙タイプ	用紙の重量
普通紙	75 ~ 90.3 g/m ² (20 ~ 24 lb)
光沢紙	88 ~ 176 g/m ² (60 ~ 120 lb ブック)
	162 ~ 176 g/m ² の縦目 (60 ~ 65 lb カバー)
重量紙	90.3 ~ 105 g/m ² の縦目 (24.1 ~ 28 lb ボンド)
厚紙	~ 199 g/m ² の縦目 (110 lb)
	~ 218 g/m ² の横目 (80 lb)
ラベル紙	218 g/m ² (58 lb)
封筒	60 ~ 105 g/m ² (16 ~ 28 lb ボンド)

印刷

用紙を印刷する

- 1 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[用紙とお気に入り] > [用紙の選択] > [印刷]
- 2 必要に応じて、印刷設定を構成します。
- 3 次のように印刷ジョブを送信します。

コンピュータから印刷する

メモ: ラベル紙、厚紙、封筒の場合、プリンタで用紙のサイズとタイプを設定してからドキュメントを送信してください。

- 1 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開きます。
- 2 必要に応じて、設定を調整します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

モバイルデバイスから印刷する

Lexmark モバイル印刷を使用してモバイルデバイスから印刷する

Lexmark™ モバイル印刷では、サポートされている Lexmark プリンタにドキュメントや画像を直接送信できます。

- 1 ドキュメントを開いてから、ドキュメントを Lexmark モバイル印刷に送信または共有します。
メモ: サードパーティ製アプリケーションの中には、送信機能または共有機能をサポートしていないものもあります。詳細については、アプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。
- 2 プリンタを選択します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

Google クラウドプリントを使用してモバイルデバイスから印刷する

Google Cloud Print™ は、お好きな Google クラウドプリント対応のプリンタへ印刷することができる、印刷サービスです。

開始する前に、次の点を確認してください。

- プリンタが Google Cloud Print サーバーに登録されている。
 - Google Play™ ストアからクラウドプリントプラグインがダウンロードされ、モバイルデバイスで有効になっている。
- 1 Android™ モバイルデバイスでドキュメントを開くか、ファイルマネージャでドキュメントを選択します。
 - 2  > [印刷]をタップします。
 - 3 プリンタを選択して、 をタップします。

Mopria プリントサービスを使用してモバイルデバイスから印刷する

Mopria® プリントサービスは、Android バージョン 5.0 以降が実行されているモバイルデバイス用の、モバイル印刷ソリューションです。お好きな Mopria 認定プリンタへ直接印刷できます。

メモ: 必ず、Google Play ストアから Mopria プリントサービスアプリケーションをダウンロードし、モバイルデバイスで有効にしてください。

- 1 Android モバイルデバイスで対応アプリケーションを起動するか、ファイルマネージャでドキュメントを選択します。
- 2  > [印刷] をタップします。
- 3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。
- 4  をタップします。

AirPrint を使用してモバイルデバイスから印刷する

AirPrint ソフトウェア機能は、Apple デバイスから AirPrint 認定プリンタへ直接印刷することができる、モバイル印刷ソリューションです。

メモ:

- Apple デバイスとプリンタが同じネットワークに接続していることを確認しますネットワークが複数のワイヤレスハブに接続している場合、両方のデバイスが同じサブネットに接続されていることを確認します。
 - このアプリケーションは、一部の Apple デバイスのみでサポートされています。
- 1 モバイルデバイスで、ファイルマネージャからドキュメントを選択するか、互換性のあるアプリケーションを起動します。
 - 2  > [印刷] をタップします。
 - 3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。
 - 4 ドキュメントを印刷します。

Wi-Fi Direct® を使用してモバイルデバイスから印刷する

wifi ダイレクト® は、お好きな wifi ダイレクト対応のプリンタへ印刷することができる、印刷サービスです。

メモ: モバイルデバイスがプリンタのワイヤレスネットワークに接続されていることを確認してください。(⇒ [「プリンタにモバイルデバイスを接続する」](#)、141 ページ)

- 1 モバイルデバイスで対応アプリケーションを起動するか、ファイルマネージャでドキュメントを選択します。
- 2 モバイルデバイスに応じて、次の手順のいずれかを実行します。
 -  > [印刷] をタップします。
 -  > [印刷] をタップします。
 -  > [印刷] をタップします。
- 3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。
- 4 ドキュメントを印刷します。

フラッシュドライブから印刷する

1 フラッシュメモリをセットします。



メモ:

- エラーメッセージが表示されているときにフラッシュドライブを挿入しても、フラッシュドライブはプリンタで認識されません。
- フラッシュドライブを挿入したときに、プリンタで他の印刷ジョブが処理されていた場合には、画面に[ビジー]が表示されます。

2 画面から、印刷するドキュメントをタッチします。

必要に応じて、印刷設定を構成します。

3 次のように印刷ジョブを送信します。

他の文書を印刷するときは、[USB ドライブ]をタッチします。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作を防ぐため、メモリデバイスから印刷またはデータの読み書きを行っている間は、フラッシュメモリまたはプリンタの図で示した範囲に手を触れないでください。



サポートされているフラッシュメモリとファイルタイプ

フラッシュメモリ

- Lexar JumpDrive S70 (16GB および 32GB)
- SanDisk Cruzer (16GB および 32GB)
- PNY Attache (16GB および 32GB)

メモ:

- プリンタは、フルスピード規格の高速 USB フラッシュメモリをサポートしています。
- USB フラッシュメモリで、FAT (File Allocation Table) システムをサポートしている必要があります。

ファイルタイプ

文書

- PDF (バージョン 1.7 以前)
- HTML
- XPS
- Microsoft file formats (.doc、.docx、.xls、.xlsx、.ppt、.pptx)

イメージ

- .dcx
- .gif
- .JPEG または .jpg
- .bmp
- .pcx
- .TIFF または .tif
- .png

コンフィデンシャルジョブを設定する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [セキュリティ] > [コンフィデンシャル印刷設定]

- 2 設定します。

使用	目的
無効暗証番号許容回数	無効な PIN を入力できる回数を設定します。 メモ: この上限回数に達すると、該当するユーザー名に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャルジョブ期限切れ	コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: 保留中のコンフィデンシャルジョブは、手動でリリースするか削除するまでプリンタに保存されます。
期限切れジョブの繰り返し	繰り返し印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: 保留中の繰り返しジョブは、再印刷のためにプリンタのメモリに保存されます。

使用	目的
期限切れジョブの確認	残りのコピーを印刷する前に、コピーを実行する有効期限を設定します。 メモ: 確認印刷を最初に 1 部印刷し、間違いがないかどうかを確認してから残りの部数を印刷します。
期限切れジョブの予約	予約印刷ジョブがプリンタに保存される有効期限を設定します。 メモ: 保留ジョブは、印刷後に自動的に削除されます。
すべてのジョブを保留にする	すべての印刷ジョブを保留にするように、プリンタを設定します。
重複ドキュメントを維持	同じファイル名を持つすべてのドキュメントを印刷するようにプリンタを設定します。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保留ジョブを印刷する

Windows の場合

- 1 ドキュメントを開いている状態で、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
- 2 [プロパティ]、[基本設定]、[オプション]または[設定]をクリックします。
- 3 [印刷して保持]をクリックします。
- 4 [[印刷して保持]を使用]を選択して、ユーザー名を割り当てます。
- 5 印刷ジョブのタイプ(コンフィデンシャル、繰り返し、予約、確認)を選択します。
印刷ジョブがコンフィデンシャルの場合、4 桁の暗証番号(PIN)を入力します。
- 6 [OK]または[印刷]をクリックします。
- 7 プリンタのホーム画面から、印刷ジョブをリリースします。
 - コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > [コンフィデンシャル] > PIN を入力 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]
 - その他の印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]

Macintosh の場合

- 1 ドキュメントを開いた状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
必要に応じて、開閉ボタンをクリックし、他のオプションを表示します。
- 2 印刷オプションまたは[印刷部数と印刷ページ]メニューから、[ジョブ振分け]を選択します。
- 3 印刷ジョブのタイプ(コンフィデンシャル、繰り返し、予約、確認)を選択します。
印刷ジョブがコンフィデンシャルの場合、ユーザー名および 4 桁の PIN を割り当てます。
- 4 [OK]または[印刷]をクリックします。

5 プリンタのホーム画面から、印刷ジョブをリリースします。

- コンフィデンシャル印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > [コンフィデンシャル] > PIN を入力 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]
- その他の印刷ジョブの場合は、次のメニューを選択します。
[保留ジョブ] > ユーザー名を選択 > 印刷ジョブを選択 > 設定 > [印刷]

クラウドコネクタプロファイルからの印刷

メモ: このアプリケーションは、特定の国または地域でのみ使用できます。詳細については、Lexmark の担当者にお問い合わせください。

1 ホーム画面で、[クラウドコネクタ]をタッチします。

2 クラウドサービスプロバイダを選択し、プロファイルを選択します。

メモ: クラウドコネクタプロファイルの作成の詳細については、[「クラウドコネクタプロファイルを作成する」](#)、21 ページを参照してください。

3 [印刷]をタッチして、ファイルを選択します。

必要に応じて、設定を変更します。

メモ: サポートされているファイルが選択されていることを確認します。

4 ドキュメントを印刷します。

フォントサンプルリストを印刷する

1 ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [印刷] > [フォント一覧を印刷]をタッチします。

2 [PCL フォント]または[PS フォント]をタッチします。

ディレクトリリストを印刷する

ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [印刷] > [印刷ディレクトリ]をタッチします。

印刷ジョブをキャンセルする

プリンタコントロールパネル

1 ホーム画面で、[ジョブのキュー]をタッチします。

メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。

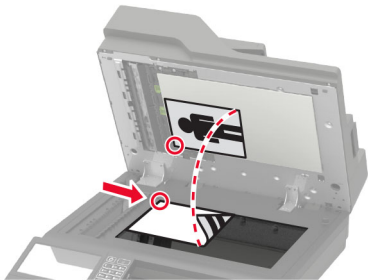
2 キャンセルするジョブを選択します。

コンピュータから

- 1 オペレーティングシステムに応じて、次のいずれかの手順に従います。
 - プリンタフォルダを開き、プリンタを選択します。
 - [アップル]メニューの[システム基本設定]から該当プリンタを選びます。
- 2 キャンセルするジョブを選択します。

コピー

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。	 • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

コピーを作成する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

メモ: 画面が途切れることを防止するには、原稿と印刷物の用紙サイズが同じであることを確認してください。

- 2 ホーム画面から[コピー]をタッチして、コピー部数を指定します。

必要に応じて、コピー設定を調整します。

- 3 ドキュメントをコピーします。

メモ: クイックコピーを実行するには、操作パネルで  を押します。

写真をコピーする

- 1 写真を原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [コンテンツ] > [コンテンツタイプ] > [写真]をタッチします。
- 3 [コンテンツソース]をタッチして、元の写真に最適な設定を選択します。
- 4 写真をコピーします。

レターヘッド紙にコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から[コピー] > [コピー元]をタッチ > 原稿のサイズを指定します。

- 3 [コピー先]をタッチしてから、レターヘッド紙をセットした給紙トレイを選択します。
レターヘッド紙を多目的フィーダーにセットしている場合は、次のメニューを選択します。
[コピー先] > [多目的フィーダー] > 用紙サイズを選択 > [レターヘッド紙]を選択します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

用紙の両面にコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [用紙設定]をタッチします。
- 3 設定を調整します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

コピーを縮小または拡大する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[コピー] > [拡大縮小] > で拡大縮小の値を指定
メモ: [拡大縮小]を設定してから、原稿または出力のサイズを変更すると、拡大縮小の値は[自動]に戻ります。
- 3 ドキュメントをコピーします。

丁合印刷する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [ソート(1 部ごと)] > [オン「1,2,1,2,1,2」]をタッチします。
- 3 ドキュメントをコピーします。

コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [セパレータ紙]をタッチします。
- 3 設定を調整します。
- 4 コピージョブを送信します。

1 枚の用紙に複数ページをコピーする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[コピー] > [ページ/面]をタッチします。

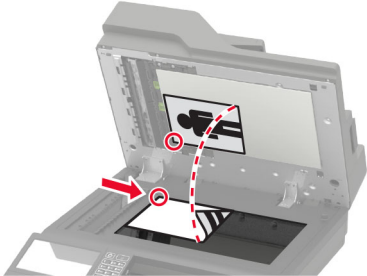
- 3 設定を調整します。
- 4 ドキュメントをコピーします。

ショートカットコピーを作成する

- 1 ホーム画面から[コピー]をタッチします。
- 2 設定を行い、★ をタッチします。
- 3 ショートカットを作成します。

E メールで送信する

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。	 • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

E メール用に SMTP サーバーを設定する

操作パネルでの設定

- 1 操作パネルで[設定] > [E メール] > [E メール設定]の順にタッチします。
- 2 設定を行います。

EWS での設定

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [設定] > [E メール]の順にクリックします。
- 3 [E メール設定]セクションで、設定を構成します。
- 4 [保存]をクリックします。

E メールを送信する

操作パネルを使用する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から[E メール]をタッチして、必要な情報を入力します。
メモ: アドレス帳やショートカット番号を使用して受信者を入力することもできます。
- 3 必要な場合は、出力ファイルタイプを設定します。
- 4 E メールを送信します。

ショートカット番号を使用する

- 1 操作パネルで # を押してから、キーパッドを使用してショートカット名を入力します。
- 2 E メールを送信します。

E メールショートカットを作成する

- 1 ホーム画面で[E メール]をタッチします。
- 2 設定を行い、★ をタッチします。
- 3 ショートカットを作成します。

Fax

プリンタを設定して Fax を送信する

メモ:

- 以下の接続方法は、一部の国と地域でのみご利用できます。
- プリンタの初期設定時には、[FAX 機能]チェックボックスや後で設定する他の機能をオフにして、[続行]をタッチします。
- FAX 機能が有効になっていても設定が完了していない場合、インジケータランプが赤く点滅することがあります。

警告—破損の恐れあり: 実際に FAX を送受信している間、ケーブルや下記に示すプリンタの部分に触らないでください。



FAX 用に SMTP サーバーを設定する

操作パネルでの設定

- 1 操作パネルで[設定] > [FAX] > [FAX サーバー設定] > [FAX サーバー E メール設定]の順にタッチします。
- 2 設定を行います。

メモ: E メール用に SMTP サーバーを使用するには、[E メール SMTP サーバーを使用]を有効にします。

EWS での設定

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX] > [FAX サーバー設定]の順にクリックします。

3 [FAX サーバー E メール設定]セクションで、設定します。

メモ: E メール用に SMTP サーバーを使用するには、[E メール SMTP サーバーを使用]を有効にします。

4 [保存]をクリックします。

FAX 接続の選択

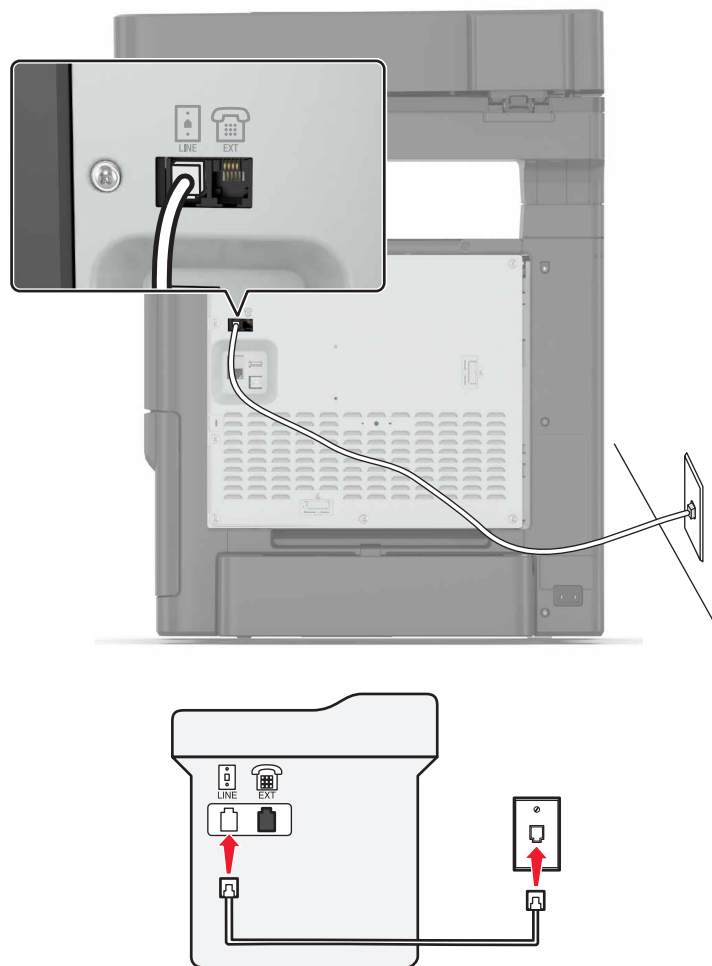
標準電話回線を使用して FAX を設定する

 **注意—感電危険:** プリンタの外部を清掃する際には、雷雨時には、本機のセットアップ、電源コード、FAX 機能などの電氣的接続、電話などとのケーブル接続を行わないでください。

 **注意—感電危険:** 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのお客様は、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

セットアップ 1: プリンタが専用 FAX 回線に接続されている場合



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログのコンセントに接続します。

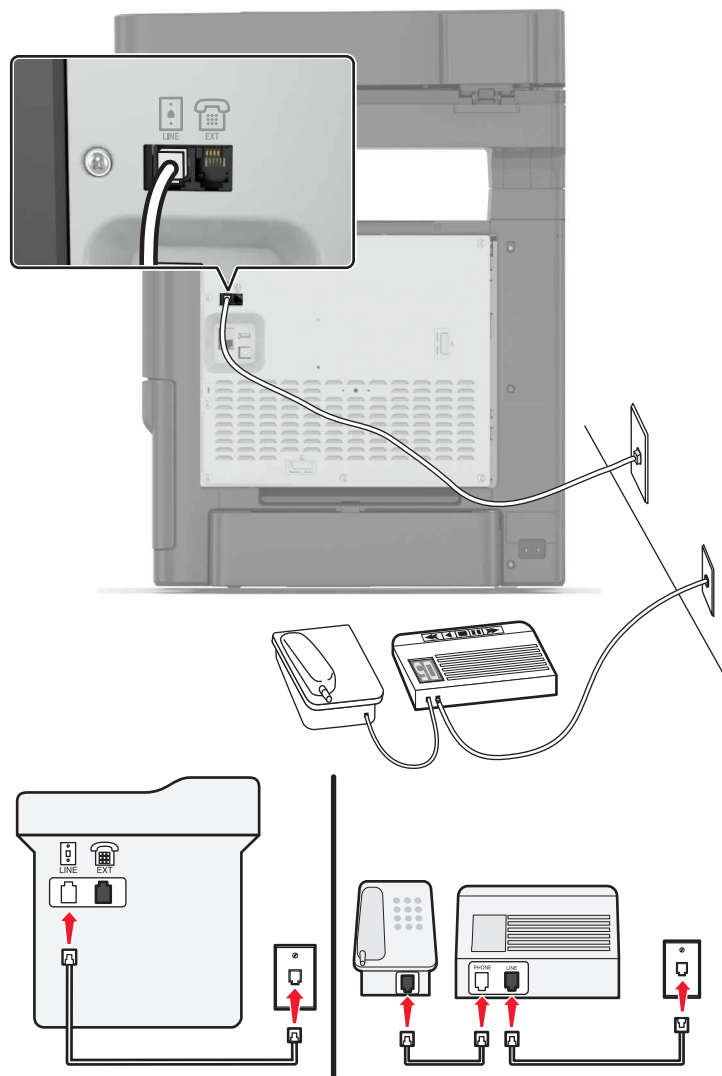
メモ:

- FAX を自動(自動受信オン)または手動(自動受信オフ)で受信するようにプリンタを設定できます。
- FAX を自動的に受信する場合は、応答するまでの呼び出し回数を設定してください。

セットアップ 2: プリンタが留守番電話機と回線を共有している場合

メモ: 着信識別サービスに加入している場合は、プリンタが正しい着信音に反応するように設定します。間違った着信音を設定すると、FAX を自動受信するように設定していたとしてもプリンタは FAX を受信しません。

別々の電話コンセントに接続されている場合



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログのコンセントに接続します。

メモ:

- お使いの電話回線で 1 つの電話番号しか持っていない場合は、FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
- 留守番電話が応答してから着信音が 2 回鳴った後でプリンタが応答するように、プリンタを設定します。たとえば、留守番電話が着信音 4 回で応答する場合は、プリンタの[呼び出し回数]設定を 6 回に設定します。

異なる電話のモジュージャックとプラグを使用する国または地域で FAX を設定する

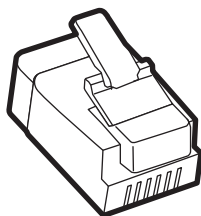
⚡ 注意-感電危険: 感電の危険を避けるため、雷雨時には本機のセットアップや、電源コード、FAX 機能、電話などの電氣的接続またはケーブル接続を行わないでください。

⚡ 注意-感電危険: 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル (RJ-11) のみを使用してください。オーストラリアのお客様は、オーストラリア通信メディア庁 (Australian Communications and Media Authority) が承認するケーブルを必ず使用してください。

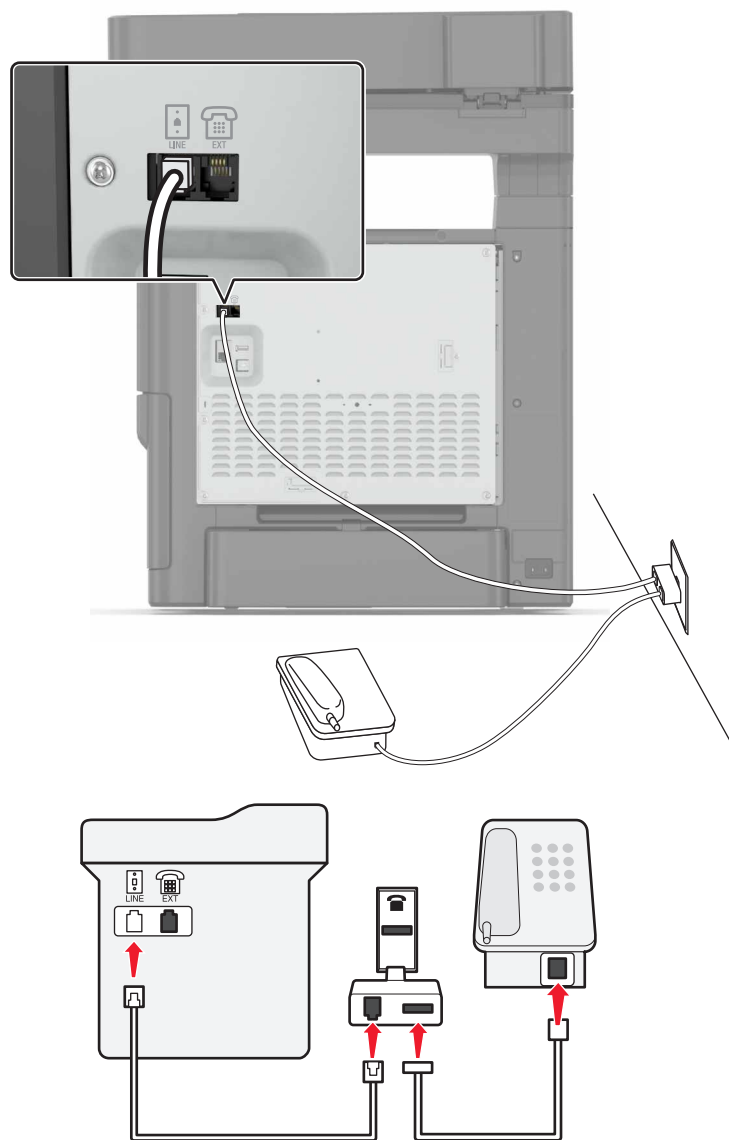
ほとんどの国または地域で標準として採用されているモジュージャックは、RJ11 です。ファシリティ内のモジュージャックまたは機器がこのタイプの接続に互換性がない場合は、電話アダプタを使用します。お住まいの国または地域のアダプタがプリンタに含まれておらず、別途購入する必要がある場合があります。

プリンタの電話ポートにアダプタプラグが取り付けられている場合があります。シリアルまたはカスケード式電話システムに接続している場合、プリンタの電話ポートからアダプタプラグを取り外さないでください。



部品名	部品番号
Lexmark アダプタプラグ	40X8519

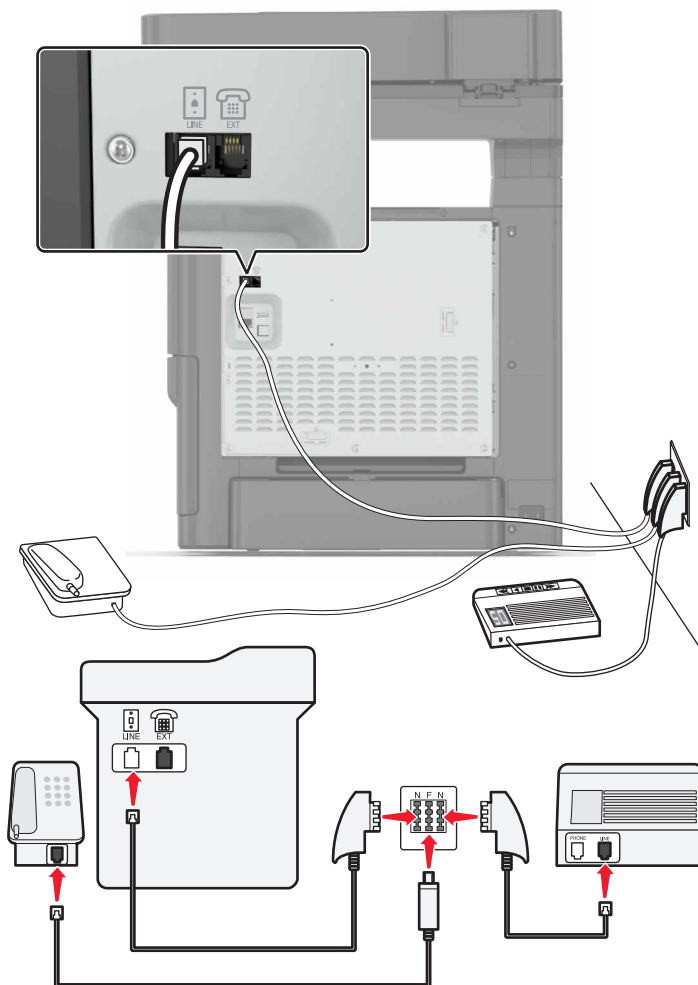
プリンタを RJ11 以外のモジュージャックに接続する



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 もう一方の端を RJ11 アダプタに接続し、アダプタをモジュージャックに接続します。
- 3 RJ11 以外のコネクタを使用した別のデバイスを同じモジュージャックに接続する場合は、直接電話アダプタに接続します。

プリンタをモジュージャックに接続する(ドイツ)

ドイツのモジュージャックには 2 種類のポートがあります。N ポートは FAX 機、モデム、留守番電話用のポートで、F ポートは電話用のポートです。プリンタは N ポートに接続します。



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 もう一方の端を RJ11 アダプタに接続し、アダプタを N ポートに接続します。
- 3 電話や留守番電話などを同じ壁のモジュージャックに接続する場合、図のように接続してください。

着信識別サービスへの接続

着信識別サービスを使用すると、1 つの電話回線で複数の電話番号を持つことができます。各電話番号がそれぞれ異なる着信音に割り当てられています。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定] > [受信の設定]の順にタッチします。
- 2 着信音を選択します。

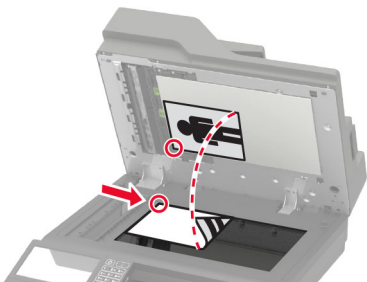
FAX の日時を設定する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [日時] > [構成]の順にタッチします。
- 2 設定を構成します。

夏時間を設定する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [日付/時刻] > [設定]の順にタッチします。
- 2 [タイムゾーン]メニューで、[(UTC+時差)カスタム]を選択します。
- 3 設定を行います。

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。	 • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

FAX を送信する

操作パネルを使用する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、[FAX]をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 4 次のように FAX ジョブを送信します。

コンピュータを使用する

メモ: ユニバーサル FAX ドライバがインストールされていることを確認します。

Windows の場合

- 1 ドキュメントを開いている状態で、[ファイル] > [印刷]をクリックします。
- 2 プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[設定]をクリックします。
- 3 [FAX] > [FAX を有効化]をクリックして、送信先番号を入力します。
- 4 必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 5 次のように FAX ジョブを送信します。

Macintosh の場合

- 1 ドキュメントを開いた状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。
- 2 プリンタを選択し、送信先番号を入力を入力します。
- 3 必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。
- 4 次のように FAX ジョブを送信します。

FAX を予約送信する

- 1 原稿を ADFトレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、次のメニューを選択します。
[FAX] > [送信先] > FAX 番号を入力 > [完了]
- 3 [送信時刻]をタッチしてから、設定を行い、次に[完了]をタッチします。
- 4 FAX を送信します。

FAX 宛先のショートカットを作成する

- 1 ホーム画面で、[FAX] > [送信先]をタッチします。
- 2 送信先の番号を入力してから、[終了]をタッチします。
- 3 ★ をタッチします。
- 4 ショートカットを作成します。

FAX 解像度の変更

- 1 原稿を ADFトレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、[FAX]をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 [解像度]をタッチして、設定を調整します。
- 4 FAX を送信します。

FAX の濃度を調整する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、**[FAX]**をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 **[濃度]**をタッチして、設定を調整します。
- 4 FAX を送信します。

FAX ログの印刷

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[レポート]** > **[FAX]**の順にタッチします。
- 2 **[FAX ジョブログ]**または**[FAX 通信ログ]**をクリックします。

迷惑 FAX のブロック

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[FAX]** > **[FAX 設定]** > **[FAX 受信設定]** > **[管理者用設定]**をタッチします。
- 2 **[無記名の FAX をブロック]**を**[オン]**に設定します。

FAX 保持

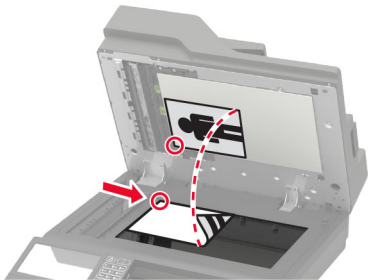
- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[FAX]** > **[FAX 設定]** > **[FAX 受信設定]** > **[FAX 保持]**をタッチします。
- 2 モードを選択します。

FAX の転送

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[FAX]** > **[FAX 設定]** > **[FAX 受信設定]** > **[管理者用設定]**をタッチします。
- 2 **[FAX 転送]** > **[転送]**の順にタッチします。
- 3 **[転送先]**および**[確認用 E メール]**を設定します。

スキャン

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー (ADF)	原稿台
 • 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 • スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 • セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。	 • 1 ページの文書、本のページ、小さいもの (葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの (雑誌の切り抜きなど) には原稿台を使用します。 • 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

FTP サーバーへのスキャンデータの送信

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面から、[FTP] をタッチし、必要な情報を入力します。
- 3 必要に応じて、その他の FTP 設定を変更します。
- 4 FTP ジョブを送信します。

FTP ショートカットを作成する

- 1 ホーム画面で [FTP] をタッチします。
- 2 FTP サーバーアドレスを入力して、★ をタッチします。
- 3 ショートカットを作成します。

ネットワークフォルダのショートカットを作成する

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた数字の 4 セットで表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効化し、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [ショートカット] > [ショートカットを追加] の順にクリックします。

- 3 [ショートカットタイプ]メニューで[ネットワークフォルダ]を選択して設定します。
- 4 変更を適用します。

フラッシュドライブにスキャンする

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 フラッシュメモリをセットします。



- 3 [USB にスキャン]をタッチし、必要に応じて設定を調整します。

メモ: [USB ドライブ]画面が表示されない場合は、ホーム画面で[USB ドライブ]をタッチします。

- 4 原稿をスキャンします。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作を防ぐため、メモリデバイスから印刷またはデータの読み書きを行っている間は、フラッシュメモリまたはプリンタの図で示した範囲に手を触れないでください。



スキャンして FAX サーバーに送信する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で[スキャンセンター]をタッチし、送信先リストから[FAX]を選択します。
- 3 FAX の送信先を選択します。
メモ: FAX の送信先を作成するには、[FAX の作成]をタッチします。
- 4 原稿をスキャンします。

スキャン文書をコンピュータに送信する

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[スキャンプロファイル] > [コンピュータにスキャン]をタッチします。
- 3 原稿を保存するスキャンプロファイルを選択します。

クラウドコネクタプロファイルにスキャンする

メモ: このアプリケーションは、特定の国または地域でのみ使用できます。詳細については、Lexmark の担当者に問い合わせてください。

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。
- 2 ホーム画面で、[クラウドコネクタ]をタッチします。
- 3 クラウドサービスプロバイダを選択し、プロファイルを選択します。
メモ: クラウドコネクタプロファイルの作成の詳細については、[「クラウドコネクタプロファイルを作成する」](#)、21 ページを参照してください。
- 4 [スキャン]をタッチして、ファイル名と宛先フォルダを割り当てます。
- 5 [ここにスキャン]をタッチします。
必要に応じて、スキャン設定を変更します。
- 6 原稿をスキャンします。

プリンタメニューを理解する

メニューマップ

デバイス	• 基本設定 • エコモード • 遠隔操作パネル • 通知 • 電源管理 • Lexmark に送信される情報	• ユーザー補助機能 • 工場出荷状態に復元 • メンテナンス • ホーム画面アイコンの表示 • このプリンタについて
印刷する	• レイアウト • セットアップ • 印刷品質 • ジョブアカウント • XPS	• PDF • PostScript • PCL • HTML • 画像
用紙	• トレイ構成設定	• 用紙構成
コピー	コピー初期設定	
Fax	• FAX 初期設定	
E メール	• E メール設定 • E メール初期値設定	• Web リンク設定
FTP	FTP 初期値設定	
USB ドライブ	• フラッシュドライブスキャン	• フラッシュドライブ印刷
ネットワーク/ポート	• ネットワークの概要 • ワイヤレス • イーサネット • TCP/IP • SNMP • IPSec • 802.1x	• LPD 構成設定 • HTTP/FTP の設定 • ThinPrint • USB • 外部ネットワークアクセスの制限 • Google クラウド プリント • wifi ダイレクト
セキュリティ	• ログイン方式 • USB デバイスのスケジュール • セキュリティ監査ログ • ログイン制限 • コンフィデンシャル印刷設定	• ディスク暗号化 • 一時データファイルの消去 • ソリューション LDAP 設定 • その他
レポート	• メニュー設定ページ • デバイス • 印刷する	• ショートカット • Fax • ネットワーク

ヘルプ	- すべてのガイドを印刷 - 色品質ガイド - 接続ガイド - コピーガイド - E メールガイド - FAX ガイド	- 情報ガイド - 用紙ガイド - 移動ガイド - 印刷品質ガイド - スキャンガイド - 消耗品ガイド
問題に対処する	印刷品質テストページ	スキャナの清掃

デバイス

基本設定

メニュー項目	説明
表示言語	ディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。
国／地域	プリンタが動作するように、設定する国または地域を特定します。
初期設定を実行 オフ＊ オン	セットアップウィザードを実行します。
キーボード キーボードタイプ	キーボードタイプとして言語を選択します。 メモ: [キーボードタイプ]の値がすべて表示されなかったり、表示するには特殊なハードウェアを取り付けたりする必要がある場合もあります。
ホーム画面に表示する情報 表示テキスト 1 (IP アドレス＊) 表示テキスト 2 (日付/時間＊) カスタムテキスト 1 カスタムテキスト 2	ホーム画面に表示する情報を指定します。
日付/時刻 設定 現在の日時 日時を手動設定 日付形式 (MM-DD-YYYY＊) 時刻形式 (12 時間表示 AM/PM＊) タイムゾーン (UTC-5: 00＊) ネットワークタイムプロトコル NTP を有効化 (オン＊) NTP サーバー 認証を有効化 (なし＊)	プリンタの日付/時刻およびネットワークタイムプロトコルを設定します。
用紙サイズ インチ＊ メートル法	用紙サイズの測定方法を指定します。 メモ: 用紙サイズの初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国や地域によって決まります。
画面明るさ 20 ～ 100% (90＊)	ディスプレイの明るさを調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (＊) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
フラッシュドライブアクセス 有効 * 無効	フラッシュメモリへのアクセスを有効にします。
背景削除を許可 オフ オン *	下地調整を可能にするかどうかを指定します。
ユーザー定義ジョブスキャンを許可 オフ オン *	コピー、スキャン、FAX で[カスタムジョブスキャン]設定を表示するかどうかを指定します。 メモ: このメニュー設定はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
原稿台連続スキャンの抑制 オフ * オン	あらゆる種類のジョブで原稿台では単一のページをスキャンするようにプリンタを設定します。 メモ: フラットベッドのシングルスキャンを実行した後に、プリンタは指示の表示に代わってホーム画面に戻ります。
高速スキャン オフ * オン	最初のスキャン速度を最も高速に設定します。
排紙部の照明 オフ オン *	内蔵の排紙部の照明またはオプションの排紙トレイのインジケータライトを有効にします。
タッチスクリーンのタッチ音の設定 ボタンのフィードバック(オン *) ボリューム(5 *)	- ボタンの押下、パネルの操作、用紙セットの要請、エラーの通知の際に、音で注意を促します。 - フィードバックのボリュームを調整します。
画面タイムアウト 5 ~ 300 秒(60 *)	ディスプレイにホーム画面が表示されるまでのアイドルタイム、またはユーザーアカウントが自動的にログアウトされるまでのアイドルタイムを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ECO モード

メニュー項目	説明
印刷する 印刷面 片面 * 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
印刷する ページ集約 オフ* 2 ページ/面 3 ページ/面 4 ページ/面 6 ページ/面 9 ページ/面 12 ページ/面 16 ページ/面	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
印刷する トナーの濃さ 1-10(8*)	文字画像の明るさや濃度を指定します。
印刷する カラートナー節約 オフ* オン	グラフィックスやイメージの印刷に使用するトナーの量を減らします。
コピー 印刷面 片面->片面* 片面を両面に 両面を片面に 両面を両面に	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
コピー ページ集約 オフ* 縦 2 in 1 縦 4 in 1 横 2 in 1 横 4 in 1	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
コピー 濃さ 1 ~ 9(5*)	スキャンした文字画像の濃度を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

遠隔操作パネル

メニュー項目	説明
外部 VNC 接続 許可しない* 許可する	外部の Virtual Network Computing (VNC) クライアントをリモート操作パネルに接続します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
認証タイプ なし * 標準認証	VNC クライアントサーバーにアクセスする際の認証タイプを設定します。
VNC パスワード	VNC クライアントサーバーに接続するためのパスワードを指定します。 メモ: このメニュー項目は、[認証タイプ]が[標準認証]に設定されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

通知

メニュー項目	説明
エラーランプ オフ オン *	プリンタエラーの発生時にインジケータランプが点灯するように設定します。
ADF セットビープ オフ オン *	ADF に用紙をセットするときの音を有効にします。
警報制御 オフ 1 回 * 連続	プリンタでユーザーの操作が必要なときに、アラームを鳴らす回数を設定します。
消耗品 消耗品の推定を表示 (Show Supply Estimates) 寿命を表示 * 推定を表示しない (Do not show estimates)	消耗品の寿命を表示します。
消耗品 カートリッジ警報 オフ 1 回 * 連続	カートリッジの残量が少ないときに、アラームを鳴らす回数を設定します。
消耗品 消耗品のカスタム通知	ユーザーの操作が必要なときの通知設定を設定します。 メモ: このメニュー項目は、EWS でのみ表示されます。
E メールアラートを設定 E メール設定 一次 SMTP ゲートウェイ	E メール送信用のプライマリ SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
E メールアラートを設定 E メール設定 一次 SMTP ゲートウェイポート 1-65535 (25 *)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。
E メールアラートを設定 E メール設定 二次 SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
E メールアラートを設定 E メール設定 二次 SMTP ゲートウェイポート 1-65535(25*)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。
E メールアラートを設定 E メール設定 SMTP タイムアウト 5 ～30 秒(30*)	SMTP サーバーが応答しない場合、プリンタがタイムアウトするまでの時間を指定します。
E メールアラートを設定 E メール設定 返信アドレス	E メールの返信アドレスを指定します。
E メールアラートを設定 E メール設定 SMTP の初期設定返信アドレスを常に使用する オフ* オン	SMTP の初期設定返信アドレスを使用します。
E メールアラートを設定 E メール設定 SSL/TLS 使用 無効* 交渉 必須	暗号化されたリンクを使用して E メールを送信します。
E メールアラートを設定 E メール設定 信頼済み証明書を使用 オン* オフ	SMTP サーバーにアクセスする際の信頼済み証明書が必要となります。
E メールアラートを設定 E メール設定 SMTP サーバー認証 使用しない* Login/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証タイプを設定します。
E メールアラートを設定 E メール設定 デバイスから送信される E メール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
E メールアラートを設定 E メール設定 ユーザーから送信される E メール なし デバイスの SMTP 証明書を使用 ログインしているユーザー ID とパスワードを使用 ログインしている E メールアドレスとパスワードを使用 * ユーザーに確認	ユーザーから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを設定します。
E メールアラートを設定 E メール設定 Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ オン *	SMTP サーバーに接続するために、ユーザー資格情報とグループ指定を有効にします。
E メールアラートを設定 E メール設定 デバイスのユーザー ID	SMTP サーバーに接続するためのユーザー ID を指定します。
E メールアラートを設定 E メール設定 デバイスのパスワード	SMTP サーバーに接続するためのパスワードを指定します。
E メールアラートを設定 E メール設定 Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。
E メールアラートを設定 E メール設定 NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。
エラー防止 紙づまりアシスト オフ オン *	詰まった用紙があるかどうか自動的に確認するように設定します。
エラー防止 自動続行 オフ オン * 自動継続時間	特定の操作が必要な状態が解消されたら、プリンタがジョブの処理や印刷を自動的に続行するようにします。
エラー防止 自動再起動 自動再起動 アイドル時に再起動 常に再起動 * 再起動しない	エラー発生時にプリンタを再起動するように設定します。
エラー防止 自動再起動 最大自動再起動 (2 *)	プリンタが実行可能な自動再起動回数を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
エラー防止 自動再起動 自動再起動までの時間(720*)	プリンタが自動的に再起動するまでの秒数を設定します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動カウンタ	再起動カウンタの読み取り専用情報を表示します。
エラー防止 「用紙が短すぎます」エラーを表示 オン 自動クリア*	「用紙が短すぎます」エラーが発生した場合に、プリンタにメッセージを表示するかどうかを設定します。 メモ: 短い用紙とは、セットされている用紙のサイズを示します。
エラー防止 ページ保護 オフ* オン	印刷の前に、ページ全体をメモリで処理するように設定します。
紙詰まりしたページの再印刷 紙づまり回復 オフ オン 自動*	紙詰まりが発生したページを再印刷するかどうかを設定します。
紙詰まりしたページの再印刷 ADF 紙詰まり時の再開位置 ジョブレベル ページレベル*	紙詰まりの解決後にスキャンジョブを再開する方法を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

電源管理

メニュー項目	説明
スリープモードプロファイル スリープモードから印刷 印刷後も起動状態を維持する 印刷後にスリープモードにする*	印刷後にプリンタを待機中モードのままにするか、スリープモードに戻すかを設定します。
タイムアウト時間 スリープモード 1 ~ 120 分(15*)	プリンタがスリープモードになるまでのアイドル時間を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
タイムアウト時間 休止モード 無効 1 時間 2 時間 3 時間 6 時間 1 日 2 日 3 日 * 1 週間 2 週間 1 か月	プリンタの電源が切れるまでの時間を設定します。
タイムアウト時間 ネットワーク接続時の休止モード 休止モードにする 休止モードにしない *	有効なイーサネット接続が存在する間にプリンタの電源を切るために休止モードを設定します。
電力モードの定期実行 スケジュール 新しいスケジュールを追加	プリンタのスリープモードまたは休止モードをスケジュールします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

Lexmark に送信される情報

メニュー項目	説明
Lexmark に送信される情報 消耗品およびページ使用率 デバイスのパフォーマンス なし*	プリンタ使用方法およびパフォーマンスに関する情報を Lexmark へ送信します。 メモ: [情報送信時刻]は、[Lexmark に送信される情報]で[なし]以外の設定を選択した場合にのみ表示されます。
情報送信時刻 開始時刻 停止時刻	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ユーザー補助機能

メニュー項目	説明
重複したキー操作の間隔 0 ~ 5 秒(0*)	接続したキーボードで連続で押されたキーをプリンタに無視させる間隔を設定します。
キーリピートまでの待ち時間 0.25 ~ 5 秒(1*)	反復キーが繰り返しを開始するまでの遅延の初期時間を設定します。 メモ: キーボードがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
キーリピートの間隔 0.5 ~ 30(30*)	反復キーを 1 秒間に押す回数を設定します。 メモ: キーボードがプリンタに接続されている場合にのみ表示されます。
画面タイムアウトの延期 オフ* オン	期限が切れても、ユーザーはホーム画面に戻らずに同じ場所に留まり、画面タイムアウトの時間をリセットできます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

工場出荷状態に復元

メニュー項目	説明
設定を復元 すべての設定を復元 プリンタ設定を復元 ネットワーク設定を復元 FAX 設定を復元 アプリ設定を復元	プリンタの初期状態のデフォルト設定を復元します。

メンテナンス

設定メニュー

メニュー項目	説明
USB 設定 USB PnP 1* 2	プリンタの USB ドライバモードを変更して、PC との互換性を向上させます。
USB 設定 ローカルに USB スキャン オン* オフ	USB デバイスドライバを USB シンプルデバイス(単一インターフェイス)として表示するのか、USB 複合デバイス(複数インターフェイス)として表示するのかを設定します。
USB 設定 USB 速度 フル 自動*	USB ポートがフルスピードで動作するように設定し、USB ポートの高速機能を無効化します。
トレイ構成設定 サイズ検知 トレイ [x] 検知 オフ オン*	トレイにセットされている用紙サイズを自動的に感知するように設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
トレイ構成設定 同一用紙サイズのトレイのリンク 自動 * オフ	同じ用紙タイプと用紙サイズが設定されているトレイをリンクするように、プリンタを設定します。
トレイ構成設定 トレイ挿入時のメッセージ表示 オフ 不明サイズのみ * 常時	トレイを挿入した後で、用紙サイズと用紙タイプの設定を変更できるメッセージが表示されます。
トレイ構成設定 A5 読み込み方向 短辺 長辺 *	すべての給紙トレイで A5 サイズの用紙のセット方向の初期値を決定します。
トレイ構成設定 用紙の給紙トレイ 自動 * 多目的フィーダ 手差し用紙	用紙をセットするよう要求されたときに、ユーザーがセットする給紙トレイを設定します。 メモ: 多目的フィーダを表示するには、[用紙]メニューで[多目的フィーダ設定]を[トレイ]に設定します。
トレイ構成設定 封筒の給紙トレイ 自動 * 多目的フィーダ 手動封筒	封筒をセットするよう要求された場合に、ユーザーがセットする給紙トレイを設定します。 メモ: 多目的フィーダを表示するには、[用紙]メニューで[多目的フィーダ設定]を[トレイ]に設定します。
トレイ構成設定 用紙変更時のアクション ユーザーに確認 * 続行 セットされている用紙を使用	用紙または封筒関連の変更を求めるプロンプトを解決するようにプリンタを設定します。
レポート メニュー設定ページ イベントログ イベントログサマリ ヘルスチェック統計	プリンタメニュー設定、状態、イベントログに関するレポートを印刷します。
消耗品使用量とカウンタ 消耗品使用履歴をクリア	ページ数や残りの日数など、消耗品の使用履歴を工場出荷時のレベルにリセットします。
消耗品使用量とカウンタ フィルタカウンタをリセット フューザーのリセット ITM のリセット	新しい部品または消耗品を取り付けたら、カウンタをリセットします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
段階的トナー使用率の範囲 段階的トナー使用率指標 表示 * 非表示 段階的トナー使用率の範囲 ハイライト範囲 ビジネス範囲 グラフィックス範囲	各印刷範囲の着色面率の量を調整します。
プリンタエミュレーション PPDS エミュレーション オフ * オン	PPDS データストリームを認識して使用するようにプリンタを設定します。
プリンタエミュレーション PS オフ オン *	PS データストリームを認識して使用するようにプリンタを設定します。
プリンタエミュレーション エミュレータセキュリティ ページタイムアウト 0 ~ 60(60 *)	エミュレーション中のページタイムアウトを設定します。
プリンタエミュレーション エミュレータセキュリティ ジョブ後にエミュレータをリセット オフ * オン	印刷ジョブ後にエミュレータをリセットします。
プリンタエミュレーション エミュレータセキュリティ プリンタメッセージアクセスの無効化 オフ オン *	エミュレーション中のプリンタメッセージへのアクセスを無効化します。
FAX 設定 FAX 節電サポート スリープしない スリープする 自動 *	プリンタが判断したときにスリープモードになるように FAX を設定します。
FAX 設定 FAX 保存場所 NAND ハード ディスク *	すべての FAX の保存場所を指定します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
印刷の構成 モノクロモード オフ * オン	非コピージョブをグレースケールで印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
印刷の構成 カラートラッピング オフ 1 2 * 3 4 5	プリンタの見当ずれを補正するために、印刷出力を強化します。
印刷の構成 フォントのシャープ度 0 ~ 150(24 *)	フォントデータの印刷時に高周波数スクリーンを使用する場合の、文字ポイントサイズの最高値を設定します。 たとえば、値が 24 の場合、サイズが 24 ポイント以下であるすべてのフォントが高周波数スクリーンを使用します。
デバイスの操作 静音モード オフ * オン	プリンタを静音モードで作動するように設定します。 メモ: この設定を有効にすると、プリンタ全体のパフォーマンスが低下します。
デバイスの操作 セーフモード オフ * オン	既知の問題が発生しても、プリンタを特別なモードで動作させ、できるだけ多くの機能の提供を続行するかどうかを設定します。 たとえば、[オン]に設定した場合、両面モーターが機能していないときには、両面印刷ジョブであっても、文書は片面に印刷されます。
デバイスの操作 最小コピーメモリ 80 MB * 100 MB	コピージョブを保存するために、最小限のメモリ割り当てを設定します。
デバイスの操作 カスタムメッセージをクリア	デフォルトのカスタムメッセージ、または代替のカスタムメッセージにユーザーが定義した文字列が消去されます。
デバイスの操作 クラウドからのメッセージをすべて消去	リモートでインストールしたメッセージが消去されます。
デバイスの操作 エラー画面の自動表示 オフ オン *	[画面タイムアウト]設定で指定した時間、ホーム画面のままプリンタを使用しない状態が続くと、ディスプレイに既存のエラーメッセージが表示されます。
デバイスの操作 高速コピー時に向きの設定を使用 オフ * オン	クイックコピージョブを送信する場合に、プリンタで[コピー]メニューの[用紙の向き]設定を使用できるようにします。
デバイスの操作 自動用紙タイプ検出 オフ オン *	プリンタにセットするページの用紙タイプを自動的に検出するかどうかを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
トナーパッチセンサーの設定 調整頻度設定 無効 カラー調整を最少にする カラー調整を少なくする 標準 * カラー精度を良好にする カラー精度を最良にする	カラーの一貫性を維持するため、トナーを正しい量に調整するかどうかを設定します。
トナーパッチセンサーの設定 完全調整	カラーの完全調整を実行します。
トナーパッチセンサーの設定 TPS 情報ページを印刷	トナーパッチセンサー調整の情報を含む診断ページを印刷します。
アプリ設定 LES アプリケーション オフ オン *	アプリ設定 LES アプリケーション オフ オン *
スキャナ設定 スキャナ手動登録 印刷簡易テスト	簡易テストのターゲットページを印刷します。 メモ: ターゲットページで余白の幅が全周で均等になっていることを確認します。 均等になっていない場合は、プリンタの余白をリセットする必要があります。
スキャナ設定 スキャナ手動登録 正面 ADF 登録 背面 ADF 登録 フラットベッド登録	ADF、原稿台、またはコントローラボードを交換したら、フラットベッドと ADF を手動で登録します。
スキャナ設定 メンテナンスカウンタをリセット	ADF メンテナンスキットの交換後、カウンタをリセットします。
スキャナ設定 フチ消去 フラットベッドフチ消去 (3 *) ADF フチ消去 (3 *)	ADF またはフラットベッドスキャンジョブの周囲にある非印刷領域のサイズをミリ単位で設定します。
スキャナ設定 ADF デスキュー ADF メカニカルデスキュー (オン *) ADF 電子的デスキュー (オン *)	ADF からスキャンされたドキュメントの傾きを抑制します。
スキャナ設定 スキャナを無効化 有効 * 無効 ADF 無効	スキャナが正常に動作しない場合は、スキャナを無効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
スキャナ設定 TIFF バイトオーダー CPU エンディアン * リトルエンディアン ビッグエンディアン	TIFF 形式のスキャン出力のバイトオーダーを設定します。
スキャナ設定 正確な Tiff RowsPerStrip オン * オフ	TIFF 形式のスキャン出力の RowsPerStrip タグ値を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

未使用時の消去

メニュー項目	説明
未使用時の消去 前回のプリンタメモリ消去 前回消去したハードディスク	プリンタのメモリまたはハードディスクの前回の消去がいつだったかを示します。 メモ: [前回消去したハードディスク]は、ハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
未使用時の消去 不揮発性メモリにあるすべての情報を消去 すべてのプリンタおよびネットワーク設定を消去 すべてのアプリとアプリ設定を消去 すべてのショートカットとショートカット設定を消去 ハードディスクのすべての情報を消去 ダウンロードを消去(すべてのマクロ、フォント、PPO などを消去) バッファリングされたジョブを消去 保留中のジョブを消去	不揮発性メモリのすべての情報およびハードディスクの情報を消去します。 メモ: [ハードディスクのすべての情報を消去]は、ハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。

ホーム画面アイコンの表示

メニュー	説明
コピー E メール Fax 状況/消耗品 ジョブ表示 言語を変更 ショートカットセンター アドレス帳 ブックマーク 保持されたジョブ USB FTP スキャンプロファイル アプリのプロファイル 用紙とお気に入り スキャンセンター Card Copy	ホーム画面に表示するアイコンを指定します。

このプリンタについて

メニュー項目	説明
アセットタグ	プリンタのシリアル番号を示します。
プリンタの設置場所	プリンタの設置場所を特定します。最大文字数は 63 文字です。
テクニカルサポートに	プリンタ名をカスタマイズします。最大文字数は 63 文字です。
設定ファイルを USB にエクスポート	設定ファイルをフラッシュメモリにエクスポートします。
圧縮ログを USB にエクスポート	圧縮ログファイルをフフラッシュメモリにエクスポートします。
ログの送信 キャンセル 送信	診断情報を Lexmark に送信します。

印刷する

レイアウト

メニュー項目	説明
印刷面 片面 * 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
反転スタイル 長辺 * 短辺	両面印刷を実行する場合は、用紙のどちらの辺を綴じるかを決定します。
空白ページ 印刷する 印刷しない *	印刷ジョブに含まれる空白ページを印刷します。
丁合印刷 オフ(1,1,1,2,2,2) オン(1,2,1,2,1,2)	特にジョブを複数部印刷する場合は、印刷ジョブのページをページ順に積み重ねます。
セパレータ紙 なし * 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を挿入します。
区切り紙給紙源 トレイ [x](1 *) 多目的フィーダー	区切り紙の給紙源を指定します。
ページ集約 オフ * 2 ページ/面 3 ページ/面 4 ページ/面 6 ページ/面 9 ページ/面 12 ページ/面 16 ページ/面	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
集約順 横方向 * 横方向(右から) 縦方向(左から) 縦方向(右から)	[ページ集約]メニューを使用するときに、複数ページの画像の位置を指定します。
原稿セット方向 自動 * 横長 縦長	[ページ集約]メニューを使用するときに、複数ページの画像の向きを指定します。
ページ枠 なし * ソリッド(塗りつぶし)	[ページ集約]メニューを使用するときに、各ページの画像に枠線を印刷します。
部数 1 ~ 9999(1 *)	各印刷ジョブのコピー部数を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
印刷領域 標準 * ページに合わせる 用紙全体	1 枚の用紙の印刷領域を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

設定

メニュー項目	説明
プリンタ言語 PCL エミュレーション PS エミュレーション *	プリンタ言語を設定します。 メモ: プリンタで設定した初期設定の言語にかかわらず、ソフトウェアプログラムから他のプリンタ言語の印刷ジョブを送信することができます。
ジョブ待機中 オフ * オン	消耗品を必要とする印刷ジョブを保持し、不足している消耗品を必要としないジョブが印刷できるようにします。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
ジョブ保持タイムアウト 0 ~ 255(30 *)	使用できないリソースを必要とするジョブを保持し、印刷キュー内の他のジョブの印刷を続行する前に、プリンタがユーザーの操作を待つ時間を秒単位で設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
プリンタ使用方法 送信最大ビット速度 印刷可能枚数を最大にする *	カラーイメージングキットが印刷中にどのように動作するかを決定します。 メモ: • [印刷可能枚数を最大にする]に設定されている場合は、モノクロのみのページのグループを印刷しているときにカラーイメージングキットが減速したり停止したりします。 • [送信最大ビット速度]に設定されている場合は、カラーページを印刷中かブラックのページを印刷中かに関係なく、印刷中にカラーイメージングキットが常に動作します。
ダウンロード先 RAM * ディスク	プリンタにダウンロードされたフォントやマクロなど、すべての常駐リソースを保存する場所を指定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
リソース保存 オフ * オン	利用可能なメモリよりも多くの領域を必要とするジョブを受信した場合に、フォントやマクロなどのダウンロードされたリソースをプリンタでどのように処理するかを指定します。 メモ: • [オフ]に設定すると、メモリが必要になるまで、ダウンロードされたリソースは保持されます。使用していないプリンタ言語に関連するリソースは削除されます。 • [オン]に設定すると、プリンタはすべての言語スイッチでダウンロード済みの常駐リソースをすべて保持します。必要に応じて、プリンタは常駐リソースを削除する代わりに、メモリ不足のメッセージを表示します。
[すべて印刷]時の印刷順序 アルファベット順 * 新しい順 古い順	すべての保留ジョブとコンフィデンシャルジョブの印刷を選択するときに順序を指定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

印刷品質

メニュー項目	説明
印刷モード 白黒 2 値 カラー *	プリンタによるカラー内容の生成方法を設定します。
印刷解像度 4800 CQ * 1200 dpi	印刷出力の解像度を設定します。 メモ: 4800 CQ では高品質な出力が最高速度で行われます。
トナーの濃さ 1 ~ 5(4 *)	文字画像の明るさや濃度を指定します。
ハーフトーン 標準 * 詳細	印刷出力を向上して鋭いエッジの滑らかな線にします。
カラートナー節約 オフ * オン	グラフィックスやイメージの印刷に使用するトナーの量を減らします。 メモ: [オン]に設定すると、この設定はトナーの濃さの設定の値を上書きします。
RGB 明るさ -6 ~ 6(0 *)	カラー出力の明度、コントラスト、彩度を調整します。 メモ: この設定は、CMYK カラー仕様を使用しているファイルには影響しません。
RGB コントラスト 0 ~ 5(0 *)	
RGB 彩度 0 ~ 5(0 *)	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン -5 ~ 5(0 *) マゼンタ -5 ~ 5(0 *) イエロー -5 ~ 5(0 *) ブラック -5 ~ 5(0 *) 標準設定に戻す	各カラーのトナー使用量を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
カラー補正 オフ 自動 * 手差し	ドキュメントの印刷に使用するカラー設定を変更します。 メモ: • [オフ]に設定すると、プリンタはソフトウェアからカラー補正を受信します。 • [自動]に設定すると、プリンタは印刷されるページの各オブジェクトに異なるカラープロファイルを適用します。 • [手動]に設定すると、印刷されるページの各オブジェクトに RGB または CMYK のカラー変換をカスタマイズできます。
カラーサンプル カラーサンプルの印刷	プリンタで使用されている RGB/CMYK の各種色変換テーブルのサンプルページを印刷します。
カラー調整	プリンタを調節して、印刷出力でカラーバリエーションを調整します。
スポット色交換 カスタム CMYK の設定	指定した CMYK 値を、20 個の名前付きスポットカラーに割り当てます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ジョブアカウント

メニュー項目	説明
ジョブアカウント オフ * オン	プリンタで受信した印刷ジョブのログを作成するかどうかを設定します。 メモ: このメニュー項目は、フラッシュメモリまたはハードディスクが取り付けられているときにのみ表示されます。
ジョブアカウントのログ回数 毎日 毎週 毎月 *	プリンタでログファイルを作成する頻度を指定します。
最後に行うログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除	頻度のしきい値を経過したときに、プリンタが行う処理を指定します。 メモ: このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ジョブアカウント情報のログ周期]で指定します。
ニアフル時のログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ハードディスクがほぼ満杯になったときのプリンタの動作を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
フル時のログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログをポストして削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ハードディスクの使用領域が上限 (100 MB) に達したときに、プリンタが行う処理を指定します。
ログ記録用 URL	プリンタによるジョブアカウント情報のログの記録先を指定します。
ログを送信するための E メールアドレス	ジョブアカウントのログを送信する E メールアドレスを指定します。
ログファイルのプレフィックス	ログファイルに使用するプレフィックスを指定します。 メモ: [TCP/IP]メニューで現在設定されているホスト名が、ログファイルの初期設定のプレフィックスとして使用されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

XPS

メニュー項目	説明
エラーページを印刷 オフ * オン	XPS ファイルの処理中にプリンタで発生したエラーページを印刷します。
最小線幅 1 ~ 30 (2 *)	最小線幅を設定します。 メモ: 1200 dpi で印刷されるジョブでは、この値がそのまま使用されます。 4800 CQ で印刷されるジョブでは、この値の半分が使用されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

PDF

メニュー項目	説明
用紙に合わせて印刷 オフ * オン	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。
注釈 印刷 印刷しない *	PDF 内の注釈を印刷するかどうかを指定します。
PDF エラーを印刷 オフ オン *	PDF エラーの印刷を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

PostScript

メニュー項目	説明
PS エラーを印刷 オフ* オン	PostScript® エラーを説明するページを印刷します。 メモ: エラーが発生した場合、ジョブの処理が停止し、プリンタによりエラーメッセージが印刷されて、残りの印刷ジョブがキャンセルされます。
最小線幅 1 ~ 30(2*)	最小線幅を設定します。 メモ: 1200 dpi で印刷されるジョブでは、この値がそのまま使用されます。 4800 CQ で印刷されるジョブでは、この値の半分が使用されます。
PS スタートアップモードをロック オフ オン*	SysStart ファイルを無効化します。
イメージ平滑化 オフ* オン	解像度が低いイメージのコントラストやシャープネスを強調します。 メモ: この設定は、解像度が 300 dpi 以上のイメージには効果ありません。
フォント優先順位 内蔵* フラッシュメモリ/ハードディスク	フォントの検索順序を指定します。 メモ: [内蔵]に設定すると、要求されたフォントがプリンタメモリで検索されてから、フラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクで検索されます。 [フラッシュ/ディスク]に設定すると、要求されたフォントがフラッシュメモリまたはプリンタのハードディスクで検索されてから、プリンタメモリで検索されます。 - このメニュー項目は、フラッシュメモリまたはハードディスクが取り付けられているときにのみ表示されます。
データ待ち時間 オフ オン* (40 秒)	印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが他のデータを待つことを有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

PCL

メニュー項目	説明
フォントソース 内蔵* ディスク フラッシュメモリ すべて	初期設定のフォント選択項目を含むソースを選択します。 メモ: [フラッシュメモリ]および[ハード ディスク]は、フラッシュメモリまたはハードディスクが取り付けられているときにのみ表示されます。 [フラッシュメモリ]および[ハード ディスク]を表示するには、読み取り保護または書き込み保護されていないことを確認してください。
フォント名 Courier*	指定したフォントソースからフォントを選択します。
シンボルセット 10U PC-8*	各フォント名のシンボルセットを指定します。 メモ: シンボルセットは英数字、句読点、および特殊記号の組み合わせです。シンボルセットは、科学的な文章内の数学記号など、異なる言語またはプログラムをサポートします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ピッチ 0.08 ~ 100(10*)	固定幅または等幅フォントのピッチを指定します。 メモ: ピッチとは、横方向 1 インチあたりの固定スペース文字の数のことです。
用紙の向き 縦* 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
1 ページ当たりの行数 1~255	PCL® データストリームで印刷される各ページのテキストの行数を指定します。 メモ: - このメニュー項目によって、ページの初期設定の余白間に選択した数の要求される行を印刷させる縦方向の送りを有効にします。 60 が米国向けの出荷時初期設定です。64 が米国以外の出荷時初期設定です。
PCL5 の最小線幅 1 ~ 30(2*)	初期最小線幅を設定します。 メモ:
PCLXL の最小線幅 1 ~ 30(2*)	1200 dpi で印刷されるジョブでは、この値がそのまま使用されます。 4800 CQ で印刷されるジョブでは、この値の半分が使用されます。
A4 サイズの幅 198 mm* 203 mm	A4 サイズの用紙の論理ページ幅を設定します。 メモ: 論理ページとは、データが印刷される物理的な用紙上のスペースのことです。
LF 後に CR を自動実行 オフ* オン	改行制御コマンドの後にキャリッジリターンを実行するよう設定します。 メモ: キャリッジリターンは、同じ線上の最初の位置にカーソルを移動するようにプリンタに命令するメカニズムです。
CR 後に LF を自動実行 オフ* オン	キャリッジリターン制御コマンドの後に改行を実行するよう設定します。
トレイ番号変更 多目的フィーダ割り当て トレイ[x]割り当て 手差し用紙割り当て 手差し封筒を割り当て 出荷時標準設定を表示 出荷時設定に戻す	- 給紙トレイの割り当てが異なる別の印刷ドライバやカスタムアプリケーションで動作するようにプリンタを設定し、特定の給紙トレイを使用するようにします。 - 各給紙トレイに割り当てられている出荷時初期設定値を表示します。 - トレイ番号変更の値を出荷時初期設定に復元します。
印刷タイムアウト オフ オン* (90 秒)	指定した時間アイドル状態が続いた場合に印刷ジョブを終了するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

HTML

メニュー項目	説明
フォント名 回*	HTML ドキュメントの印刷時に使用するフォントを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
フォントサイズ 1 ~ 255(12*)	HTML ドキュメントの印刷時に使用するフォントサイズを設定します。
拡大縮小 1 ~ 400%(100*)	印刷用に HTML ドキュメントを拡大/縮小します。
用紙の向き 縦* 横長	HTML ドキュメントのページの向きを設定します。
余白 8 ~ 255 mm(19*)	HTML ドキュメントのページ余白を設定します。
下地 印刷しない 印刷*	HTML ドキュメントの背景情報またはグラフィックスを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

イメージ

メニュー項目	説明
自動調整 オン オフ*	イメージで利用可能な最適な用紙サイズと向きの設定を選択します。 メモ: [オン]に設定した場合、このメニュー項目では、イメージの拡大縮小と向きの設定は上書きされます。
反転 オフ* オン	モノクロ 2 階調のイメージを反転します。 メモ: このメニュー項目は、GIF または JPEG イメージ形式には適用されません。
倍率変更 左上隅に固定 自動調整* 中央に固定 高さ/幅に合わせる 高さに合わせる 幅に合わせる	印刷領域に合わせてイメージを調整します。 メモ: [自動調整]を[オン]に設定すると、[倍率変更]は自動的に[自動調整]に設定されます。
原稿の向き 縦* 横 縦の反転 横の反転	ページに印刷される文字やグラフィックスの向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

用紙

トレイ構成設定

メニュー項目	説明
初期設定給紙トレイ トレイ[x] (1*) 多目的フィーダ 手差し用紙 手差し封筒	すべての印刷ジョブの給紙トレイを設定します。
用紙サイズ/タイプ トレイ[x] 多目的フィーダ 手差し用紙 手差し封筒	各給紙トレイにセットされている用紙サイズまたは用紙タイプを指定します。
代替サイズ オフ レター/A4 上記のすべて*	要求したサイズの用紙が給紙トレイにセットされていない場合に、指定のサイズの用紙を代替で使用するかどうかを設定します。 メモ: • [オフ]に設定すると、必要なサイズの用紙をセットするように画面に指示が表示されます。 • [上記のすべて]を選択すると、使用可能なすべての代替サイズを使用できます。
多目的フィーダ設定 トレイ* 手差し 優先	多目的フィーダの動作を決定します。 メモ: • [トレイ]を選択すると、多目的フィーダが自動給紙トレイとして設定されます。 • [手差し]を選択すると、多目的フィーダが手差しフィーダによる印刷ジョブ専用に変更されます。 • [優先]を選択すると、多目的フィーダが優先給紙トレイとして設定されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

用紙構成

ユニバーサル設定

メニュー項目	説明
測定単位 インチ ミリメートル	ユニバーサル用紙の長さの単位を指定します。 メモ: [インチ]が米国向けの出荷時初期設定です。[ミリメートル]がその他の国の出荷時初期設定です。
縦長の横の長さ 3 ~ 52 インチ(8.5*) 76 ~ 1321 mm(216*)	ユニバーサル用紙の縦長の幅を設定します。
縦長の縦の長さ 3 ~ 52 インチ(14*) 76.2 ~ 1321 mm(356*)	ユニバーサル用紙の縦長の高さを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
給紙方向 短辺 * 長辺	プリンタで、短辺または長辺方向で用紙を選択するかどうかを設定します。 メモ: [長辺]は、サポートされる最大幅よりも最大幅が短い場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

カスタムスキャンサイズ

メニュー項目	説明
カスタムスキャンサイズ [x] スキャンサイズ名 幅 1 ～ 8.5 インチ(8.5 *) 25.4 ～ 215.9 mm(215.9 *) 高さ 1 ～ 25 インチ(11 *) 25.4 ～ 635 mm(279.4 *) 用紙の向き 縦 * 横長 2 スキャン/面 オフ * オン	スキャンサイズ名を割り当てて、スキャン設定を構成します。

用紙の種類

メニュー項目	説明
普通紙 厚紙 再生紙 光沢紙 ラベル ビニールラベル ボンド 封筒 レターヘッド プレプリント カラー用紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 カスタム紙タイプ[X]	用紙の表面の粗さ、重さ、向きを指定します。

コピー

コピー初期設定

メニュー項目	説明
内容の種類 文字 文字/写真 * 写真 グラフィックス	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
印刷面 片面->片面 * 片面を両面に 両面を片面に 両面を両面に	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
セパレータ紙 なし * 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を入れるかどうかを指定します。
区切り紙給紙源 トレイ [x](1 *) 多目的フィーダ	区切り紙の給紙源を指定します。
カラー オフ オン * 自動	スキャンジョブからカラー出力を生成するようプリンタを設定します。
ページ集約 オフ * 縦 2 in 1 縦 4 in 1 横 2 in 1 横 4 in 1	1 枚の用紙の片面に印刷するページ数を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ページ枠を印刷 オフ* オン	単一のページに複数のページを印刷する場合に、各イメージの周囲に枠線を配置します。
部単位 オフ[1,1,1,2,2,2] オン「1,2,1,2,1,2」*	順番に複数部印刷します。
[コピー元]のサイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: レターは米国向けの出荷時初期設定です。A4 はその他の国の出荷時初期設定です。
[コピー先]の給紙源 トレイ [x](1*) 多目的フィーダ 自動サイズ調整	コピージョブの給紙源を指定します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
濃さ 1 ~ 9(5*)	スキャンした画像の濃度を調整します。
コピー部数 1 ~ 9999(1*)	コピー部数を指定します。
ヘッダー/フッター ヘッダー(左) ヘッダー(中央) ヘッダー(右) フッター(左) フッター(中央) フッター(右)	スキャン画像のヘッダー/フッターの情報を指定します。
オーバーレイ コンフィデンシャル コピー ドラフト 緊急 カスタム オフ*	各コピーに印刷するオーバーレイテキストを指定します。
カスタムオーバーレイ	[オーバーレイ]メニューで[カスタム]テキストを入力します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン(0* マゼンタ(0* イエロー(0*)	シアン、マゼンタ、イエローのカラー濃度を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
カラードロップアウト カラー削除(なし*) 赤色 初期しきい値(128*) 緑色 初期しきい値(128*) 青色 初期しきい値(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度(5*) 判別範囲(5*)	自動カラー検出の設定を行います。
コントラスト 原稿内容に最適な設定* 0～5	スキャンした画像のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出(自動*) レベル(0*)	原稿から背景色や画像ノイズを削除します。 メモ: ・[自動]では、原稿から背景色を削除します。 ・[固定]では、写真から画像ノイズを削除します。
自動中央揃え オフ* オン	コンテンツをページの中央に合わせます。
左右反転 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ～ 4(0*)	原稿のシャドウ調整を行います。
端までスキャン オフ* オン	原稿を端から端までスキャンします。
シャープネス 1 ～ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
カラーコピーを許可 オフ オン*	コピーをカラーで印刷します。
優先コピーを許可 オフ オン*	印刷ジョブに割り込んでコピーを行います。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
カスタムジョブスキャン オフ* オン	プリンタで最初の原稿のセットをスキャンするための設定を指定して、同じ設定または異なる設定で次の原稿のセットのスキャンを行うようにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	コピー設定をショートカットとして保存します。
ADF の傾きを調整 オフ オン*	ADF からドキュメントをスキャンして傾いた画像を調整するようにプリンタを設定します。
サンプルコピー オフ* オン	残りのコピーを印刷する前に、品質を確認するためのサンプルコピーを印刷します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

Fax

FAX 初期設定

FAX モード

メニュー項目	説明
FAX モード FAX * FAX サーバー 無効	FAX モードを選択します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX 設定

一般 FAX 設定

メニュー項目	説明
FAX 名	お使いの FAX 機を識別します。
FAX 番号	FAX 番号を識別します。
Fax ID FAX 名 FAX 番号 *	FAX 受信者に FAX 名または FAX 番号を通知します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
手差し FAX を有効化 オフ* オン	プリンタで FAX を手動で送受信する設定を行います。 メモ: • [FAX の転送]が「T.38」に設定されている場合は表示されません。 • このメニュー項目には、電話回線スプリッタと電話の受話器が必要となります。 • FAX 着信への応答、および FAX 番号のダイヤルは、通常の電話回線で行います。 • 手動 FAX 機能に直接移動するには、キーパッドで # と 0 をタッチします。
メモリ割当て すべて受信 ほとんど受信 均等に使用* ほぼ送信完了 すべて送信	FAX 送受信用に割り当てられた内蔵プリンタメモリ容量を設定します。 メモ: このメニュー項目により、メモリバッファ状態や FAX の失敗を防ぎます。
FAX をキャンセル 許可する* 許可しない	送信 FAX を送信前にキャンセルしたり、受信 FAX を印刷終了前にキャンセルします。
FAX 番号のマスキング オフ* 左から 右から	送信 FAX 番号をマスキングする形式を指定します。
マスキングする桁数 0 ~ 58(0*)	送信 FAX 番号をマスクする桁数を指定します。
接続回線の検出を有効化 オフ オン*	電話回線がプリンタに接続されているかどうかを確認します。 メモ: • プリンタの電源をオンにしたときと通話前に、検出が行われます。 • [FAX の転送]が「T.38」に設定されている場合は表示されません。
間違ったジャックの回線の検出を有効化 オフ オン*	電話回線がプリンタの正しいポートに接続されているかどうかを確認します。 メモ: • プリンタの電源をオンにしたときと通話前に、検出が行われます。 • [FAX の転送]が「T.38」に設定されている場合は表示されません。
使用されている内線番号のサポートを有効化 オフ オン*	同じ電話回線が別の電話など他のデバイスで使用されているかどうかを確認します。 メモ: • このメニュー項目により、プリンタの電源をオンにした後は常に監視が行われます。 • [FAX の転送]が「T.38」に設定されている場合は表示されません。
FAX 互換性を最適化	他の FAX 機との互換性を最適化するために、プリンタの FAX 機能を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
FAX の転送 アナログ * etherFAX なし T.38	FAX の転送方式を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX 送信設定

メニュー項目	説明
解像度 標準 * ファイン スーパーファイン ウルトラファイン	スキャンした画像の解像度を設定します。 メモ: 解像度を高くするほど FAX 送信にかかる時間が長くなり、多くのメモリが必要となります。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿のサイズを指定します。 メモ: レターは米国向けの出荷時初期設定です。A4 はその他の国の出荷時初期設定です。
用紙の向き 縦 * 横長	原稿の向きを指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
印刷面 オフ * 短辺 長辺	原稿の両面をスキャンする場合に、原稿の向きを指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
内容の種類 文字 * 文字/写真 写真 グラフィックス	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
濃さ 1 ~ 9(5 *)	スキャンした画像の濃度を調整します。
PABX 経由 オン オフ *	ダイヤルトーンを認識するまで待つことなく FAX 番号をダイヤルするようにプリンタを設定します。 メモ: 構内自動交換機(PABX)は、単一のアクセス番号で外部発信者に複数の回線を提供できる電話網です。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ダイヤルモード トーン* パルス	送信 FAX または受信 FAX のダイヤルモードを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン - 赤 -4 ~ 4(0*) マゼンタ - 緑 -4 ~ 4(0*) イエロー - 青 -4 ~ 4(0*)	スキャン中、カラーの彩度を調整します。
カラードロップアウト カラー削除(なし*) 赤色 初期しきい値(128*) 緑色 初期しきい値(128*) 青色 初期しきい値(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
コントラスト 原稿内容に最適な設定* 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを設定します。
背景削除 下地の検出 自動* 固定 レベル -4 ~ 4(0*)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[下地の検出]を[自動]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[下地の検出]を[固定]に設定します。
左右反転 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
端までスキャン オン オフ*	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
自動リダイヤル 0 ~ 9(5*)	受信側 FAX 機器のアクティビティレベルに応じて、リダイヤル回数を調整します。
リダイヤル間隔 1 ~ 200 分(3*)	FAX が正常に送信される確率を高めるために、リダイヤル再試行までの間隔を長くします。
ECM を有効化 オン* オフ	FAX ジョブのエラー修正モード(ECM)を有効にします。 メモ: FAX 送信処理において、電話回線ノイズや低下した信号強度のために、FAX 送信で発生したエラーを ECM が検出および修正します。
FAX スキャンを有効化 オン* オフ	プリンタでスキャンした原稿を FAX します。
PC-FAX オン* オフ	プリンタドライバによる FAX 送信を許可します。
ショートカットとして保存を許可 オン* オフ	FAX 番号をショートカットとしてプリンタに保存します。
速度優先 33600* 14400 9600 4800 2400	FAX 送信の最大速度を設定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	初期設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ* オン	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ADF の傾きを調整 オフ* オン	スキャンした画像の傾きを微調整します。
カラー FAX スキャン有効化 初期設定でオフ* 初期設定でオン 使用しない 常に使用	FAX のカラースキャンを有効にします。
カラー FAX からモノクロ FAX への自動変換 オン* オフ	カラーの送信 FAX をすべて白黒 2 値に変換します。
FAX 番号を確認 オフ* オン	ユーザーに FAX 番号を確認するように依頼します。
ダイヤルプレフィックス	外線発信番号を設定します。
ダイヤルプレフィックスルール	ダイヤルプレフィックスルールを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX 受信設定

メニュー項目	説明
呼び出し回数 1 ~ 25(3*)	受信 FAX の着信音の回数を設定します。
自動縮小 オン* オフ	ページに合わせて受信 FAX を縮小します。
給紙源 トレイ[x] 自動*	受信 FAX を印刷する際に使用するトレイを指定します。
印刷面 オン オフ*	用紙の両面に印刷します。
セパレータ紙 なし* 出力前 出力後	印刷時に空白の挿入紙を入れるかどうかを指定します。
区切り紙給紙源 トレイ [x] (1*)	区切り紙の給紙源を指定します。
排紙トレイ 標準排紙トレイ	受信 FAX の排紙トレイを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
FAX のフッター オン オフ*	受信 FAX の各ページの下に、送信情報を印刷します。
FAX フッター日時スタンプ 受信 * 印刷する	受信 FAX の各ページの下に、タイムスタンプを印刷します。
FAX 保留 FAX 保留モード オフ* 常にオン 手差し スケジュール	受信 FAX がリリースされるまで印刷を保留します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
FAX 受信を有効化 オン* オフ	FAX を受信するようにプリンタを設定します。
カラー FAX 受信を有効化 オン* オフ	FAX をカラーで受信するようにプリンタを設定します。
発信者番号表示を有効化 オン* オフ	受信 FAX を送信している番号を表示します。
無記名の FAX をブロック オン オフ*	ステーション ID または FAX ID が設定されていないデバイスから送信された受信 FAX を着信拒否します。
禁止された FAX 一覧 禁止された FAX を追加	ブロックする電話番号を指定します。
受信の設定 すべて* 1 回のみ受信 2 回のみ受信 3 回のみ受信 1 回または 2 回のみ受信 1 回または 3 回のみ受信 2 回または 3 回のみ受信	受信 FAX の専用着信音を設定します。
自動応答 オン* オフ	FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
手動応答コード 0 ~ 9(9*)	電話番号パッドでコードを手動で入力し、FAX 受信を開始します。 メモ: - このメニュー項目は、プリンタと電話が同じ回線を共有している場合のみ、表示されます。 - このメニュー項目は、FAX を手動で受信するようにプリンタを設定している場合のみ表示されます。
FAX 転送 印刷 * 印刷して転送 転送	受信 FAX を転送するかどうかを指定します。
転送先 宛先 1 宛先 2	受信 FAX の転送先を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[FAX 転送]が[印刷して転送]または[転送]に設定されている場合にのみ表示されます。
確認用 E メール	FAX が正常に転送されると、確認用 E メールが送信されます。 メモ: この E メールは、FTP またはネットワークを共有する送信先に転送する場合のみ、送信されます。
速度優先 33600 * 14400 9600 4800 2400	FAX の送信最大ビット速度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX 送付状ページ

メニュー項目	説明
FAX 送付状ページ 初期設定でオフ * 初期設定でオン 使用しない 常に使用	FAX 送付状ページの設定を構成します。
宛先を含める オフ * オン	
送信者を含める オフ * オン	
送信元	
[メッセージを含む]フィールド オフ * オン	
本文:	
ロゴを含む オフ * オン	
フッターを含める[x] オフ * オン	
フッター[x]	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX ログ設定

メニュー項目	説明
送信ログ周期 常時 * 実行しない エラー時のみ	プリンタで送信ログを作成する頻度を指定します。
送信ログ操作 印刷する オフ オン * E メール オフ * オン	FAX の正常送信および送信エラーのログを印刷または E メール送信します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
受信エラーログ 印刷しない * エラー時に印刷	FAX 受信エラーのログを印刷します。
自動印刷ログ オン * オフ	すべての FAX アクティビティを印刷します。
給紙源を記録 トレイ [x] (1 *)	ログを印刷する際に用紙を使用する給紙トレイを指定します。
ログ表示 リモート FAX 名 * ダイヤルした番号	リモート FAX 名または FAX 番号で送信者を特定します。
ジョブログを有効化 オン * オフ	すべての FAX ジョブの概要を表示します。
通話ログを有効化 オン * オフ	FAX 発信履歴の概要を表示します。
ログ排出トレイ 標準排紙トレイ * 排紙トレイ [x]	印刷したログの排紙トレイを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

スピーカー設定

メニュー項目	説明
スピーカーモード 常にオフ * 常にオン 接続されるまでオン	FAX のスピーカーモードを設定します。
スピーカー音量 低 * 高	FAX のスピーカー音量を調整します。
着信音量 オフ * オン	着信音を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX サーバー設定

一般 FAX 設定

メニュー項目	説明
送信先形式	FAX 送信先を指定します。 メモ: FAX 番号を使用する場合は、番号の前にシャープ(#)を入力します。
返信アドレス	FAX を送信するための返信アドレスを指定します。
件名	FAX の件名とメッセージを指定します。
メッセージ	
アナログ受信を有効化 オフ* オン	アナログ FAX を受信するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX サーバー E メール設定

メニュー項目	説明
E メール SMTP サーバーを使用 オン* オフ	ファックスの送受信では、Eメールの簡易メール転送プロトコル(SMTP)を使用します。 メモ: [オン]に設定すると、[FAX サーバー E メール設定]メニュー以外の設定は表示されません。
一次 SMTP ゲートウェイ	プライマリ SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
一次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30(30*)	SMTP サーバーが応答しない場合、プリンタがタイムアウトするまでの時間を設定します。
返信アドレス	FAX を送信するための返信アドレスを指定します。
SSL/TLS 使用 無効* 交渉 必須	暗号化されたリンクを使用して FAX を送信するかどうかを指定します。
信頼済み証明書を使用 オフ オン*	SMTP サーバーにアクセスする際の信頼済み証明書を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
SMTP サーバー認証 使用しない * Login/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証タイプを設定します。
デバイスから送信される E メール なし * デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
ユーザーから送信される E メール なし * デバイスの SMTP 証明書を使用 ログインしているユーザー ID とパスワードを使用 セッション E メールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	ユーザーから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ * オン	SMTP サーバーに接続するために、ユーザー資格情報とグループ送信先を有効にします。
デバイスのユーザー ID	SMTP サーバーに接続する際のユーザー ID とパスワードを指定します。
デバイスのパスワード	
Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。
NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。
[SMTP サーバーが設定されていません]エラーを無効にする オフ * オン	[SMTP サーバーが設定されていません]エラーメッセージを非表示にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

FAX サーバースキャン設定

メニュー項目	説明
イメージ形式 TIFF (.tif) PDF (.pdf) * XPS (.xps)	スキャン画像のファイル形式を指定します。
内容の種類 文字 * 文字/写真 写真 グラフィックス	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
FAX 解像度 標準 * ファイン スーパーファイン ウルトラファイン	FAX の解像度を設定します。
印刷面 オフ * 短辺 長辺	原稿の両面をスキャンする場合に、原稿の向きを指定します。
濃さ 1 ~ 9(5 *)	出力の濃さを設定します。
用紙の向き 縦 * 横長	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: • [大きさ混合]は米国向けの出荷時初期設定です。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 • この設定は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
複数ページ TIFF を使用 オフ オン *	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

E メール

E メール設定

メニュー項目	説明
一次 SMTP ゲートウェイ	E メール送信用のプライマリ SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
一次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535 (25*)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。
二次 SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535 (25*)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30 秒 (30*)	SMTP サーバーが応答しない場合、プリンタがタイムアウトするまでの時間を設定します。
返信アドレス	Eメールの返信アドレスを指定します。
SMTP の初期設定返信アドレスを常に使用する オン オフ*	SMTP サーバーで初期設定の返信アドレスを常に使用します。
SSL/TLS 使用 無効* 交渉 必須	暗号化されたリンクを使用して Eメールを送信するかどうかを指定します。
信頼済み証明書を使用 オフ オン*	SMTP サーバーにアクセスする際の信頼済み証明書が必要となります。
SMTP サーバー認証 使用しない* Login/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証タイプを設定します。
デバイスから送信される Eメール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される Eメールに資格情報が必要かどうかを指定します。
ユーザーから送信される Eメール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用 ログインしているユーザー ID とパスワードを使用 セッション Eメールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	ユーザーから送信される Eメールに資格情報が必要かどうかを指定します。
Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ* オン	ユーザーから送信される Eメールに資格情報が必要かどうかを指定します。
デバイスのユーザー ID	SMTP サーバーに接続する際のユーザー ID とパスワードを指定します。
デバイスのパスワード	
Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

E メール初期値設定

メニュー項目	説明
件名:	E メールの件名とメッセージを指定します。
本文:	
ファイル名	スキャンしたドキュメントのファイル名を指定します。
形式 JPEG (.jpg) PDF (.pdf) * TIFF (.tif) XPS (.xps)	スキャンしたドキュメントのファイル形式を指定します。
PDF 設定 PDF バージョン (1.5 *) アーカイブバージョン (A-1a *) 高圧縮 (オフ *) セキュア (オフ *) アーカイブ (PDF/A) (オフ *)	スキャンしたドキュメントの PDF 設定を行います。 メモ: [PDF バージョン]が 1.4 に設定されている場合にのみ、[アーカイブバージョン]および[アーカイブ (PDF/A)]がサポートされます。 [高圧縮]は、ハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
内容の種類 文字 文字/写真 * 写真 グラフィックス	原稿のコンテンツタイプに基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のコンテンツソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー 白黒 2 値 グレースケール カラー * 自動	ファイルのコンテンツをカラーまたはモノクロでキャプチャするようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ 1 ~ 9(5*)	スキャンした画像の濃度を調整します。
用紙の向き 縦 * 横長	原稿の向きを指定します。
原稿サイズ 大きさ混在 *	原稿の用紙サイズを設定します。
印刷面 オフ * 短辺 長辺	原稿の両面をスキャンする場合に、原稿の向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン(0*) マゼンタ(0*) イエロー(0*)	シアン、マゼンタ、イエローのカラー濃度を調整します。
カラードロップアウト カラー削除(なし*) 赤色 初期しきい値(128*) 緑色 初期しきい値(128*) 青色 初期しきい値(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度(5*) 判別範囲(5*) E メールビット深度(1 ビット*) 最小スキャン解像度(300 dpi*)	自動カラー検出の設定を行います。
JPEG 品質 原稿内容に最適な設定 * 5 ~ 95	スキャンした画像の JPEG 品質を設定します。
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0~5	スキャンした画像のコントラストを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
背景削除 下地の検出(自動*) レベル(0*)	原稿から背景色や画像ノイズを削除します。 メモ: ・ [自動]では、原稿から背景色を削除します。 ・ [固定]では、写真から画像ノイズを削除します。
左右反転 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャンした画像のシャドウ調整を行います。
端までスキャン オフ* オン	原稿を端から端までスキャンします。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャンした画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	原稿から青みの強い出力または赤みの強い出力を生成します。
空白ページ 空白ページの削除(削除しない*) 空白ページの感度(5*)	原稿の空白ページに対するスキャンの相対感度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
Eメールの最大送信サイズ 0 ~ 65535(0*)	各 E メール ファイルサイズの上限を設定します。
サイズのエラーメッセージ	E メールがファイルサイズの上限を超えた場合、プリンタから送信されるエラーメッセージを指定します。 メモ: 1,024 文字以下で入力します。
送信先を制限	指定されたリストにあるドメイン名にのみ Eメールの送信を制限します。 メモ: カンマを使用して、各ドメインを区切ります。
自分にコピーを送信 表示しない* 初期設定でオン 初期設定でオフ 常にオン	自分自身に Eメールのコピーを送信します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
自分の E メールのみを許可 オフ* オン	自分にのみ E メールを送信するようにプリンタを設定します。
cc: /bcc:を使用 オフ* オン	Eメールの CC および BCC を有効にします。
複数ページ TIFF を使用 オフ オン*	複数の TIFF 画像 から 1 つの TIFF ファイルへのスキャンを有効にします。
TIFF 圧縮 JPEG LZW*	TIFF ファイルの圧縮タイプを指定します。
テキスト標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャンするコンテンツの文字品質を設定します。
文字/写真標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャンするコンテンツの文字と写真の品質を設定します。
写真標準設定 5 ~ 95(50*)	スキャンするコンテンツの写真の品質を設定します。
ADF の傾きを調整 オフ オン*	ADF からドキュメントをスキャンして傾いた画像を調整するようにプリンタを設定します。
送信ログ ログを印刷* ログを印刷しない エラー時のみ印刷	E メールスキャンの送信ログを印刷します。
給紙源を記録 トレイ [x](1*) 多目的フィーダ	E メールログを印刷する際の給紙トレイを指定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	プリンタで最初の原稿のセットをスキャンするための設定を指定して、同じ設定または異なる設定で次の原稿のセットのスキャンを行うようにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ オン*	原稿のスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	E メールアドレスをショートカットとして保存します。
送信される画像 添付ファイル* Web リンク	E メールに含まれる画像の送信方法を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
送信後に E メール情報をリセットする オフ オン *	E メールを送信した後、[宛先]、[件名]、[メッセージ]、[ファイル名]フィールドを初期値にリセットします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

Web リンク設定

メニュー項目	説明
サーバー	E メールに含まれる画像をホストしているサーバーの資格情報を指定します。
ログイン	
パスワード	
パス	
ファイル名	
Web リンク	

FTP

FTP 初期値設定

メニュー項目	説明
形式 JPEG (.jpg) PDF (.pdf) * TIFF (.tif) XPS (.xps)	スキャン画像のファイル形式を指定します。
PDF 設定 PDF バージョン(1.5 *) アーカイブバージョン(A-1a *) 高圧縮(オフ *) セキュア(オフ *) アーカイブ(PDF/A)(オフ *)	スキャン画像の PDF 設定を行います。 メモ: [高圧縮]は、ハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
内容の種類 文字 文字/写真 * グラフィックス 写真	原稿のコンテンツタイプに基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のコンテンツソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー 白黒 2 値 グレースケール カラー * 自動	ファイルのコンテンツをカラーまたはモノクロでキャプチャするようにプリンタを設定します。
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ 1 ~ 9(5 *)	スキャンした画像の濃度を調整します。
用紙の向き 縦 * 横長	原稿の向きを指定します。
原稿サイズ 大きさ混在 *	原稿の用紙サイズを設定します。
印刷面 オフ * 長辺 短辺	原稿の両面をスキャンするときに、原稿の向きを指定します。
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン(0*) マゼンタ(0*) イエロー(0*)	シアン、マゼンタ、イエローのカラー濃度を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
カラードロップアウト カラー削除(なし*) 赤色 初期しきい値(128*) 緑色 初期しきい値(128*) 青色 初期しきい値(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度(5*) 判別範囲(5*) FTP ビット深度(1 ビット*) 最小スキャン解像度(300 dpi*)	自動カラー検出の設定を行います。
JPEG 品質 原稿内容に最適な設定 * 5 ~ 95	スキャンした画像の JPEG 品質を設定します。
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0 1 2 3 4 5	スキャンした画像のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出(自動*) レベル(0*)	原稿から背景色や画像ノイズを削除します。 メモ: • [自動]では、原稿から背景色を削除します。 • [固定]では、写真から画像ノイズを削除します。
左右反転 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャンした画像のシャドウ調整を行います。
端までスキャン オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャンした画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	原稿から青みの強い出力または赤みの強い出力を生成します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
空白ページ 空白ページの削除 (削除しない*) 空白ページの感度 (5*)	原稿の空白ページに対するスキャンの相対感度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
テキスト標準設定 5 ~ 95 (75*)	スキャンした画像の文字の品質を設定します。
文字/写真標準設定 5 ~ 95 (75*)	スキャンした画像の文字または写真の品質を設定します。
写真標準設定 5 ~ 95 (50*)	スキャン画像の写真の品質を設定します。
複数ページ TIFF を使用 オン* オフ	複数の TIFF 画像 から 1 つの TIFF ファイルへのスキャンを有効にします。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮タイプを指定します。
送信ログ ログを印刷* ログを印刷しない エラー時のみ印刷	FTP スキャンの送信ログを印刷します。
給紙源を記録 トレイ [x] (1*) 多目的フィーダ	FTP ログを印刷する際の給紙トレイを指定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	プリンタで最初の原稿のセットをスキャンするための設定を指定して、同じ設定または異なる設定で次の原稿のセットのスキャンを行うようにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ* オン	原稿のプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	FTP アドレスをショートカットとして保存します。
ADF の傾きを調整 オフ* オン	ADF からドキュメントをスキャンして傾いた画像を調整するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

USB ドライブ

フラッシュドライブスキャン

メニュー項目	説明
形式 JPEG (.jpg) PDF (.pdf) * TIFF (.tif) XPS (.xps)	スキャン画像のファイル形式を指定します。
PDF 設定 PDF バージョン (1.5 *) アーカイブバージョン (A-1a *) 高圧縮 (オフ *) セキュア (オフ *) アーカイブ (PDF/A) (オフ *)	スキャン画像の PDF 設定を行います。 メモ: • [PDF バージョン] が 1.4 に設定されている場合にのみ、[アーカイブバージョン] および [アーカイブ (PDF/A)] がサポートされます。 • [高圧縮] は、ハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
内容の種類 文字 文字/写真 * グラフィックス 写真	原稿のコンテンツタイプに基づいて、出力結果を向上させます。
内容のソース モノクロレーザー カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のコンテンツソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー 白黒 2 値 グレースケール カラー * 自動	ファイルのコンテンツをカラーまたはモノクロでキャプチャするようにプリンタを設定します。
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃さ 1 ~ 9 (5 *)	スキャンした画像の濃度を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
用紙の向き 縦 * 横長	原稿の向きを指定します。
原稿サイズ 大きさ混在 *	原稿の用紙サイズを設定します。
印刷面 オフ * 長辺 短辺	原稿の両面をスキャンする場合に、原稿の向きを指定します。
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

詳細イメージング

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン(0*) マゼンタ(0*) イエロー(0*)	シアン、マゼンタ、イエローのカラー濃度を調整します。
カラードロップアウト カラー削除(なし*) 赤色 初期しきい値(128*) 緑色 初期しきい値(128*) 青色 初期しきい値(128*)	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度(5*) 判別範囲(5*) スキャンビット深度(1ビット*) 最小スキャン解像度(300 dpi*)	自動カラー検出の設定を行います。
JPEG 品質 原稿内容に最適な設定 * 5 ~ 95	スキャンした画像の JPEG 品質を設定します。
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0~5	スキャンした画像のコントラストを指定します。
背景削除 下地の検出(自動*) レベル(0*)	原稿から背景色や画像ノイズを削除します。 メモ: [自動]では、原稿から背景色を削除します。 [固定]では、写真から画像ノイズを削除します。
左右反転 オフ * オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ネガイメージ オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ描写 -4 ~ 4(0*)	スキャンした画像のシャドウ調整を行います。
端までスキャン オフ* オン	原稿を端から端までスキャンします。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャンした画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	原稿から青みの強い出力または赤みの強い出力を生成します。
空白ページ 空白ページの削除(削除しない*) 空白ページの感度(5*)	原稿の空白ページに対するスキャンの相対感度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
テキスト標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャンした画像の文字の品質を設定します。
文字/写真標準設定 5 ~ 95(75*)	スキャンした画像の文字または写真の品質を設定します。
写真標準設定 5 ~ 95(50*)	スキャンした画像の写真の品質を設定します。
複数ページ TIFF を使用 オフ オン*	複数の TIFF 画像 から 1 つの TIFF ファイルへのスキャンを有効にします。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮タイプを指定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	プリンタで最初の原稿のセットをスキャンするための設定を指定して、同じ設定または異なる設定で次の原稿のセットのスキャンを行うようにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンレビュー オフ* オン	原稿のスキャンのレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ADF の傾きを調整 オフ* オン	ADF からドキュメントをスキャンして傾いた画像を調整するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

フラッシュドライブプリント

メニュー項目	説明
コピー部数 1 ~ 9999 (1*)	コピー部数を設定します。
トレイ指定 トレイ[x] (1*) 多目的フィーダ 手差し用紙 手差し封筒	印刷ジョブの給紙トレイを設定します。
カラー オフ オン*	フラッシュメモリのファイルをカラーで印刷します。
部単位 (1,1,1) (2,2,2) (1,2,3) (1,2,3)*	特にジョブを複数部印刷する場合は、印刷ジョブのページをページ順に積み重ねます。
印刷面 片面* 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
反転スタイル 長辺* 短辺	両面印刷を実行する際、用紙のどちらの辺を綴じるかを決定します。
ページ集約 オフ* 2 ページ/面 3 ページ/面 4 ページ/面 6 ページ/面 9 ページ/面 12 ページ/面 16 ページ/面	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
集約順 横方向* 横方向 (右から) 縦方向 (右から) 縦方向	[ページ集約]メニューを使用する際、複数ページの画像の位置を指定します。
原稿セット方向 自動* 横 縦	[ページ集約]メニューを使用する際、複数ページの画像の方向を指定します。
ページ枠 なし* 実線	[ページ集約]メニューを使用する際、各ページの画像に枠線を印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
挿入紙 オフ* 各コピー部数の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を挿入します。
挿入紙のトレイ指定 トレイ[x] (1*) 多目的フィーダ	挿入紙の給紙トレイを指定します。
空白ページ 印刷しない* 印刷	印刷ジョブで空白ページを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ネットワーク/ポート

ネットワークの概要

メニュー項目	説明
アクティブアダプタ 自動* 標準ネットワーク ワイヤレス	ネットワーク接続のタイプを指定します。 メモ: [ワイヤレス]は、ワイヤレスネットワークに接続されているプリンタでのみ使用できます。
ネットワーク状況	プリンタのネットワークの接続状態を表示します。
プリンタにネットワークの状態を表示 オフ オン*	ディスプレイにネットワーク状況を表示します。
速度、通信モード	現在有効になっているネットワークカードの速度を示します。
IPv4	IPv4 アドレスを表示します。
すべての IPv6 アドレス	すべての IPv6 アドレスを表示します。
プリントサーバーをリセット	プリンタへの有効なネットワーク接続すべてをリセットします。 メモ: この設定により、すべてのネットワーク設定が削除されます。
ネットワークジョブのタイムアウト オフ オン* (90 秒)	ネットワークの印刷ジョブがキャンセルされるまでの時間を設定します。
バナーページ オフ* オン	バナーページを印刷します。
ポートの範囲	ポートをブロックしているファイアウォールの背後にあるプリンタに対して、有効なポート範囲を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ネットワーク接続を有効化 オフ オン *	プリンタのネットワーク接続を有効にします。
LLDP を有効化 オフ * オン	プリンタにリンク層ディスカバリプロトコル(LLDP)を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ワイヤレス

メモ: このメニューは、Wi-Fi ネットワークに接続されているプリンタ、またはワイヤレスネットワークアダプタが内蔵されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
モバイルアプリを使用した設定	Lexmark モバイルアシスタントを使用してワイヤレス接続を設定します。
プリンタパネルで設定 ネットワークを選択 Wi-Fi ネットワークを追加 ネットワーク名 ネットワークモード(インフラストラクチャモード*) ワイヤレスセキュリティモード(無効)	操作パネルを使用してワイヤレス接続を設定します。
Wi-Fi Protected Setup プッシュボタン方式を開始する 暗証番号方式を開始	Wi-Fi ネットワークを確立して、ネットワークセキュリティを有効にします。
wifi ダイレクトを有効化 オン オフ *	wifi ダイレクト対応デバイスを有効化して、プリンタに接続します。
互換性 802.11b/g/n(2.4GHz) 802.11a/b/g/n/ac(2.4GHz/5GHz) * 802.11a/n/ac(5GHz)	Wi-Fi ネットワークの規格を指定します。
ワイヤレスセキュリティモード 無効 * WEP WPA2/WPA - Personal WPA2 - Personal 802.1x - RADIUS	プリンタを Wi-Fi デバイスに接続する際のセキュリティモードを設定します。
IPv4 DHCP を有効化(オン*) 静的 IP アドレスを設定	IPv4 設定を行います。

メニュー項目	説明
IPv6 IPv6 を有効化(オン*) DHCPv6 を有効化(オフ*) ステートレスアドレスの自動設定(オン*) DNS サーバーアドレス IPv6 アドレスの手動割り当て IPv6 ルーターの手動割り当て アドレスプレフィックス(64*) すべての IPv6 アドレス すべての IPv6 ルーターアドレス	IPv6 設定を行います。
ネットワークアドレス	ネットワークアドレスを指定します。
PCL SmartSwitch オフ オン*	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効な場合、プリンタは受信データを確認せず、[セットアップ]メニューで指定された初期設定のプリンタ言語が使用されます。
PS SmartSwitch オフ オン*	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PostScript エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効な場合、プリンタは受信データを確認せず、[セットアップ]メニューで指定された初期設定のプリンタ言語が使用されます。
ジョブバッファリング オフ* オン	印刷を実行する前に、ハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS 自動* オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: • [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。 • [オフ]を選択すると、標準プロトコルによって印刷ジョブがフィルタリングされます。

イーサネット

メニュー項目	説明
ネットワーク速度	アクティブなネットワークアダプタの速度を表示します。
IPv4 DHCP を有効化(オン*) 静的 IP アドレスを設定	IPv4 設定を行います。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
IPv6 IPv6 を有効化(オン*) DHCPv6 を有効化(オフ*) ステートレスアドレスの自動設定(オン*) DNS サーバーアドレス IPv6 アドレスの手動割り当て IPv6 ルーターの手動割り当て アドレスプレフィックス(64*) すべての IPv6 アドレス すべての IPv6 ルーターアドレス	IPv6 設定を行います。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを指定します。
PCL スマートスイッチ オフ オン*	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効化されているときは、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されている初期設定のプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン*	印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、自動的に PostScript エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効化されているときは、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されている初期設定のプリンタ言語が使用されます。
ジョブバッファ オフ* オン	印刷前にジョブをハードディスクに一時的に保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS 自動* オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: • [自動]を選択すると、Windows または Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。 • [オフ]を選択すると、標準プロトコルによって PostScript 印刷ジョブがフィルタリングされます。
省電力型イーサネット オン オフ 自動*	プリンタがイーサネットネットワークからデータを受信しない場合に、電力消費を節約します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

TCP/IP

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
ホスト名を設定	現在の TCP/IP ホスト名を設定します。
ドメイン名	ドメイン名を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
DHCP/BOOTP による NTP サーバーの更新を許可 オン* オフ	DHCP および BOOTP クライアントによる、プリンタの NTP 設定の更新を許可します。
ゼロコンフィグレーション名	ゼロコンフィグレーションネットワークのサービス名を指定します。
自動 IP を有効化 オフ* オン	IP アドレスを自動的に割り当てます。
DNS サーバーアドレス	現在のドメイン名システム (DNS) サーバーアドレスを指定します。
バックアップ DNS アドレス	バックアップ DNS サーバーアドレスを指定します。
バックアップ DNS アドレス 2	
バックアップ DNS アドレス 3	
ドメイン検索順序	ドメイン名のリストを指定して、ネットワーク上の異なるドメインに存在するプリンタとそのリソースを確認します。
DDNS を有効化 オフ* オン	動的 DNS 設定を更新します。
DDNS TTL	現在の DDNS 設定を指定します。
初期設定 TTL	
DDNS 更新時間	
mDNS を有効化 オフ オン*	マルチキャスト DNS 設定を更新します。
WINS サーバーアドレス	Windows インターネットネームサービス (WINS) のサーバーアドレスを指定します。
BOOTP を有効化 オフ* オン	BOOTP によるプリンタの IP アドレスの割り当てを許可します。
制限サーバーリスト	TCP/IP 経由でプリンタとの通信を許可する IP アドレスを指定します。 メモ: - 各 IP アドレスはカンマで区切ります。 - 最大 50 件の IP アドレスを追加できます。
制限サーバーリストのオプション すべてのポートをブロック* 印刷のみをブロック 印刷および HTTP のみをブロック	リストにない IP アドレスのアクセスオプションを指定します。
MTU 256-1500 イーサネット (1500*)	TCP 接続のための最大伝送単位 (MTU) パラメータを指定します。
RAW 印刷ポート 1-65535 (9100*)	ネットワーク上で接続されるプリンタの RAW ポート番号を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
アウトバウンドトラフィックの最高速度 オフ* オン	プリンタの最大転送速度を設定します。 メモ: 有効にすると、この設定のオプションは 100 ~ 1000000 キロビット/秒になります。
TLSv1.0 を有効化 オフ オン*	TLSv1.0 プロトコルを有効にします。
TLSv1.1 を有効化 オフ オン*	TLSv1.1 プロトコルを有効にします。
SSL 暗号リスト	SSL 接続または TLS 接続に使用する暗号アルゴリズムを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

SNMP

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
SNMP バージョン 1 および 2c 有効 オフ オン* SNMP の設定を許可 オフ オン* PPM MIB を有効化 オフ オン* SNMP コミュニティ	簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)のバージョン 1 および 2c を設定して、プリンタドライバとアプリケーションをインストールします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
SNMP バージョン 3 有効 オフ オン * 読み取り/書き込み認証資格情報の設定 ユーザー名 パスワード 読み取り専用認証資格情報の設定 ユーザー名 パスワード 認証ハッシュ MD5 SHA1 * 最小認証レベル 認証なし、暗号化なし 認証あり、暗号化なし 認証あり、暗号化あり * 暗号化アルゴリズム DES AES-128 *	SNMP バージョン 3 を設定して、プリンタセキュリティをインストールおよび更新します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

IPSec

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
IPSec を有効化 オフ * オン	IPSec(Internet Protocol Security)を有効にします。
基本構成 初期設定 * 互換性 セキュア	IPSec の基本構成を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[IPSec を有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。
DH (Diffie-Hellman) グループ提案 modp2048(14) * modp3072(15) modp4096(16) modp6144(17)	IPSec の基本構成を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[互換性]に設定されている場合にのみ表示されます。
提案された暗号化方式 3DES AES *	暗号化方式を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[互換性]に設定されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
提案された認証方式 SHA1 SHA256 * SHA512	認証方法を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[互換性]に設定されている場合にのみ表示されます。
IKE SA の寿命(時間) 1 2 4 8 24 *	IKE SA の有効期限を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[セキュア]に設定されている場合にのみ表示されます。
IPsec SA の寿命(時間) 1 2 4 8 * 24	IPsec SA の有効期限を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[セキュア]に設定されている場合にのみ表示されます。
IPsec デバイス証明書	IPsec 証明書を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[IPsec を有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。
事前共有鍵で認証された接続 ホスト [x]	プリンタの認証済みの接続を設定します。 メモ: これらのメニュー項目は、[IPsec を有効化]が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。
証明書で認証された接続 ホスト [x] アドレス[/サブネット]	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

802.1x

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
有効 オフ * オン	アクセスを許可する前に認証を要求するネットワークにプリンタが参加できるようにします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

LPD 構成設定

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
LPD タイムアウト 0 ~ 65535 秒(90 *)	タイムアウト値を設定して、Line Printer Daemon (LPD) サーバーが停止または無効な印刷ジョブのために無制限に待機しないようにします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
LPD バナーページ オフ* オン	すべての LPD 印刷ジョブのバナーページを印刷します。 メモ: バナーページは、印刷ジョブの最初のページで、印刷ジョブの区切りとして使用され、印刷ジョブ要求の送信元を識別します。
LPD トレーラページ オフ* オン	すべての LPD 印刷ジョブのトレーラページを印刷します。 メモ: トレーラページは、印刷ジョブの最後のページです。
LPD キャリッジリターン変換 オフ* オン	キャリッジリターン変換を有効にします。 メモ: キャリッジリターンは、同じ線上の最初の位置にカーソルを移動するようにプリンタに命令するメカニズムです。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

HTTP/FTP の設定

メニュー項目	説明
HTTP サーバーを有効化 オフ オン*	EWS にアクセスして、プリンタの監視および管理を行います。
HTTPS を有効化 オフ オン*	ハイパーテキスト転送プロトコルセキュア(HTTPS)を有効にして、プリントサーバーとの間で転送されるデータを暗号化します。
強制 HTTPS 接続 オン オフ*	強制的にプリンタが HTTPS で接続するようにします。
FTP/TFTP を有効化 オフ オン*	FTP/TFTP を使用して、ファイルを送信します。
ローカルドメイン	HTTP および FTP サーバーのドメイン名を指定します。
HTTP プロキシ IP アドレス	HTTP および FTP サーバーの設定を設定します。
FTP プロキシ IP アドレス	
HTTP 標準 IP ポート	
HTTPS デバイス証明書	
FTP 標準 IP ポート	
HTTP/FTP 要求のタイムアウト 1-299(30*)	サーバー接続が停止するまでの時間を指定します。
HTTP/FTP 要求の再試行回数 1-299(3*)	HTTP/FTP サーバーへの接続を再試行する回数を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ThinPrint

メニュー項目	説明
ThinPrint を有効化 オフ* オン	ThinPrint を使用して印刷します。
ポート番号 4000 ~ 4999(4000*)	ThinPrint サーバーのポート番号を設定します。
帯域幅(ビット/秒) 100 ~ 1000000(0*)	ThinPrint 環境でデータを転送する速度を設定します。
パケットサイズ(KB) 0 ~ 64000(0*)	データ転送のパケットサイズを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

USB

メニュー項目	説明
PCL スマートスイッチ オフ オン*	USB ポート経由で受信された印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効化されているときは、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されている初期設定のプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン*	USB ポート経由で受信された印刷ジョブが必要な場合、初期設定のプリンタ言語に関係なく、PostScript エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: この設定が無効化されているときは、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されている初期設定のプリンタ言語が使用されます。
ジョブバッファ オフ* オン	印刷前にジョブをハードディスクに一時的に保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS 自動* オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: [自動]を選択すると、Windows または Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。 [オフ]を選択すると、標準プロトコルによって PostScript 印刷ジョブがフィルタリングされます。
USB ポートを有効化 オフ オン*	前面 USB ドライブポートを有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

外部ネットワークアクセスの制限

メニュー項目	説明
外部ネットワークアクセスの制限 オフ* オン	ネットワークサイトへのアクセスを制限します。
外部ネットワークアドレス	制限されたアクセスでのネットワークアドレスを指定します。
通知を送信する E メールアドレス	ログに記録されたイベントの通知を送信する E メールアドレスを指定します。
Ping 頻度 1 ~ 300(10*)	ネットワーククエリの間隔を秒単位で指定します。
件名	通知 E メール の件名とメッセージを指定します。
メッセージ	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

Google クラウド プリント

メニュー項目	説明
登録 登録	Google クラウドプリントサーバーにプリンタを登録します。
オプション Google クラウドプリントを有効化 オフ オン*	Google アカウントから直接印刷します。
オプション ローカルディスクバリエーションを有効化 オフ オン*	登録ユーザーおよび同じサブネットの他のユーザーがプリンタにローカルにジョブを送信できるようにします。
オプション SSL ピア検証を有効にする オフ オン*	Google アカウントに接続するために、ピア証明書の信頼性を確認します。
オプション 常に画像として印刷 オフ* オン	PDF ファイルを画像として処理するように設定して高速で印刷できます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

wifi ダイレクト

メモ: このメニューは、ダイレクト Wi-Fi ネットワークが有効なネットワークの場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
SSID	Wi-Fi ネットワークの SSID (サービスセット識別子) を指定します。
優先チャネル番号 自動 1 ~ 11 (6*)	ネットワーク設定ページに PSK を表示します。
PSK を設定	Wi-Fi 接続時にユーザーを認証および検証するための事前共有鍵 (PSK) を設定します。
設定ページに PSK を表示 オフ オン*	ネットワーク設定ページに PSK を表示します。
グループオーナー IP アドレス	グループオーナーの IP アドレスを指定します。
自動受け付けプッシュボタン要求 オフ* オン	ネットワークに自動的に接続する要求を承諾します。 メモ: クライアントの自動承諾はセキュアではありません。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

セキュリティ

ログイン方式

権限を管理

メニュー項目	説明
機能アクセス アプリ内のアドレス帳にアクセス アドレス帳を変更 ショートカット管理 プロフィールの作成 ブックマークの管理 フラッシュドライブ印刷 フラッシュドライブカラー印刷 フラッシュドライブスキャン コピー機能 カラーコピー印刷 カラードロップアウト E メール機能 Fax 機能 FTP 機能 保留 Fax のリリース 保持されたジョブへのアクセス プロフィールの使用 デバイスの[ジョブをキャンセル] 言語を変更 インターネット印刷プロトコル(IPP) リモートスキャンを開始 B/W 印刷 カラー印刷 ネットワークフォルダ - 印刷 ネットワークフォルダ - カラー印刷 ネットワークフォルダ - スキャン ハードディスク - 印刷 ハードディスク - カラー印刷 ハードディスク - スキャン	プリンタ機能へのアクセスを制御します。 メモ: 一部のメニュー項目はハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。
管理者メニュー セキュリティメニュー ネットワーク/ポートメニュー 用紙メニュー レポートメニュー 機能設定メニュー 消耗品メニュー オプションカードメニュー SE メニュー デバイスメニュー	プリンタメニュー設定へのアクセスを制御します。

メニュー項目	説明
デバイス管理 リモート管理 ファームウェア更新 アプリケーション構成設定 操作パネルロック すべての設定をインポート/エクスポート 未使用時の消去	プリンタ管理オプションへのアクセスを制御します。
アプリ 新しいアプリケーション カードコピー スキャンセンター カスタムスキャンセンター [x] 用紙とお気に入り	プリンタのアプリケーションへのアクセスを制御します。

ローカルアカウント

メニュー項目	説明
グループ/権限を管理	プリンタに保存されているすべてのグループを一覧表示します。
ユーザーを追加 ユーザー名/パスワード ユーザー名 パスワード 暗証番号	ローカルアカウントを作成し、プリンタ機能、管理メニュー、プリンタ管理オプション、およびアプリケーションへのアクセス権を指定します。

初期設定のログイン方式

メモ: このメニューは、[ローカルアカウント]メニューの設定を行う場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
操作パネル ユーザー名/パスワード ユーザー名 パスワード PIN	操作パネルにアクセスするための初期設定のログイン方式を指定します。
ブラウザ ユーザー名/パスワード ユーザー名 パスワード PIN	ブラウザにアクセスするための初期設定のログイン方式を指定します。

USB デバイスのスケジュール

メニュー項目	説明
スケジュール 新しいスケジュールを追加	前面 USB ポートへのアクセスをスケジュールします。

セキュリティ監査ログ

メニュー項目	説明
監査を有効化 オフ* オン	セキュリティ監査ログとリモート Syslog にイベントを記録します。
リモート Syslog を有効化 オフ* オン	監査ログをリモートサーバーに送信します。
リモート Syslog サーバー	リモート Syslog サーバーを指定します。
リモート Syslog ポート 1 ~ 65535(514*)	リモート Syslog ポートを指定します。
リモート Syslog 方式 標準 UDP* スプリットトンネリング	ログに記録されたイベントをリモートサーバに送信する Syslog 方式を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
リモート Syslog ファシリティ 0 - カーネルメッセージ 1 - ユーザーレベルメッセージ 2 - メールシステム 3 - システムデーモン 4 - セキュリティ/認証メッセージ * 5 - Syslog で内部的に生成されたメッセージ 6 - ラインプリンタサブシステム 7 - ネットワークニュースサブシステム 8 - UUCP サブシステム 9 - クロックデーモン 10 - セキュリティ/承認メッセージ 11 - FTP デーモン 12 - NTP サブシステム 13 - ログ監査 14 - ログアラート 15 - クロックデーモン 16 - ローカル使用 0(local0) 17 - ローカル使用 1(local1) 18 - ローカル使用 2(local2) 19 - ローカル使用 3(local3) 20 - ローカル使用 4(local4) 21 - ローカル使用 5(local5) 22 - ローカル使用 6(local6) 23 - ローカル使用 7(local7)	リモートサーバーにログイベントを送信する際に、プリンタが使用するファシリティコードを指定します。
ログ記録するイベントの重要度 0 - 緊急 1 - アラート 2 - クリティカル 3 - エラー 4 - 警告 * 5 - 通知 6 - 情報 7 - デバッグ	メッセージとイベントを記録するための優先度レベル条件を指定します。
ログ記録されていないイベントをリモート Syslog サーバーへ送付 オフ * オン	重要度に関係なく、すべてのイベントがリモートサーバーに送信されます。
管理者の E メールアドレス	記録されたイベントの E メール通知が管理者に送信されます。
ログ消去 E メールアラート オフ * オン	ログエントリが削除された場合、E メール通知が管理者に送信されます。
E メールログラップアラート オフ * オン	E メールログラップアラートログが満杯になり、最も古いエントリの上書きが開始される場合、E メール通知が管理者に送信されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ログ保存容量オーバー時の動作 最も古いエントリに上書き* ログを E メール送信し、全エントリを削除	割り当てられたメモリがログで満杯になった場合、ログ保存の問題を解決します。
E メール % フルアラート オフ* オン	割り当てられたメモリがログで満杯になった場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログ容量アラートの通知レベル 1 ~ 99(90*)	
ログエクスポート E メールアラート オフ* オン	ログがエクスポートされた場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログ設定変更 E メールアラート オフ* オン	[監査を有効化]が設定された場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログの改行コード LF(\n)* CR(\r) CRLF(\r\n)	ログファイルの各行の末尾の終了方法を指定します。
エクスポートにデジタル署名を追加 オフ* オン	エクスポートされた各ログファイルにデジタル署名を追加します。
ログをクリア	すべての監査ログを削除します。
ログをエクスポート Syslog(RFC 5424) Syslog(RFC 3164) CSV	セキュリティログをフラッシュメモリにエクスポートします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ログイン制限

メニュー項目	説明
ログイン失敗許容回数 1 ~ 10(3*)	ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる回数を指定します。
ログイン失敗許容時間 1 ~ 60 分(5*)	ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる時間枠を指定します。
ロックアウト時間 1 ~ 60 分(5*)	ロックアウト時間を指定します。
Web ログインのタイムアウト 1 ~ 120 分(10*)	ユーザーが自動的にログオフされる前のリモートログインの遅延を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

コンフィデンシャル印刷設定

メニュー項目	説明
無効暗証番号許容回数 2 ～ 10	無効な暗証番号を入力できる回数を設定します。 メモ: • 値を 0 にすると、この設定はオフになります。 • この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号 (PIN) に対する印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャルジョブ期限切れ オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限を設定します。 メモ: • コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタのメモリまたはハードディスクにあるときにこのメニュー項目が変更された場合、それらの印刷ジョブの有効期限は新しい設定値に変更されません。 • プリンタの電源がオフになると、プリンタのメモリにあったコンフィデンシャルジョブはすべて削除されます。
期限切れジョブの繰り返し オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	繰り返す印刷ジョブの有効期限を設定します。
期限切れジョブの確認 オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	残りのコピーを印刷する前に、ユーザーが印刷品質を確認するためのコピーの印刷を実行する有効期限を設定します。
期限切れジョブの予約 オフ * 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	後で印刷する予約印刷ジョブがプリンタに保存される有効期限を設定します。
すべてのジョブを保留にする オフ * オン	すべての印刷ジョブを保留にするようにプリンタを設定します。
重複ドキュメントを維持 オフ * オン	同じファイル名の別のドキュメントを、印刷ジョブを上書きせず印刷するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ディスク暗号化

メモ: このメニューはハードディスクがある場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
状態 有効 無効	ディスク暗号化を有効にします。
暗号化を開始	

一時データファイルの消去

メニュー項目	説明
オンボードメモリ内 オフ* オン	プリンタのメモリに保存されているすべてのファイルを削除します。
ハードディスクに保存 1 回のパス消去* 3 回のパス消去 7 回のパス消去	プリンタのハードディスクに保存されているすべてのファイルを削除します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

ソリューション LDAP 設定

メニュー項目	説明
LDAP 参照を許可 オフ* オン	ドメイン内の異なるサーバーでログインしているユーザーアカウントを検索します。
LDAP 証明書の確認 はい いいえ*	LDAP 証明書の検証を有効にします。

その他

メニュー項目	説明
保護された機能 表示* 非表示	ユーザーに与えられたアクセス権に関係なく、機能アクセス制御(FAC)で保護される機能をすべて表示します。 メモ: [非表示]は、ユーザーがアクセス権を持つ保護された FAC 機能だけを表示します。
印刷許可 オフ* オン	印刷前のユーザーログインを許可します。
初期設定の印刷許可ログイン ユーザー名/パスワード* ユーザー名	印刷許可に関する初期設定のログインを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
セキュリティリセット設定 [[ゲスト]アクセスを有効化 * 効果なし	プリンタにユーザーアクセスを指定します。 メモ: - ジャンパーは、コントローラボードのロックアイコンの横にあります。 [[ゲスト]アクセスを有効化]を使用すると、すべてのユーザーがプリンタのあらゆる機能にアクセスできます。 - 効果なしを使用すると、必要なセキュリティ情報が利用できない場合、プリンタにアクセスできないようにすることができます。
最小パスワードの長さ 0 ~ 32	パスワードの長さを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

レポート

メニュー設定印刷

メニュー項目	説明
メニュー設定印刷	プリンタメニューを含むレポートを印刷します。

デバイス

メニュー項目	説明
デバイス情報	プリンタに関する情報が記載されているレポートを印刷します。
デバイス統計	プリンタ使用方法と消耗品の状態に関するレポートを印刷します。
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。
監査レポート	プリンタのシリアル番号や機種名を含むレポートを印刷します。

印刷する

メニュー項目	説明
フォント一覧を印刷 PCL フォント PS フォント	各プリンタ言語で使用可能なフォントのサンプルと情報を印刷します。
ファイルディレクトリを印刷	フラッシュメモリまたはハードディスクに保存されているリソースを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、フラッシュメモリまたはハードディスクが取り付けられている場合にのみ表示されます。

ショートカット

メニュー項目	説明
すべてのショートカット	プリンタに保存されているショートカット一覧のレポートを印刷します。
FAX ショートカット	
コピーショートカット	
E メールショートカット	
FTP ショートカット	
ネットワークフォルダのショートカット	

FAX

メニュー項目	説明
FAX ジョブログ	過去 200 件の完了した FAX ジョブに関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[ジョブログを有効化]が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。
FAX 通信ログ	ダイヤル、受信、ブロックされた過去 100 件の FAX に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[ジョブログを有効化]が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。

ネットワーク

メニュー項目	説明
ネットワーク設定ページ	プリンタで設定されているネットワーク設定およびワイヤレス設定が記載されているページを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ(またはプリントサーバーに接続されているプリンタ)でのみ表示されます。
Wi-Fi Direct に接続されているクライアント	wifi ダイレクトを使用してプリンタに接続されているデバイスのリストを表示するページを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[wifi ダイレクトを有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。

ヘルプ

メニュー項目	説明
すべてのガイドを印刷	すべてのガイドを印刷します。
色品質ガイド	色品質の問題を解決する方法を説明します。
接続ガイド	プリンタをローカル接続(USB)またはネットワーク接続する方法を説明します。
コピーガイド	コピーの作成および設定の構成に関する情報を提供します。
E メールガイド	Eメールの送信および設定の構成に関する情報を提供します。
FAX ガイド	FAX の送信および設定の構成に関する情報を提供します。
情報ガイド	プリンタに関する情報を提供します。
用紙ガイド	用紙および普通紙以外の用紙のセット方法を説明します。
移動ガイド	プリンタの移動、配置、搬送について説明します。

メニュー項目	説明
印刷品質ガイド	印刷品質の問題を解決する方法を説明します。
スキャンガイド	ドキュメントのスキャンおよび設定の構成に関する情報を提供します。
消耗品ガイド	消耗品の注文について説明します。

トラブルシューティング

メニュー項目	説明
印刷品質テストページ	サンプルページを印刷し、印刷品質の不良を特定して修正します。
スキャナの清掃	スキャナの清掃手順を印刷します。

メニュー設定ページを印刷する

ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [メニュー設定ページ]をタッチします。

プリンタを保護する

プリンタメモリを消去する

揮発性メモリまたはバッファされているデータを消去するには、プリンタの電源をオフにします。

非揮発性メモリまたは個々の設定、デバイスおよびネットワークの設定、セキュリティ設定、および埋め込みソリューションを消去するには、以下を行います。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [未使用時の消去]をタッチします。
- 2 [不揮発性メモリにあるすべての情報を消去]チェックボックスを選択し、[消去]をタッチします。
- 3 ディスプレイに表示される手順に従います。

プリンタハードディスクメモリを消去する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [データ完全消去]をタッチします。
- 2 [ハードディスクのすべての情報を消去]のチェックボックスを選択し、[消去]をタッチします。
- 3 データを消去する方法を選択します。
- 4 操作が開始されます。

メモ: このプロセスには、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。

プリンタのハードディスクを暗号化する

このプロセスにより、ハードディスクの内容がすべて消去されます。必要に応じて、暗号化を開始する前にプリンタの重要データをバックアップします。

- 1 ホーム画面で、[設定] > [セキュリティ] > [ディスクの暗号化] > [暗号化を開始する]にタッチします。
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

メモ:

- データを損失することがないように、暗号化処理中はプリンタの電源を切らないでください。
- このプロセスには、数分から 1 時間以上かかります。この間は、プリンタを他の処理に使用できません。
- 暗号化の完了後、プリンタは自動的に再起動します。

出荷時初期設定を復元する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [工場出荷時状態に復元]をタッチします。
- 2 [設定を復元]をタッチして > 復元する設定を選択し > [復元]をタッチします。
- 3 操作が開始されます。

揮発性に関する記述

メモリのタイプ	説明
揮発性メモリ	本機では、単純な印刷ジョブやコピージョブ時にユーザーデータを一時的にバッファに格納するために標準的なランダムアクセスメモリ (RAM) を使用します。
不揮発性メモリ	本機では、2 つの形態の不揮発性メモリが使用されています。EEPROM および NAND (フラッシュメモリ) の 2 つの形態の不揮発性メモリが使用されています。両タイプ共、オペレーティングシステム (OS) やプリンタの設定、ネットワーク情報、スキャナやブックマークの設定、組込みソリューションの保存に使用されます。
ハードディスクメモリ	一部のプリンタには、ハードディスクドライブが搭載されている場合があります。プリンタのハードディスクは、各プリンタ固有の機能に対応するように設計されています。ハードディスクがあることにより、複雑な印刷ジョブでバッファに保存されたユーザーデータ、用紙データ、フォントデータをプリンタが保持できます。

次の状況では、取り付けられたプリンタメモリの内容を消去してください。

- プリンタを廃棄する
- プリンタのハードディスクを交換する
- プリンタを別の部門または場所に移動する
- 外部の業者がプリンタを修理する
- プリンタが修理のために社外に搬送される
- プリンタが別の会社に売却される

ハードドライブの廃棄

- **消磁** – 磁場を使用してハードドライブをフラッシュし、保存されているデータを消去する
- **破碎** – ハードディスクを物理的に圧縮して構成部品を破壊し、読み取りを不可能にする
- **裁断** – ハードディスクが小さな金属片になるまで物理的に切断する

メモ: すべてのデータの完全な消去を確実にするには、データが保存されていたすべてのハードディスクを物理的に破壊します。

プリンタのメンテナンス

警告—破損の恐れあり: 最適なプリンタのパフォーマンスを維持できない場合や、部品や消耗品を交換できない場合は、プリンタの損傷が生じるおそれがあります。

スピーカー音量の調整

標準設定の内部スピーカー音量を調整する

セッションをログアウトしたり、プリンタがスリープまたはハイバネートモードから復帰したり、または電源オンリセットを実行すると、スピーカー音量が標準設定値にリセットされます。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [タッチスクリーンのタッチ音の設定]

- 2 音量を選択します。

メモ: 静音モードが有効になっている場合、警告音はオフになります。

初期設定のヘッドホン音量を調整する

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [ユーザー補助機能]

- 2 ヘッドホンの音量を調整します。

メモ: セッションをログアウトした後、またはプリンタがスリープモードや休止モードから復帰したときに、音量は初期設定値にリセットされます。

FAX スピーカー設定を行う

- 1 ホーム画面で、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [スピーカー設定]の順にタッチします。

- 2 以下の操作を実行します。

- [スピーカーモード]を[常にオン]に設定します。
- [スピーカー音量]を[高]に設定します。
- [着信音]を有効にします。

ネットワーク

メモ: プリンタをワイヤレスネットワーク上にセットアップする前に、MarkNet™ N8370 ワイヤレスネットワークアダプタを購入してください。ワイヤレスネットワークアダプタのインストールについては、アダプタに同梱されているセットアップシートを参照してください。

プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続する

アクティブアダプタが自動的に設定されていることを確認します。ホーム画面で、**[設定]** > **[ネットワーク/ポート]** > **[ネットワークの概要]** > **[アクティブアダプタ]** をタッチします。

操作パネルを使用する

- 1 ホーム画面で、**[設定]** > **[ネットワーク/ポート]** > **[ワイヤレス]** > **[プリンタパネルで設定]** > **[ネットワークを選択]** をタッチします。
- 2 Wi-Fi ネットワークを選択して、ネットワークパスワードを入力します。

メモ: Wi-Fi ネットワーク対応のプリンタ機種では、初期セットアップ中に Wi-Fi ネットワークの設定を求めるメッセージが表示されます。

Lexmark モバイルアシスタントを使用する

- 1 お使いのモバイルデバイスに応じて、Google Play ストアまたは App Store から Lexmark モバイルアシスタントアプリケーションをダウンロードします。
- 2 プリンタのホーム画面で、**[設定]** > **[ネットワーク/ポート]** > **[ワイヤレス]** > **[モバイルアプリを使用した設定]** > **[プリンタ ID]** をタッチします。
- 3 モバイルデバイスからアプリケーションを起動して、利用規約に同意します。

メモ: 必要に応じて、権限を付与します。

- 4 **[プリンタに接続]** > **[Wi-Fi 設定に移動]** をタップします。
- 5 モバイルデバイスをプリンタのワイヤレスネットワークに接続します。
- 6 アプリケーションに戻り、**[Wi-Fi 接続の設定]** をタップします。
- 7 Wi-Fi ネットワークを選択して、ネットワークパスワードを入力します。
- 8 **[完了]** をタップします。

WPS (Wi-Fi Protected Setup) を使用してワイヤレスネットワークにプリンタを接続する

はじめに、次の点を確認してください。

- アクセスポイント(ワイヤレスルーター)が WPS (Wi-Fi Protected Setup) 認定または互換である。詳細については、お使いのアクセスポイントに付属のマニュアルを参照してください。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタに取り付けられている。詳細については、アダプタに付属の説明書を参照してください。
- **[アクティブアダプタ]** が **[自動]** に設定されている。ホーム画面で、**[設定]** > **[ネットワーク/ポート]** > **[ネットワークの概要]** > **[アクティブアダプタ]** をタッチします。

プッシュボタン方式を使用する場合

- 1 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [WPS(Wi-Fi Protected Setup)] > [プッシュボタン方式を開始]をタッチします。
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

個人 ID 番号(PIN)方式を使用する場合

- 1 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [WPS(Wi-Fi Protected Setup)] > [暗証番号方式を開始]をタッチします。
- 2 8桁の WPS PIN をコピーします。
- 3 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにアクセスポイントの IP アドレスを入力します。

メモ:

- IP アドレスを確認するには、アクセスポイントに付属のマニュアルを参照してください。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効化し、Web ページを正しく読み込んでください。

- 4 WPS 設定にアクセスします。詳細については、お使いのアクセスポイントに付属のマニュアルを参照してください。
- 5 8桁の PIN を入力して、変更を保存します。

プリンタにモバイルデバイスを接続する

モバイルデバイスを接続する前に、次のことを行ってください。

- プリンタの wifi ダイレクト を有効化します。操作パネルから、次のメニューを選択します。[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ワイヤレス] > [wifi ダイレクトを有効化]。
- ネットワーク設定ページに事前共有鍵(PSK)を表示します。操作パネルから、次のメニューを選択します。[設定] > [ネットワーク/ポート] > [wifi ダイレクト] > [設定ページに PSK を表示]。
- ネットワーク設定ページを印刷します。操作パネルから、次のメニューを選択します。[設定] > [レポート] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定ページ]。

wifi ダイレクトを使用して接続する

- 1 モバイルデバイスから、[設定]メニューに移動します。
- 2 Wi-Fi を有効にして、[wifi ダイレクト]をタップします。
- 3 プリンタの SSID を選択します。
- 4 プリンタ操作パネルの接続を確認します。

Wi-Fi を使用して接続する

- 1 モバイルデバイスから、[設定]メニューに移動します。
- 2 [Wi-Fi]をタップし、プリンタ SSID を選択します。

メモ: 文字列 **DIRECT-xy**(**x** と **y** は 2 つのランダムな文字)が SSID の前に追加されます。

- 3 PSK を入力します。

メモ: PSK はパスワードです。

メモ:

- 操作パネルで SSID を変更することもできます。次のメニューを選択します。[設定] > [ネットワーク/ポート] > [wifi ダイレクト] > [SSID]。
- 操作パネルで PSK を変更することもできます。次のメニューを選択します。[設定] > [ネットワーク/ポート] > [wifi ダイレクト] > [PSK を設定]。

内蔵ソリューションポートを取り付けた後でプリンタのポート設定を変更する

メモ:

- 静的な IP アドレスがプリンタに割り当てられている場合は、設定を変更しないでください。
- IP アドレスの代わりにネットワーク名を使用するようにコンピュータが設定されている場合は、設定を変更しないでください。
- 以前はイーサネット接続用に設定されていたプリンタにワイヤレス内蔵ソリューションポート (ISP) を追加する場合は、プリンタをイーサネットネットワークから切り離します。

Windows の場合

- 1 プリンタフォルダを開きます。
- 2 新しい ISP を追加したプリンタのショートカットメニューから、プリンタのプロパティを開きます。
- 3 リストからポートを設定します。
- 4 IP アドレスを更新します。
- 5 変更を適用します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの「システム環境設定」から、プリンタの一覧に移動して、「+ > IP」の順に選択します。
- 2 アドレスフィールドに IP アドレスを入力します。
- 3 変更を適用します。

Wi-Fi ネットワークの無効化

- 1 ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [ネットワークの概要] > [アクティブアダプタ] > [標準ネットワーク] をタッチします。
- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

シリアル印刷を設定する (Windows のみ)

- 1 プリンタでパラメータを設定します。
 - a コントロールパネルから、ポート設定のメニューを選択します。
 - b シリアルポート設定のメニューを選択し、必要に応じて、設定を調整します。
 - c 変更を適用します。
- 2 コンピュータでプリンタフォルダを開き、プリンタを選択します。

3 [プリンタプロパティ]を開き、リストから[COM ポート]を選びます。

4 [デバイスマネージャ]で COM ポートのパラメータを設定します。

メモ:

- シリアル印刷では印刷速度が遅くなります。
- プリンタのシリアルポートにシリアルケーブルが接続されていることを確認します。

プリンタ部品の清掃

プリンタを清掃する

⚠ 注意—感電危険: プリンタの外部を清掃する際には、感電のリスクを避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタに接続されているすべてのケーブルを外してから作業を行ってください。

メモ:

- 数か月に 1 回この作業を実施します。
- 不適切な取り扱いにより生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

2 標準排紙トレイと多目的フィーダーから用紙を取り除きます。

3 柔らかいブラシまたは掃除機を使用して、プリンタ周辺の埃、糸くず、用紙の切れ端を取り除きます。

4 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布を使用して、プリンタの外側を拭きます。

メモ:

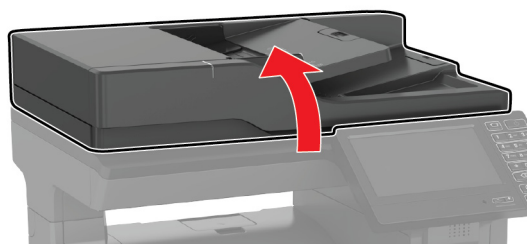
- 家庭用クリーナーや洗剤を使用しないでください。プリンタ表面の仕上げを傷つけることがあります。
- 清掃後にプリンタのすべてのエリアが乾いていることを確認してください。

5 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

スキャナの清掃

1 スキャナカバーを開きます。

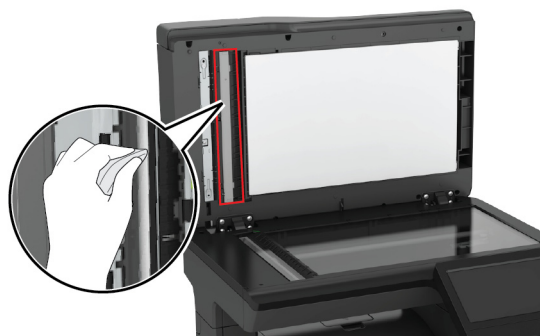


2 以下の領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。

- ADF ガラス



- ADF ガラスパッド



- 原稿台ガラス



- 原稿台ガラスパッド



3 スキャナカバーを閉じます。

部品と消耗品を注文する

米国内で消耗品を注文する場合は、お住まいの地域の Lexmark 認定消耗品販売店について、1-800-539-6275 までお電話でお問い合わせください。他の国または地域については、www.lexmark.com をご覧いただくか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

メモ: プリンタの消耗品の耐用期間見積もりは、レターまたは A4 サイズの普通紙を想定しています。

部品と消耗品の状況を確認する

- 1 ホーム画面で、[状態／消耗品]をタッチします。
- 2 確認したい部品または消耗品を選択します。

メモ: ホーム画面の上部にあるセクションをタッチしてこの設定にアクセスすることもできます。

Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する

Lexmark プリンタは Lexmark の純正部品および純正消耗品を使用して最高の機能を発揮するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。保証の対象にも影響します。サードパーティ製の部品や消耗品の使用による損傷は、保証の対象外となります。すべての寿命インジケータは、純正の部品および消耗品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の部品や消耗品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れあり: 返却プログラムの契約条項のない消耗品および部品は、リセットして再製造することができません。ただし、純正以外の消耗品または部品を使用したために発生した損傷については、製造元の保証は適用されません。適切に再生されていない消耗品および部品のカウンタをリセットするとプリンタが損傷する可能性があります。消耗品および部品のカウンタをリセットした後で、プリンタにリセットアイテムが存在することを示すエラーが表示される場合があります。

トナーカートリッジを注文する

メモ:

- 推定カートリッジ出力は、ISO/IEC 19798 規格に基づいています。
- 極端に低い印刷比率で長時間印刷すると、実際の印刷数に悪影響を与え、トナーがなくなる前にカートリッジ部品が損傷する原因になります。

Lexmark CX725 リターンプログラムカートリッジ

項目	米国、カナダ	欧州経済領域 (EEA +)	他のアジア太平洋地域 (RoAP)	中南米	他の欧州諸国、中東、アフリカ (RoEMEA)	オーストラリアおよびニュージーランド (ANZ)
回収プログラムトナーカートリッジ						
ブラック	74C10K0	74C20K0	74C30K0	74C40K0	74C50K0	74C60K0
シアン	74C10C0	74C20C0	74C30C0	74C40C0	74C50C0	74C60C0
マゼンタ	74C10M0	74C20M0	74C30M0	74C40M0	74C50M0	74C60M0
イエロー	74C10Y0	74C20Y0	74C30Y0	74C40Y0	74C50Y0	74C60Y0
高出力回収プログラムトナーカートリッジ						
ブラック	84C1HK0	84C2HK0	84C3HK0	84C4HK0	84C5HK0	84C6HK0
シアン	84C1HC0	84C2HC0	84C3HC0	84C4HC0	84C5HC0	84C6HC0
マゼンタ	84C1HM0	84C2HM0	84C3HM0	84C4HM0	84C5HM0	84C6HM0
イエロー	84C1HY0	84C2HY0	84C3HY0	84C4HY0	84C5HY0	84C6HY0
標準出力回収プログラムトナーカートリッジ						
ブラック	74C1SK0	74C2SK0	74C3SK0	74C4SK0	74C5SK0	74C6SK0
シアン	74C1SC0	74C2SC0	74C3SC0	74C4SC0	74C5SC0	74C6SC0
マゼンタ	74C1SM0	74C2SM0	74C3SM0	74C4SM0	74C5SM0	74C6SM0
イエロー	74C1SY0	74C2SY0	74C3SY0	74C4SY0	74C5SY0	74C6SY0

Lexmark CX725 標準カートリッジ

項目	グローバル
高出力標準トナーカートリッジ	
ブラック	84C0H10
シアン	84C0H20
マゼンタ	84C0H30
イエロー	84C0H40

Lexmark CX727 リターンプログラムカートリッジ

項目	米国、カナダ	欧州経済領域 (EEA +)	他のアジア太平洋地域 (RoAP)	中南米	他の欧州諸国、中東、アフリカ (RoEMEA)	オーストラリアおよびニュージーランド (ANZ)
回収プログラムトナーカートリッジ						
ブラック	75B10K0	75B20K0	75B30K0	75B40K0	75B50K0	75B60K0
シアン	75B10C0	75B20C0	75B30C0	75B40C0	75B50C0	75B60C0
マゼンタ	75B10M0	75B20M0	75B30M0	75B40M0	75B50M0	75B60M0
イエロー	75B10Y0	75B20Y0	75B30Y0	75B40Y0	75B50Y0	75B60Y0

Lexmark CX727 標準カートリッジ

項目	グローバル
標準トナーカートリッジ	
ブラック	75B0010
シアン	75B0020
マゼンタ	75B0030
イエロー	75B0040

Lexmark XC4140、XC4150、XC4143、XC4153 リターンプログラムカートリッジ

項目	グローバル	中南米
ブラック	24B6720	24B5141
シアン	24B6717	24B4891
マゼンタ	24B6718	24B4894
イエロー	24B6719	24B4906

イメージングユニットまたはイメージングキットを注文する

項目	すべての国と地域
回収プログラムイメージングユニットまたはイメージングキット	
ブラックイメージングユニット	74C0ZK0
カラー (CMY) イメージングキット	74C0ZV0
標準イメージングユニットまたはイメージングキット	
ブラックイメージングユニット	74C0Z10
カラー (CMY) イメージングキット	74C0Z50

廃トナーボトルを注文する

項目	部品番号
廃トナーボトル	74C0W00

フューザーメンテナンスキットを注文する

フューザーメンテナンスキットのタイプ	部品番号
フューザーメンテナンスキット、タイプ 00、110 ～ 120V	41X0554
フューザーメンテナンスキット、タイプ 01、220 ～ 240V	41X0556
フューザーメンテナンスキット、タイプ 02、100V	41X0552

転写モジュールを注文する

項目	部品番号
転写モジュール	40X9929

消耗品通知を設定する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [デバイス] > [通知]をクリックします。

3 [消耗品]メニューの[消耗品のカスタム通知]をクリックします。

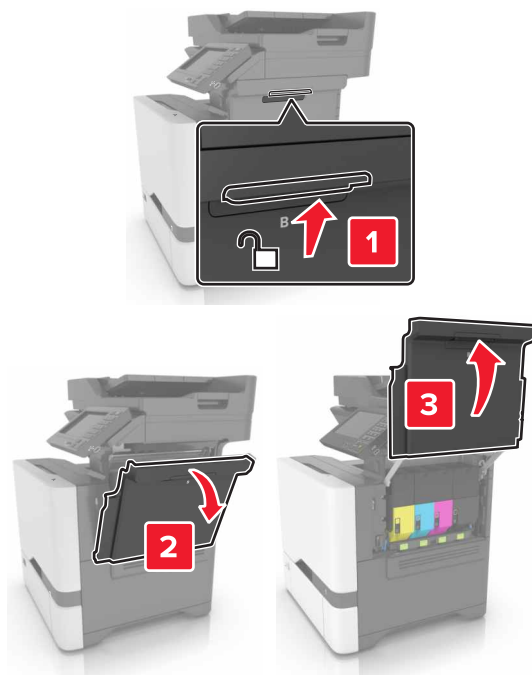
4 各消耗品の通知を選択します。

5 変更を適用します。

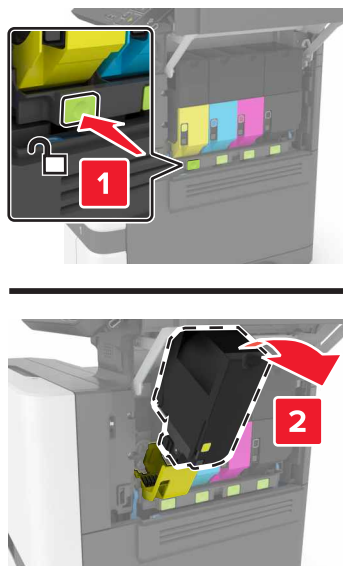
消耗品を交換する

トナーカートリッジを交換する

1 ドア B を開きます。

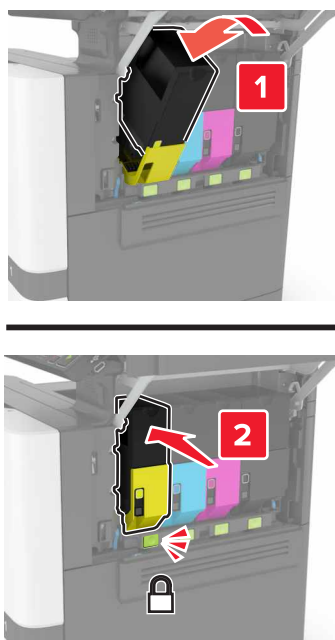


2 トナーカートリッジを取り外します。



3 新しいトナーカートリッジを包装から取り出します。

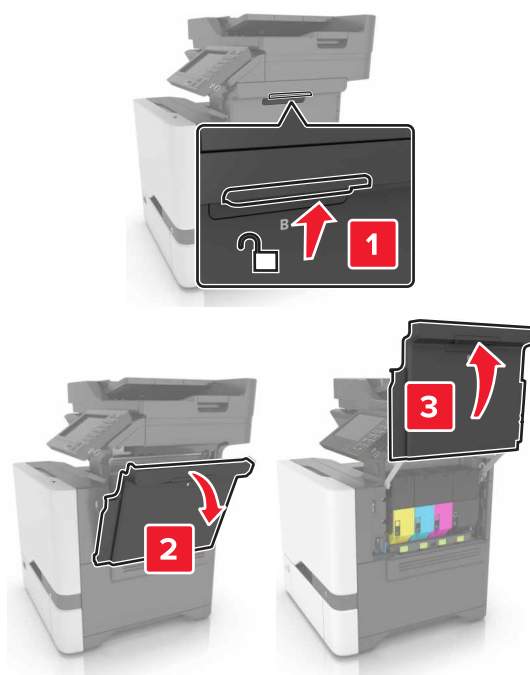
4 新しいトナーカートリッジを挿入します。



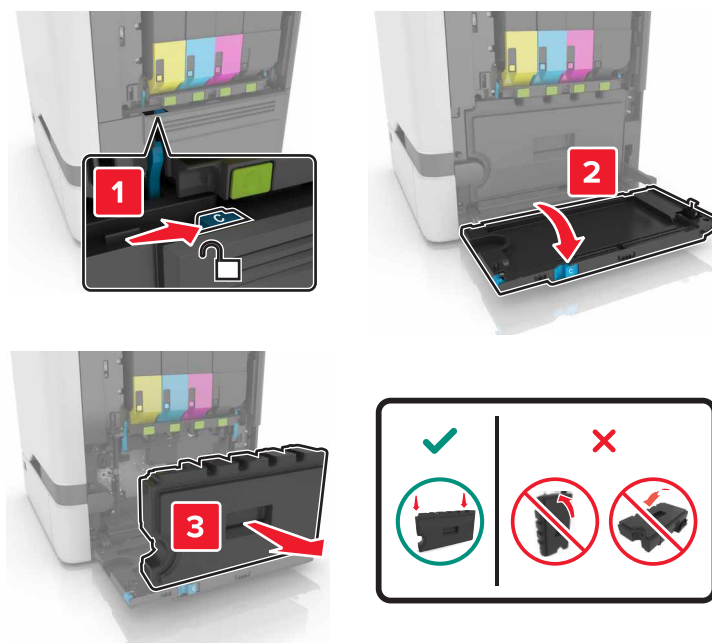
5 ドア B を閉じる。

イメージングユニットの交換

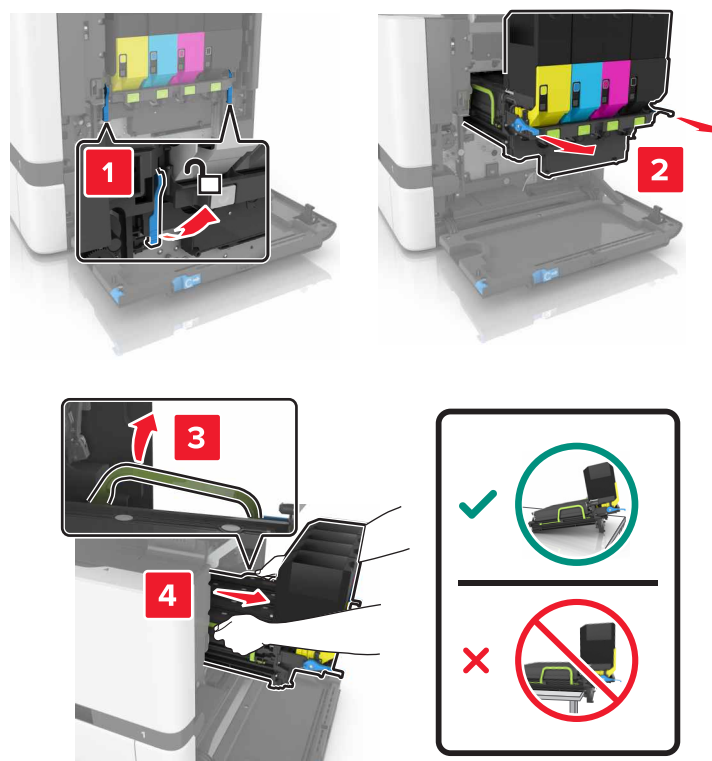
1 ドア B を開きます。



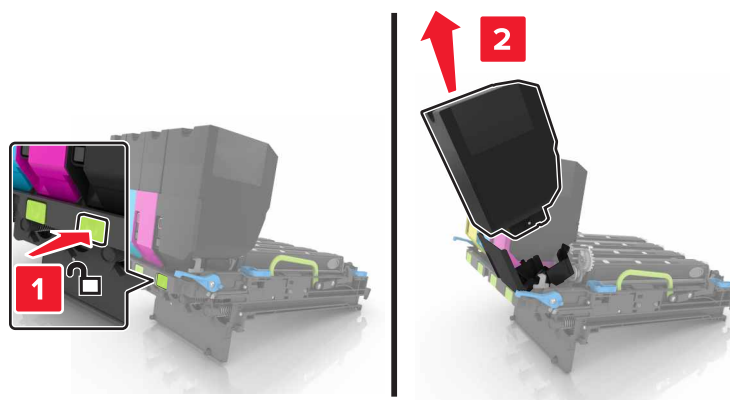
2 廃トナーボトルを取り外します。



3 イメージングキットを取り外します。



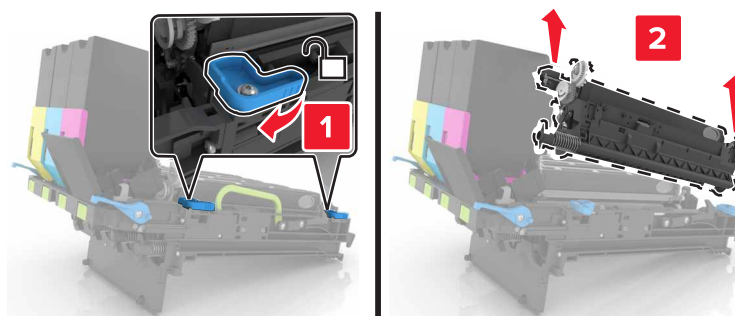
4 ブラケットナーカートリッジを取り外します。



5 イメージングユニットを取り外します。

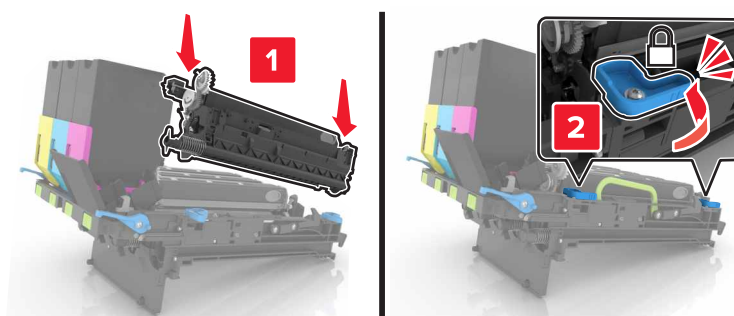
警告—破損の恐れあり: 感光体ユニットを 10 分以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の感光体ドラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの品質に影響する可能性があります。

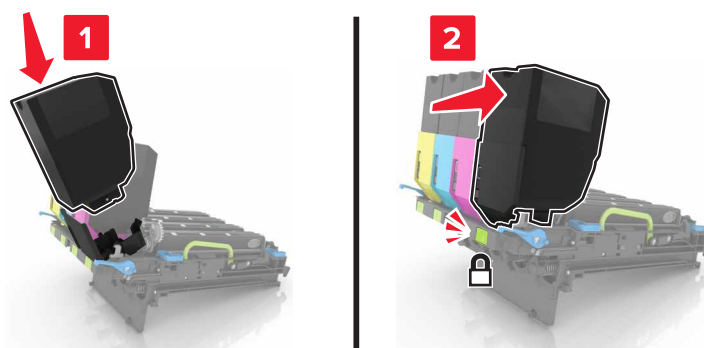


6 新しいイメージングユニットを梱包から取り出します。

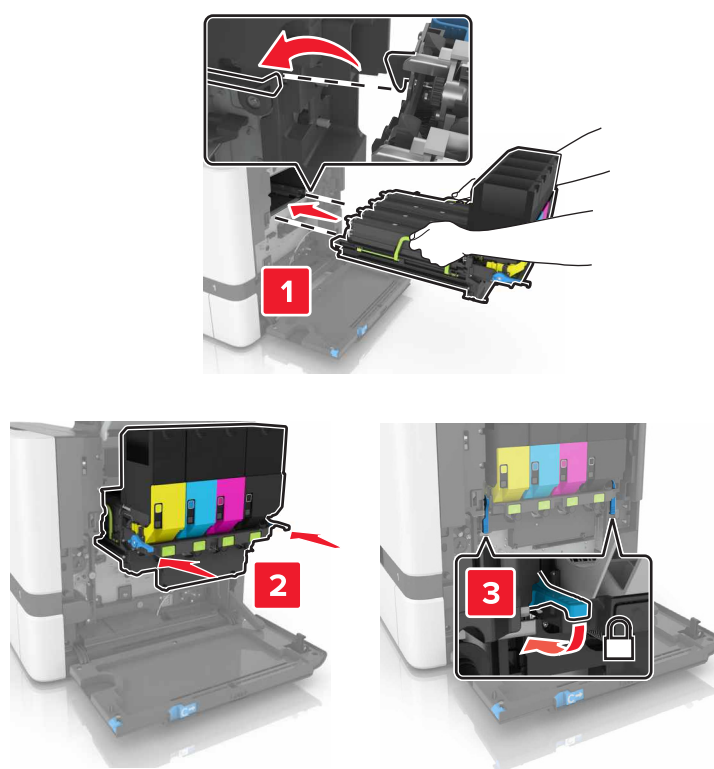
7 新しいイメージングユニットを挿入します。



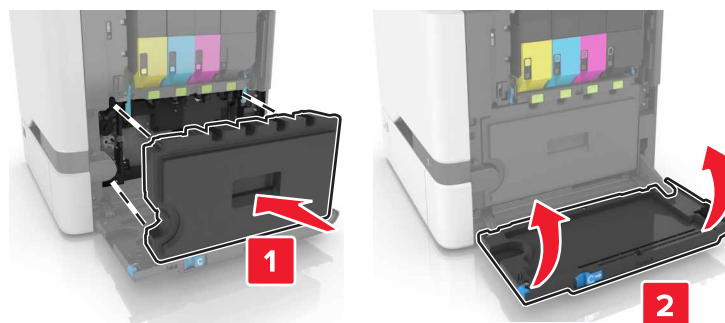
8 ブラックトナーカートリッジを挿入します。



9 イメージングキットを挿入します。



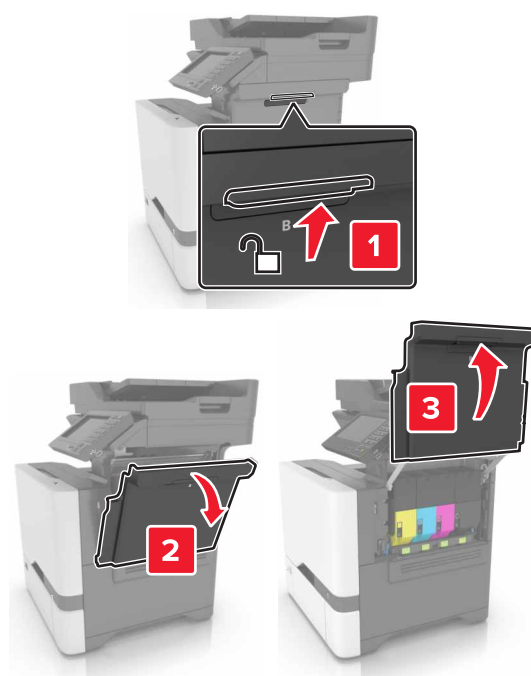
10 廃トナーボトルを挿入します。



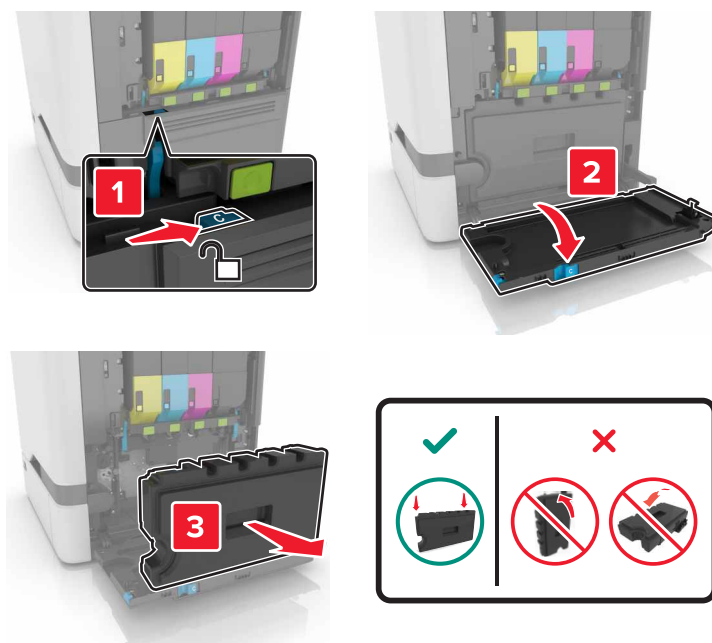
11 ドア B を閉じる。

イメージングキットの交換

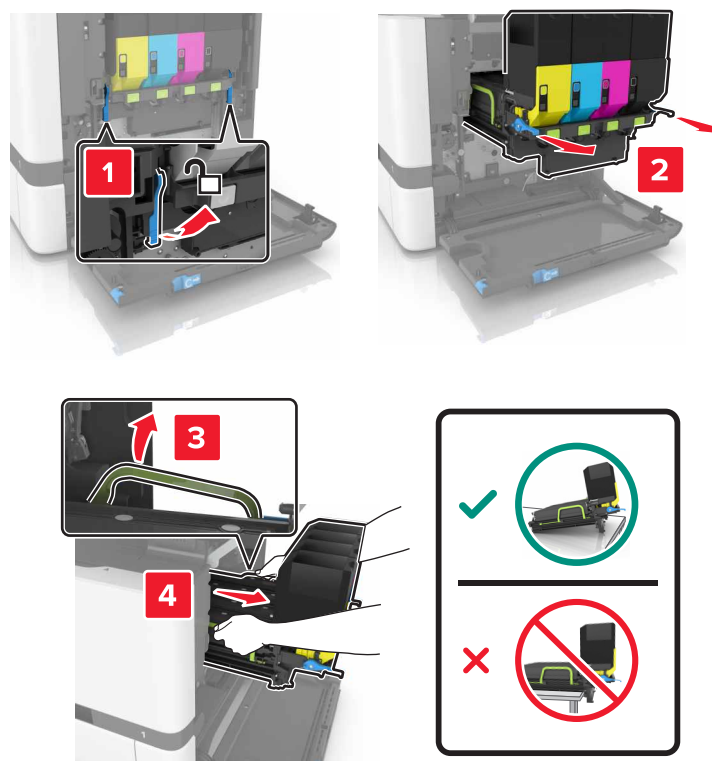
1 ドア B を開きます。



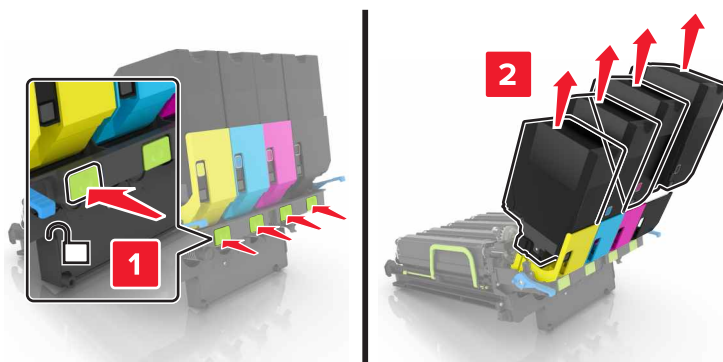
2 廃トナーボトルを取り外します。



3 イメージングキットを取り外します。



4 トナーカートリッジを取り外します。



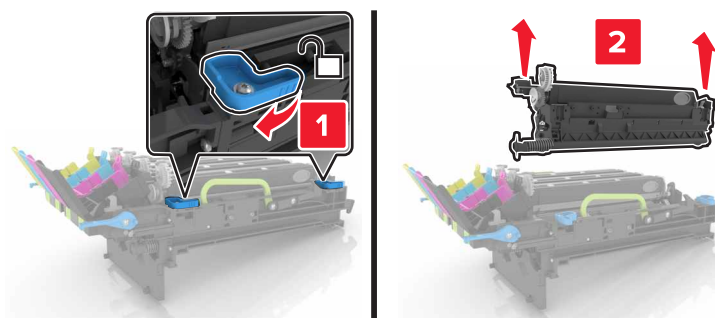
5 新しいイメージングキットを梱包から取り出し、梱包材を取り除きます。

メモ: イメージングキットには、イメージングキットとシアン、マゼンタ、およびイエローの開発者ユニットがあります。

6 ブラックイメージングユニットを取り外します。

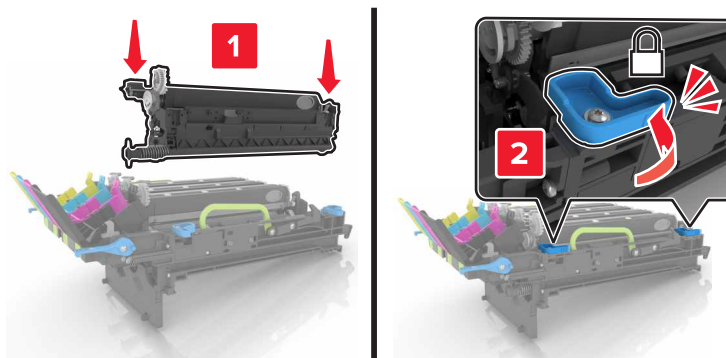
警告—破損の恐れあり: 感光体ユニットを 10 分以上直射光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下の感光体ドラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの品質に影響する可能性があります。

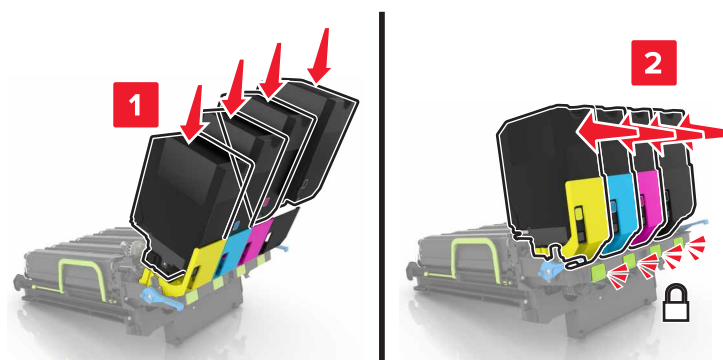


メモ: ブラックイメージングユニットには、ブラックの開発者ユニットとフォトコンダクター ユニットがあります。

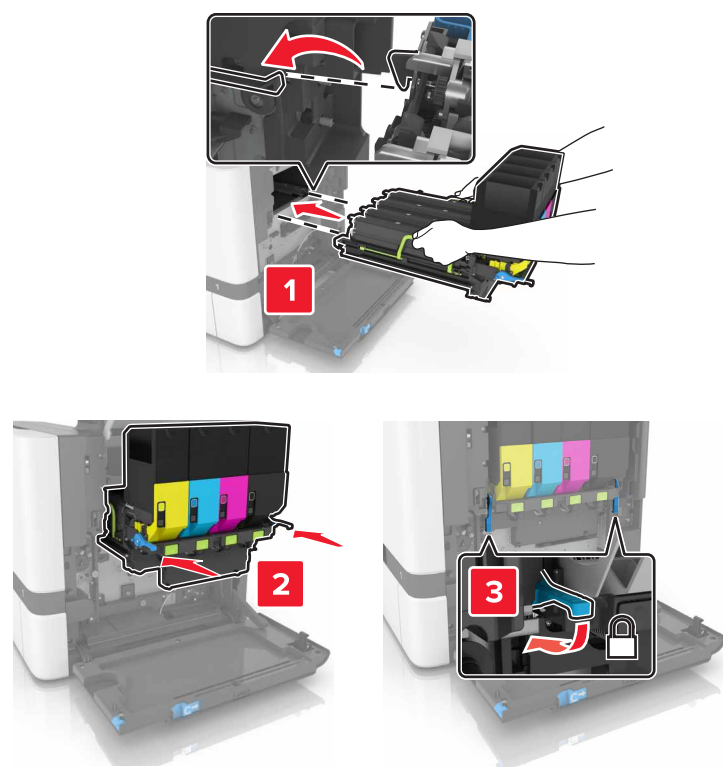
7 ブラックイメージングユニットを新しいイメージングキットに挿入します。



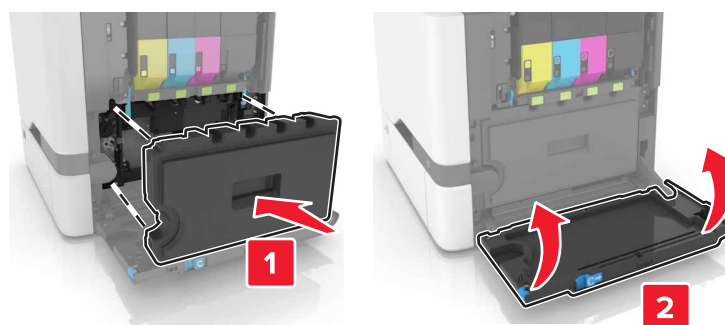
8 トナーカートリッジを挿入します。



9 新しいイメージングキットを挿入します。



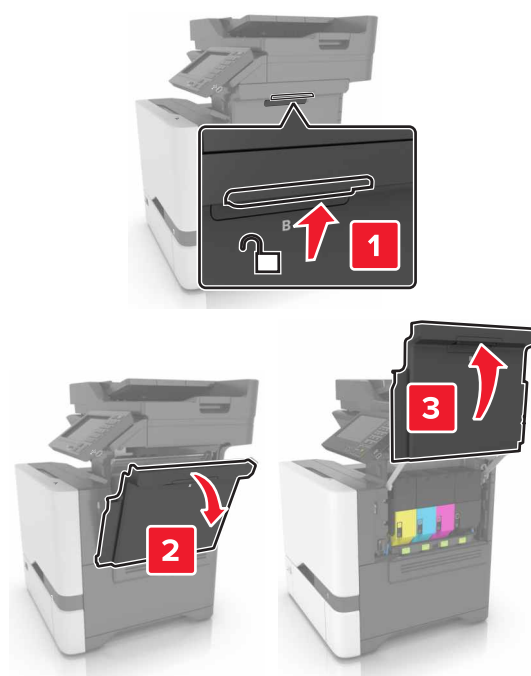
10 廃トナーボトルを挿入します。



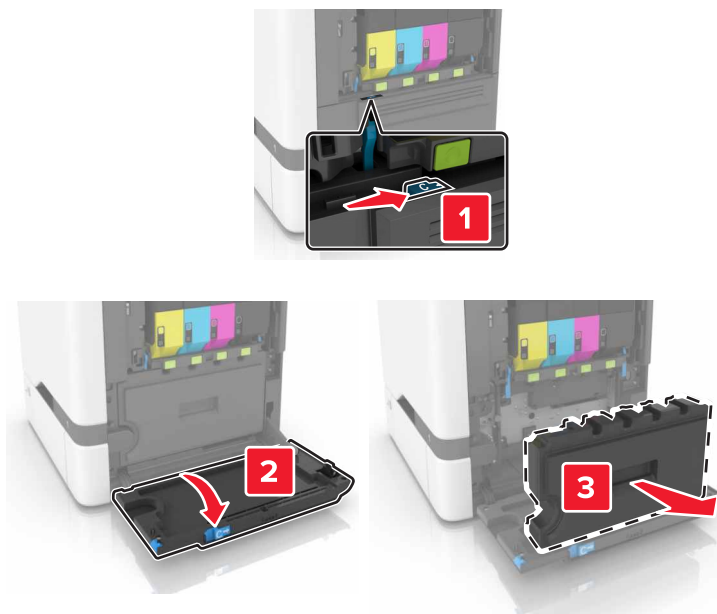
11 ドア B を閉じる。

廃トナーボトルを交換する

1 ドア B を開きます。

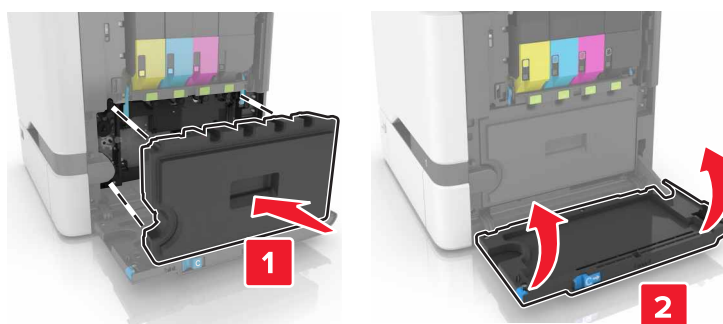


- 2 廃トナーボトルを取り外します。



- 3 新しい廃トナーボトルの梱包を取り外します。

- 4 新しい廃トナーボトルを挿入します。



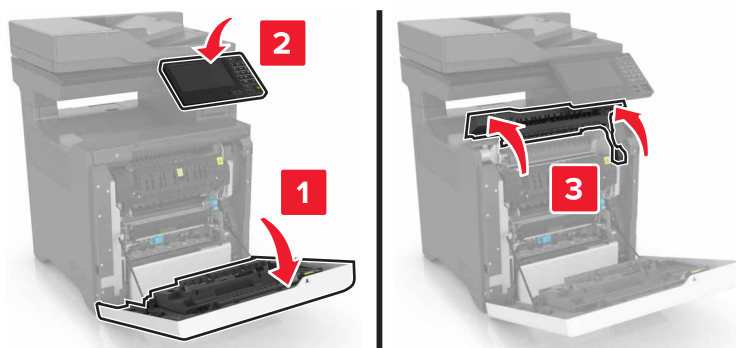
- 5 ドア B を閉じる。

フューザーを交換する

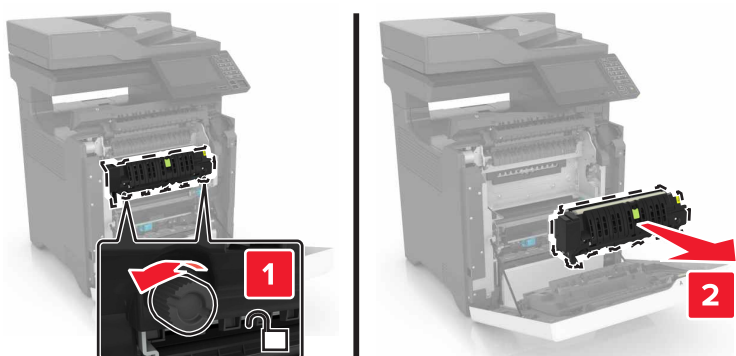
- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

- 2 ドア A と D を開きます。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

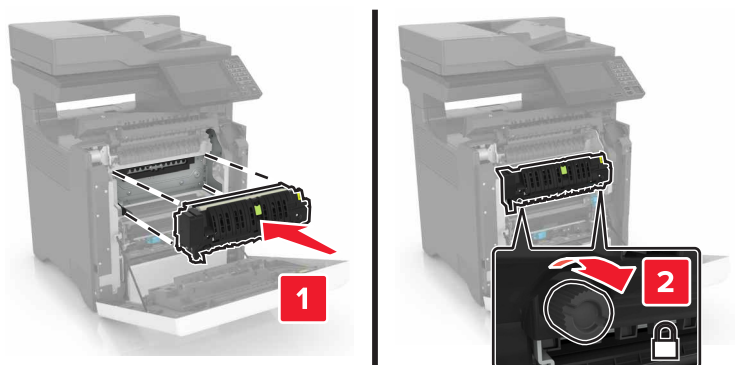


3 フューザーを取り外します。



4 新しいフューザーを梱包から取り出します。

5 新しいフューザーを挿入します。



6 ドア D および A を閉じます。

7 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

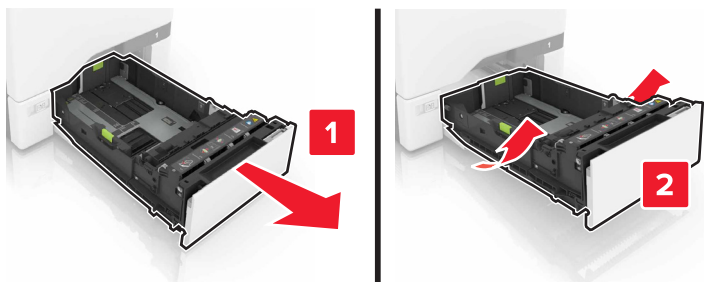
8 フューザーのメンテナンスカウンタをリセットします。

詳細については、「[メンテナンスカウンタをリセットする](#)」、174 ページ を参照してください。

ピックアップローラーを交換する

550 枚トレイでピックアップローラーを交換する

- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 トレイを取り外します。

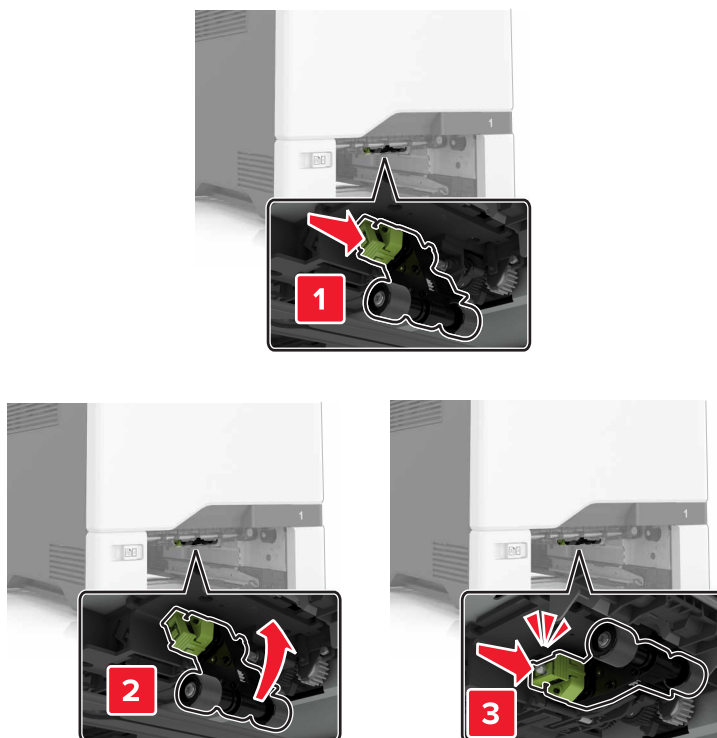


- 3 ピックローラーを取り外します。



- 4 新しいピックアップローラーを梱包から取り出します。

5 新しいピックローラーを、所定の位置にカチッと音がするまで挿入します。



6 トレイを挿入します。

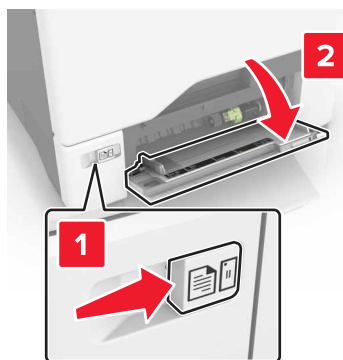
7 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

多目的フィーダーのピックローラーを交換する

1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

2 多目的フィーダーを開きます。



3 ピックローラーを取り外します。



4 新しいピックローラーを梱包から取り出します。

5 新しいピックローラーを、所定の位置にカチッと音がするまで挿入します。



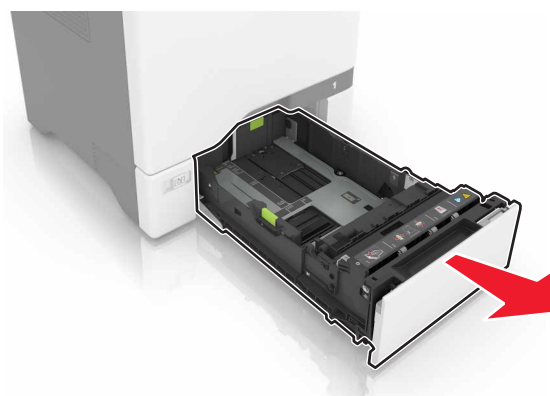
6 多目的フィーダを閉じます。

7 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

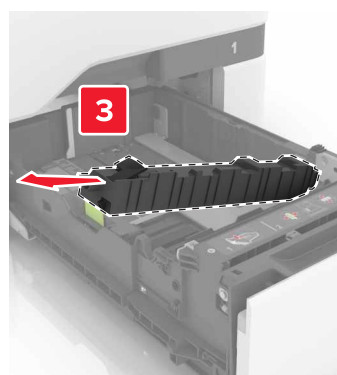
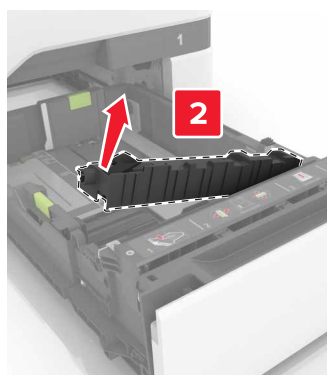
⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

区切りパッドを交換する

1 トレイを引き出します。

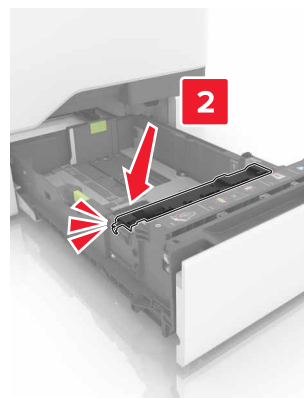
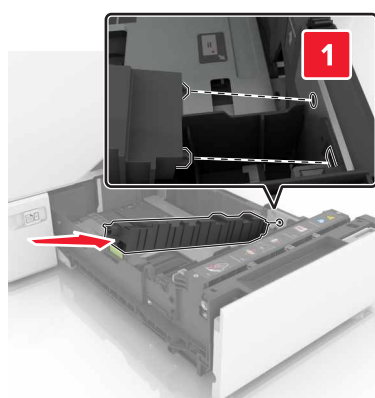


2 区切りパッドを取り外します。



3 新しい区切りパッドを梱包から取り出します。

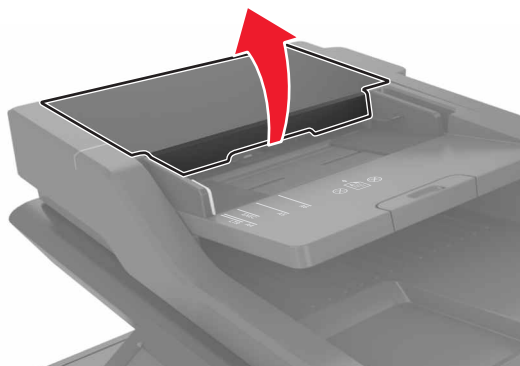
4 新しい区切りパッドを、所定の位置でカチッという音がするまで挿入します。



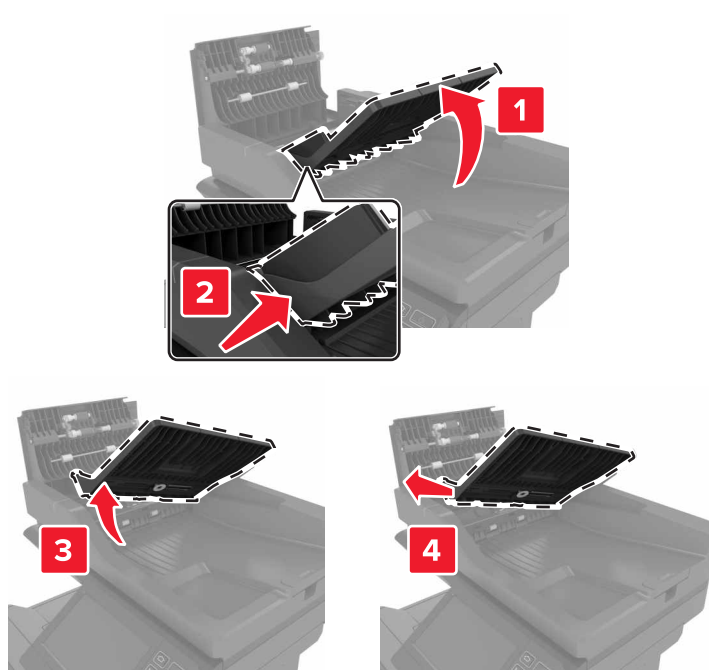
5 トレイを挿入します。

ADF 給紙トレイを交換する

1 ドア E を開きます。

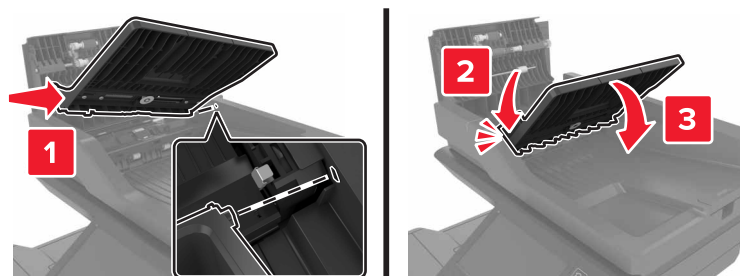


2 ADF 給紙トレイを取り外します。



3 新しい ADF 給紙トレイを取り出します。

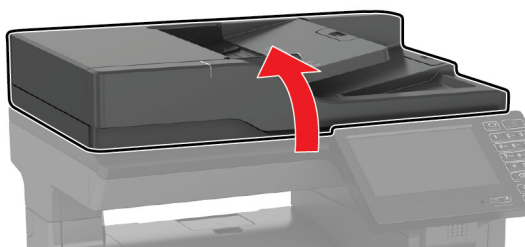
4 ADF 給紙トレイを「カチッ」と音ができるまで挿入します。



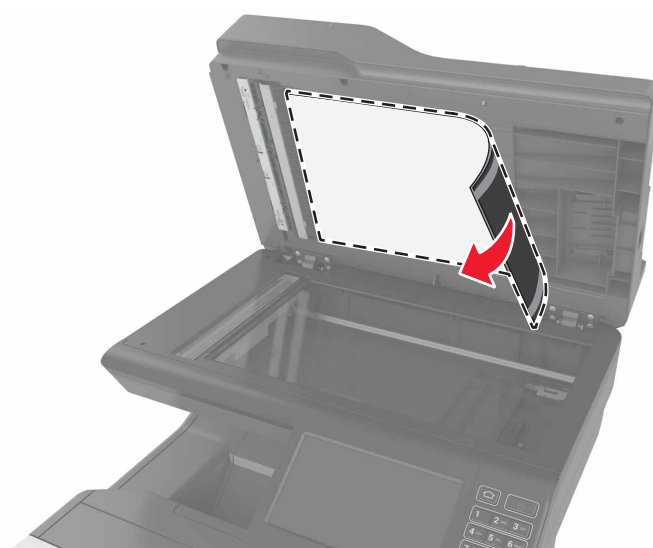
5 ドア E を閉じます。

ADF スキャンパッドを交換する

1 スキャナカバーを開きます。

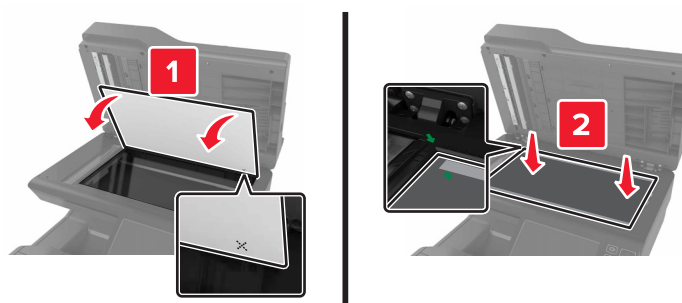


2 ADF スキャンパッドを取り外します。

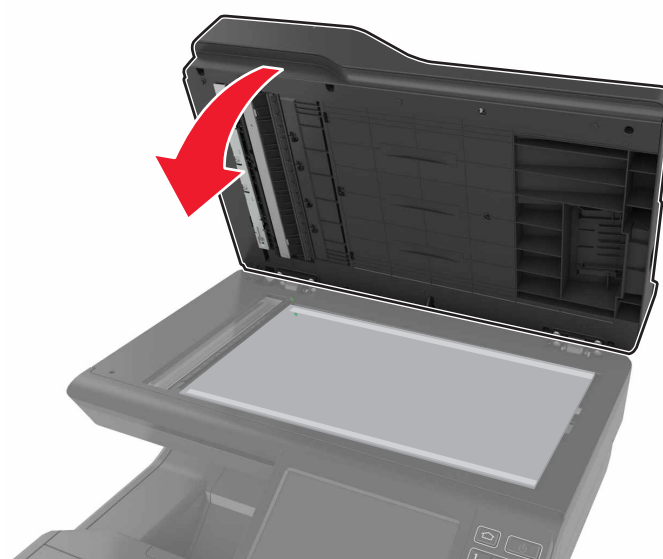


3 新しい ADF スキャンパッドを取り出します。

4 原稿台に ADF スキャンパッドを下向きにして白いエリアに置きます。



5 スキャナカバーを閉じて ADF スキャンパッドをカバーに貼り付けます。

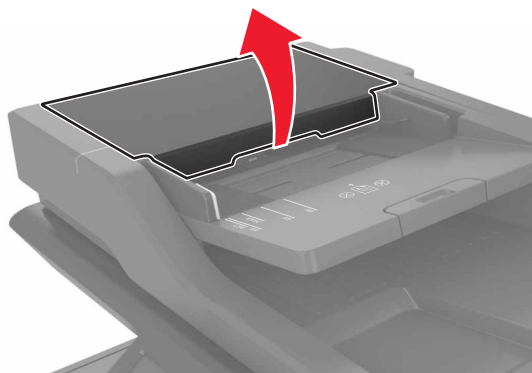


6 スキャナカバーを開いて ADF スキャンパッドが適切にカバーに貼り付けられていることを確認します。

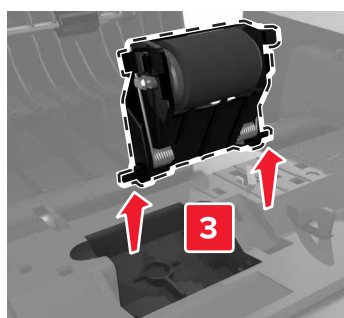
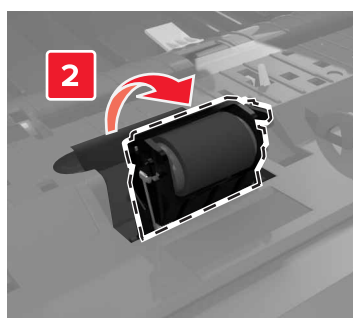
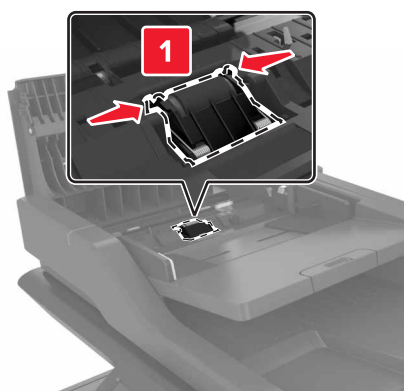
7 スキャナカバーを閉じます。

ADF セパレーターローラーを交換する

1 ドア E を開きます。

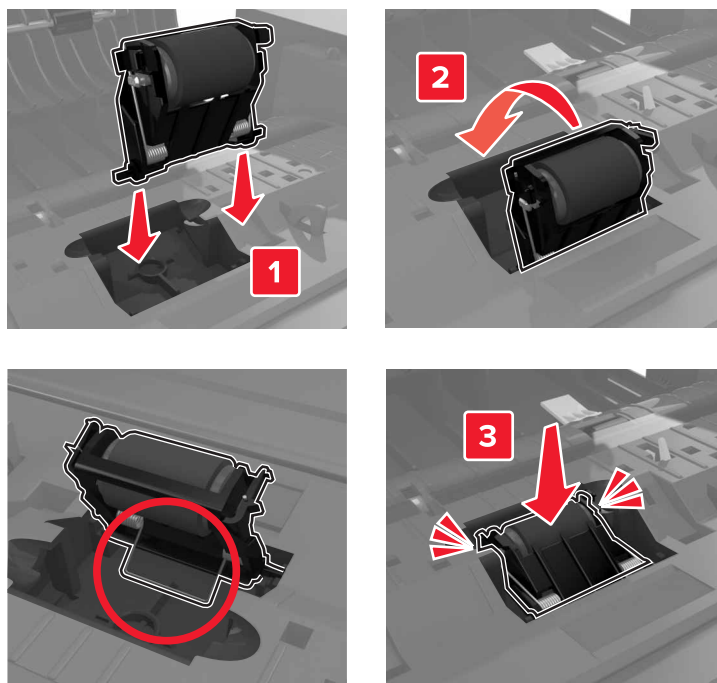


2 ADF セパレーターローラーを取り外します。



3 新しい ADF セパレーターローラーを取り出します。

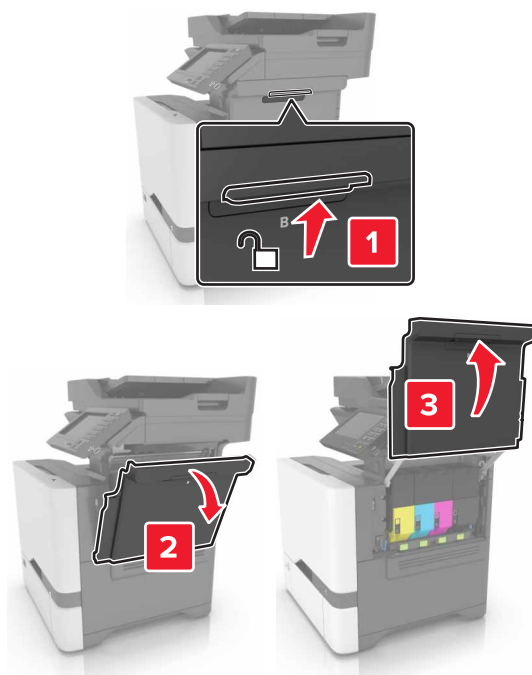
4 ADF セパレーターローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



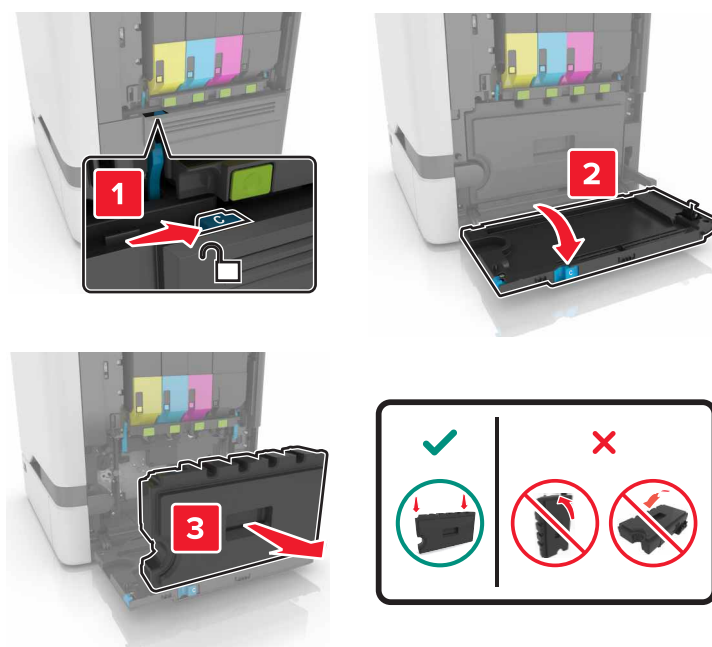
5 ドア E を閉じます。

転写モジュールを交換する

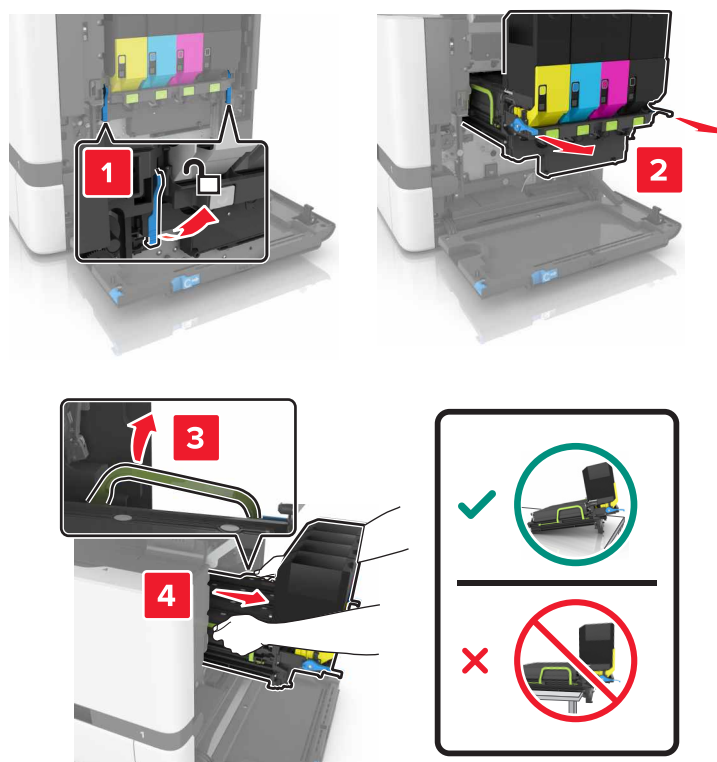
- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 ドア B を開きます。



- 3 廃トナーボトルを取り外します。

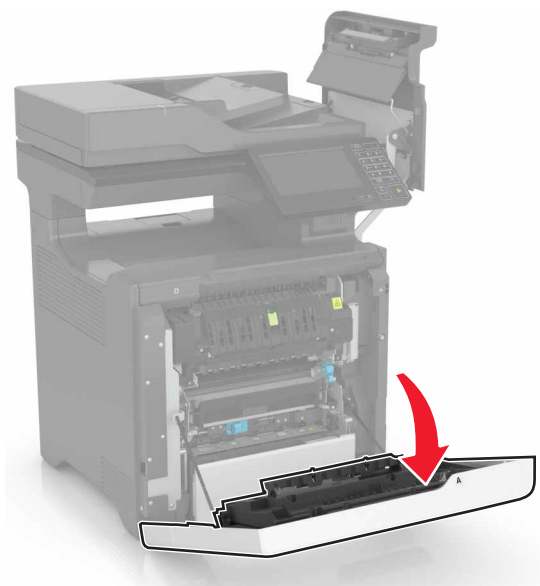


4 イメージングキットを取り外します。

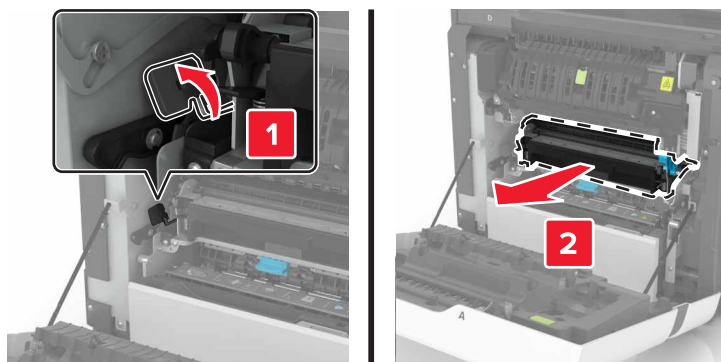


5 ドア A を開きます。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

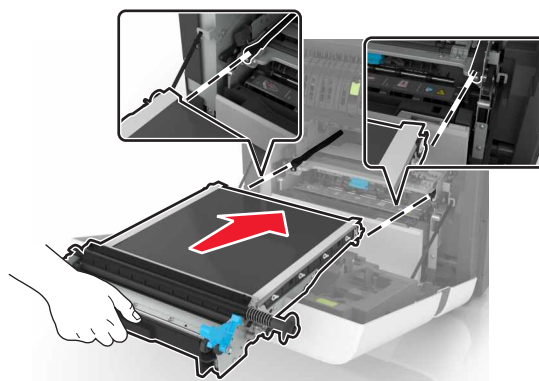


6 転写モジュールを取り外します。



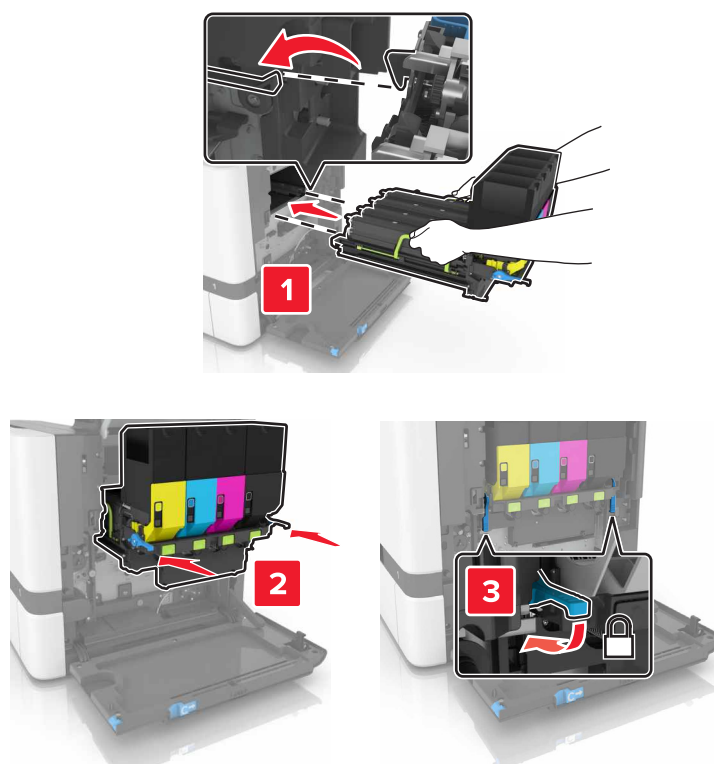
7 新しい転写モジュールを梱包から取り出し、梱包材を取り除きます。

8 新しい転写モジュールを挿入します。

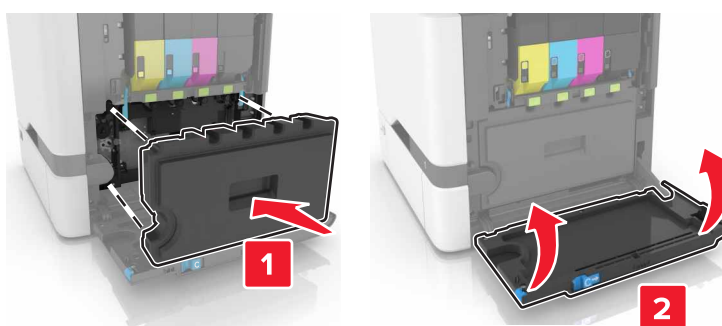


9 ドア A を閉じます。

10 イメージングキットを挿入します。



11 廃トナーボトルを挿入します。



12 ドア B を閉じる。

13 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

14 メンテナンスカウンタをリセットします。詳細については、[「メンテナンスカウンタをリセットする」](#)、174 ページ を参照してください。

メンテナンスカウンタをリセットする

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成設定メニュー] > [消耗品使用量とカウンタ]をタッチします。
- 2 [フューザーのリセット]または[ITM のリセット]を選択します。

プリンタを移動する

プリンタを別の場所に移動する

-  **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量が 20 kg (44 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。
-  **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。
-  **注意—傷害の恐れあり:** プリンタを移動する場合は、けがやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。
- すべてのドアとトレイが閉じられていることを確認します。
 - プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
 - プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
 - プリンタに別途フロアスタンド型オプショントレイまたは排紙オプションが取り付けられている場合は、それらを取り外してからプリンタを移動します。
 - プリンタにキャスターベースがある場合は、慎重に新しい場所に移動します。しきいや床の割れ目を通るときは注意してください。
 - プリンタにキャスターベースがなく、オプションのトレイまたは排紙オプションで構成されている場合は、排紙オプションを取り外してからプリンタをトレイから取り外します。どのオプションの場合も、プリンタと同時に持ち上げないでください。
 - 必ずプリンタの持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
 - プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。
 - ハードウェアオプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
 - プリンタは直立状態に保ってください。
 - 急激な動きは避けてください。
 - 下に置くときにプリンタの下に指が入らないようにしてください。
 - プリンタの周囲に十分なスペースがあることを確認します。

メモ: 不適切な移動により生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

プリンタを輸送する

輸送の手順については、<http://support.lexmark.com> にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。

電力と用紙を節約する

節電モードを設定する

スリープモード

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [電源管理] > [タイムアウト時間] > [スリープモード]の順にタッチします。
- 2 プリンタがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定します。

休止モード

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [電源管理] > [タイムアウト時間] > [休止モード]の順にタッチします。
- 2 プリンタが休止モードに移行するまでのアイドル時間を設定します。

メモ:

- 休止モードを作動させるには、[ネットワーク接続時の休止モード]を[休止モードにする]に設定します。
- プリンタが休止モードの場合、EWS は無効です。

プリンタディスプレイの明るさを調整する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [基本設定] > [画面明るさ]をタッチします。
- 2 設定を調整します。

消耗品を節約する

- 用紙の両面に印刷します。

メモ: 両面印刷は、プリンタドライバの標準設定です。

- 1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷します。
- プレビュー機能を使用して、印刷前にドキュメントがどのように印刷されるか確認します。
- ドキュメントを 1 部だけ印刷し、内容や形式に誤りがないかどうかを確認します。

リサイクル

Lexmark 製品のリサイクルプログラム

Lexmark 製品を返却してリサイクルするには、以下の手順に従います。

- 1 www.lexmark.com/recycle をご覧ください。
- 2 リサイクルする製品を選択します。

メモ: Lexmark 回収プログラムの一覧にないプリンタ消耗品およびハードウェアの場合でも、地元のリサイクルセンターでリサイクルできる場合があります。

Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする

Lexmark は梱包材を最小限に抑えるよう絶えず努力しています。より少ない梱包材により、Lexmark プリンタは最も効率的で、かつ環境に配慮した方法で輸送され、梱包材の廃棄量の削減に貢献しています。これらの努力は、温室効果ガスのより少ない排出、省エネルギー、天然資源の節約をもたらします。また、Lexmark では、一部の国と地域で梱包材のリサイクルも行っています。詳細については、www.lexmark.com/recycle で、お住まいの国と地域を選択してください。利用可能な梱包材リサイクルプログラムに関する情報は、製品リサイクルに関する情報の中に含まれています。

Lexmark のダンボール箱は、再生利用する施設がある地域ではすべてリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark の梱包材に使用されている発泡スチロールは、再生利用する施設がある地域ではリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

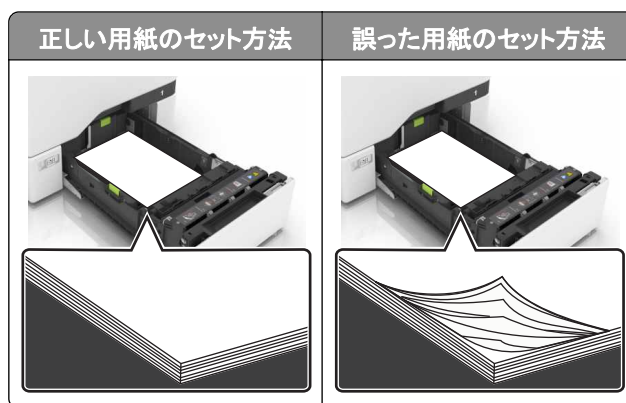
Lexmark にカートリッジを返却する際には、配達時に梱包されていたダンボール箱を再利用できます。そのダンボール箱は Lexmark がリサイクルします。

紙詰まりを取り除く

紙詰まりを防止する

用紙を正しくセットする

- 用紙はトレイに平らに置いてください。



- 印刷中はトレイに用紙をセットしたり、トレイを取り外したりしないでください。
- 過度に多い量の用紙をセットしないでください。重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにします。
- 用紙をトレイにスライドしないでください。図のように用紙をセットします。

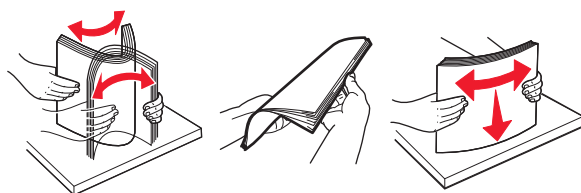


- 用紙ガイドが正しい位置にあり、用紙や封筒をきつく挟みすぎでないことを確認します。
- 用紙をセットしたらトレイをしっかりと押し込みます。

推奨用紙を使用する

- 推奨用紙または特殊紙のみを使用します。
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙、丸まっている用紙をセットしないでください。

- ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。

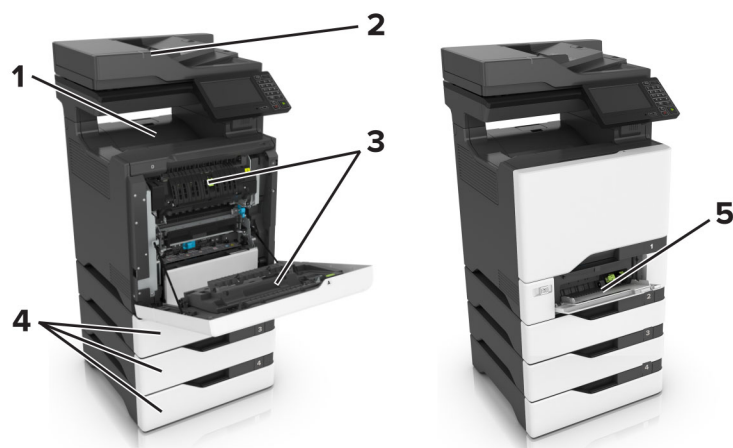


- 手で切った、またはちぎった用紙は使用しないでください。
- 用紙のサイズ、重さ、タイプが異なる用紙を混在させてセットしないでください。
- コンピュータまたはプリンタ操作パネルで、用紙のサイズおよびタイプが適切に設定されていることを確認します。
- 用紙はメーカーの推奨事項に従い保管します。

紙詰まりの場所を特定する

メモ:

- 紙詰まり時の復旧サポート機能がオンに設定されている場合、紙詰まりを起こしたページが取り除かれた後、プリンタは空白ページまたは一部印刷されたページを排出します。空白ページがあるかどうか、印刷済み出力用紙を確認します。
- [紙づまり回復]が[オン]または[自動]に設定されている場合、プリンタは紙づまりが発生したページを再印刷します。



	紙詰まりの場所
1	標準排紙トレイ
2	ドア E
3	ドア A
4	トレイ
5	多目的フィーダ

トレイの紙づまり

1 トレイを引き出します。



警告—破損の恐れあり: オプショントレイの内部のセンサーは、静電気によって故障することがよくあります。トレイにつまった用紙を取り除く前に、金属の表面に手を触れてください。

2 つまっている用紙を取り除きます。

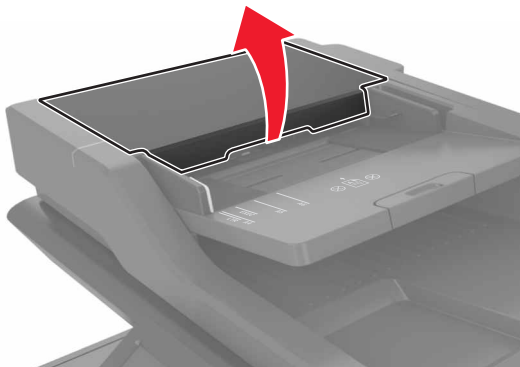
メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 トレイを挿入します。

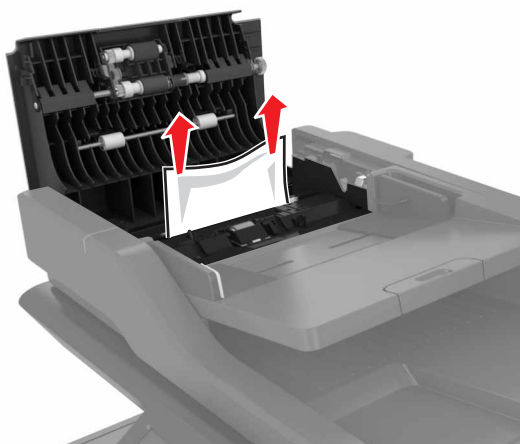
ドア E の後ろの紙づまり

1 ドア E を開きます。



2 つまっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 ドア E を閉じます。

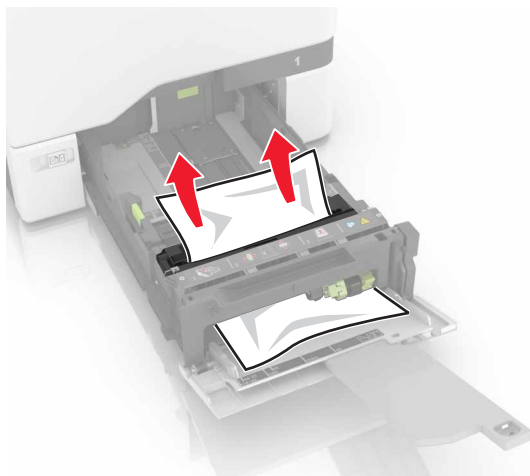
多目的フィーダーの紙づまり

1 多目的フィーダーから用紙を取り除きます。

2 トレイを引き出します。

3 つまっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

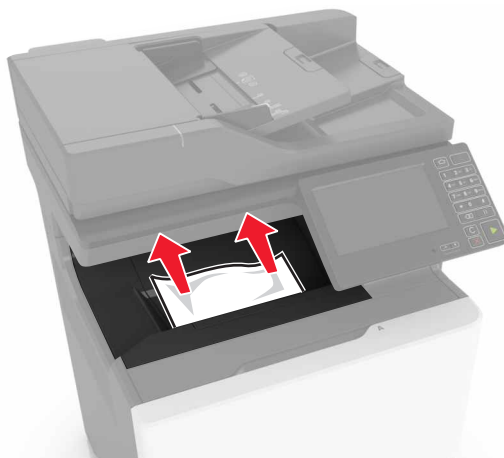


4 トレイを挿入します。

標準排紙トレイの紙づまり

1 つまっている用紙を取り除きます。

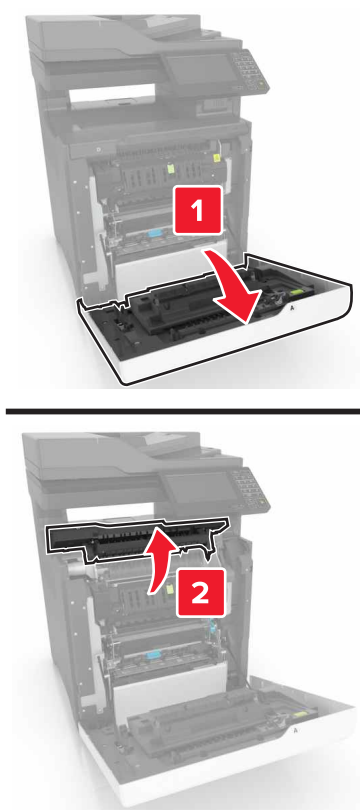
メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



2 ドア A とドア D を開き、つまっている紙片を取り除きます。



注意—表面高温: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。



3 ドア D とドア A を閉じます。

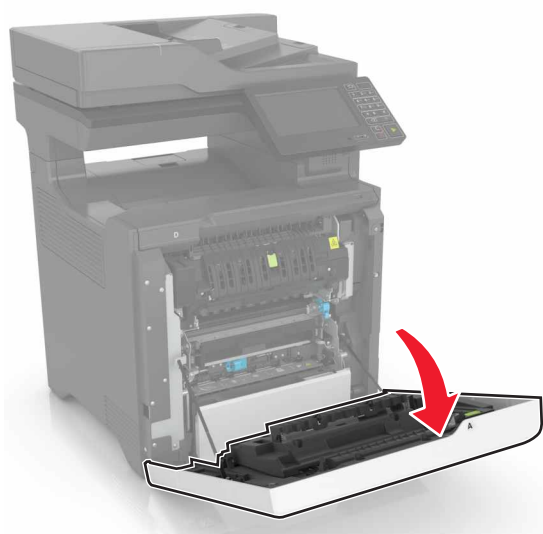
ドア A の紙づまり

フューザー内の紙づまり

1 ドア A を開く。

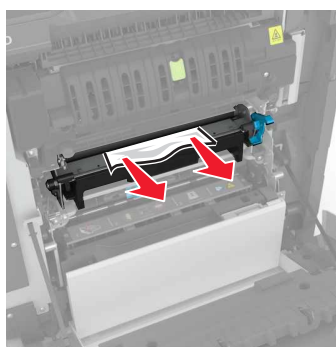
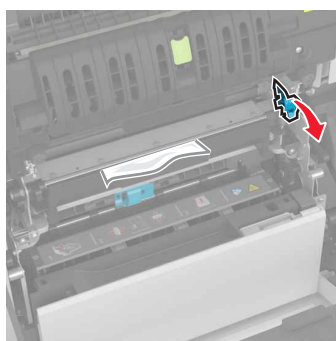


注意—表面高温: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

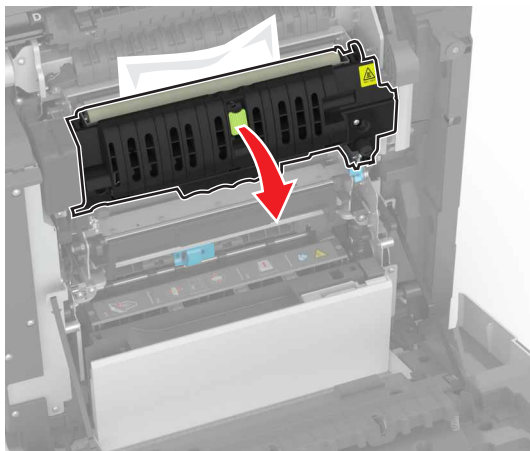


2 つまっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

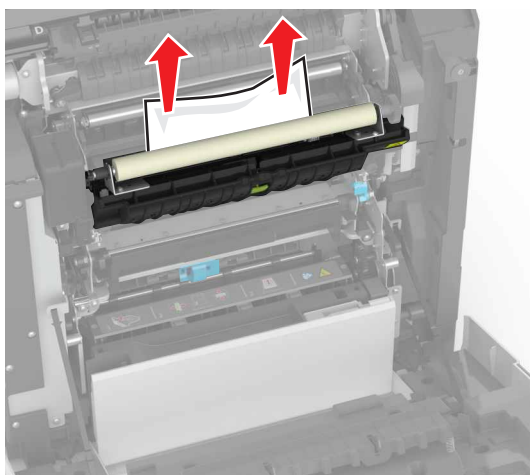


3 フューザーアクセスドアを開きます。



4 つまっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



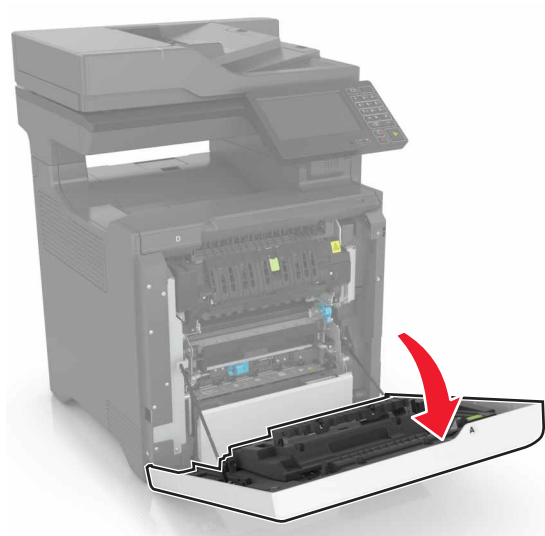
5 ドア A を閉じる。

両面印刷ユニット内の紙づまり

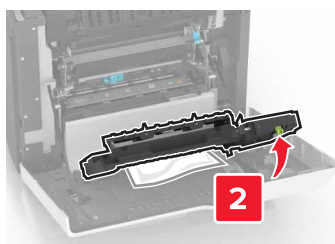
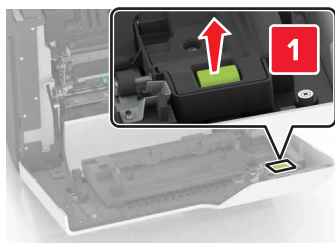
1 ドア A を開く。



注意—表面高温: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、面を冷却してください。

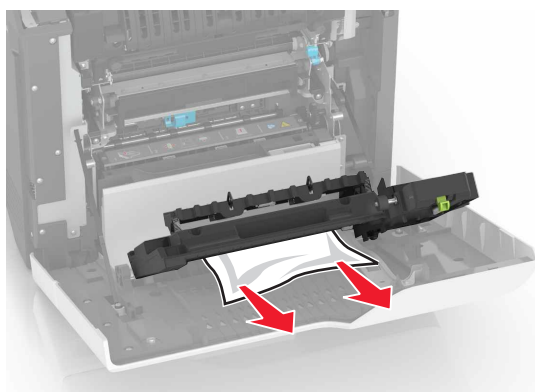


2 両面印刷ユニットのカバーを開きます。



3 つままっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



4 両面印刷ユニットのカバーおよびドア A を閉じます。

問題に対処する

ネットワーク接続の問題

EWS を開けない

アクション	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源はオンになっていますか？	手順 2 に進みます。	プリンタの電源をオンにします。
手順 2 プリンタの IP アドレスが正しいかどうかを確認します。 メモ: - ホーム画面で IP アドレスを確認します。 - IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた数字の 4 セットで表示されます。 プリンタの IP アドレスは正しいですか？	手順 3 に進みます。	アドレスフィールドにプリンタの正しい IP アドレスを入力します。
手順 3 サポート対象のブラウザを使用しているかどうか確認します。 - Internet Explorer バージョン 11 以降 - Microsoft Edge - Safari バージョン 6 以降 - Google Chrome™ バージョン 32 以降 - Mozilla Firefox バージョン 24 以降 ブラウザはサポート対象ですか？	手順 4 に進みます。	サポート対象のブラウザをインストールします。
手順 4 ネットワーク接続が動作しているかどうかを確認します。 ネットワーク接続は動作していますか？	手順 5 に進みます。	管理者に問い合わせてください。
手順 5 プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルの接続をチェックし、しっかり固定されているか確認します。詳細については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。 ケーブルはしっかりと接続されていますか？	手順 6 に進みます。	ケーブルをしっかりと接続します。
手順 6 Web プロキシサーバーが無効か確認します。 Web プロキシサーバーは無効ですか？	手順 7 に進みます。	管理者に問い合わせてください。

アクション	はい	いいえ
手順 7 EWS にアクセスします。 EWS を開きましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

フラッシュメモリを読み取れない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタが他の印刷、コピー、スキャン、FAX ジョブを処理中でないか確認します。 プリンタは準備完了状態ですか？	手順 2 に進みます。	プリンタ他のジョブの処理を終了するまで待ちます。
手順 2 フラッシュドライブのサポートを確認します。詳細については、 「サポートされているフラッシュメモリとファイルタイプ」 、38 ページ を参照してください。 フラッシュメモリが対応していますか？	手順 3 に進みます。	対応しているフラッシュメモリを挿入します。
手順 3 フラッシュドライブを取り外してから、挿入します。 プリンタはフラッシュメモリを認識していますか？	問題は解決しました。	テクニカルサポート カスタマサポート 。

USB ポートを有効にする

ホーム画面で、[設定] > [ネットワーク/ポート] > [USB] > [USB ポートを有効にする] をタッチします。

プリンタの接続を確認する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [レポート] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定ページ] をタッチします。
- 2 ネットワーク設定ページの最初のセクションを確認し、状態が[接続]であることを確認します。

状態が[未接続]の場合、LAN 破棄が有効ではない、またはネットワークケーブルが外れているか、正常に動作していない可能性があります。サポートが必要な場合は、管理者にお問い合わせください。

ハードウェアオプションの問題

内蔵オプションが検出されない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストに内蔵オプションがあるかどうかを確認します。 内蔵オプションはメニュー設定ページに記載されていますか？	手順 4 に進みます。	手順 3 に進みます。
手順 3 内蔵オプションがコントローラボードに正しく取り付けられていることを確認します。 a プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。 b 内蔵オプションがコントローラボードの適切なコネクタに取り付けられていることを確認します。 c 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。  注意—傷害の恐れあり： 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a 内蔵オプションがプリンタドライバで使用可能かどうか確認します。 メモ： 必要に応じて、プリンタドライバで内蔵オプションを手動で追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、「 プリントドライバの使用可能なオプションを追加する 」、243 ページ を参照してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

内部ソリューションポートが正しく動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストに内蔵ソリューションポートがあるかどうかを確認します。 [インストール済みの機能]リストに ISP が表示されますか？	手順 3 に進みます。	手順 2 に進みます。
手順 2 ISP を取り外してから取り付けます。詳細については、「 内蔵ソリューションポートを取り付ける 」、231 ページ を参照してください。 メモ: サポートされている ISP を使用します。 ISP は正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 ケーブルと ISP の接続を確認します。 a 正しいケーブルを使用し、ISP にしっかりと接続していることを確認します。 b ISP ソリューションインターフェイスケーブルが、コントローラボードのレセプタクルにしっかりと接続しているかどうかを確認します。 ISP は正しく動作しますか？	問題は解決しました。	テクニカルサポートに カスタマサポート など、プリンタの状況を示します。

パラレルまたはシリアルインターフェイスカードが正しく動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストにパラレルまたはシリアルインターフェイスカードがあるかどうかを確認します。 パラレルまたはシリアルインターフェイスカードは[インストール済みの機能]リストに表示されますか？	手順 3 に進みます。	手順 2 に進みます。
手順 2 パラレルまたはシリアルインターフェイスカードを、取り外してから取り付けます。 詳細については、「 内蔵ソリューションポートを取り付ける 」、231 ページ を参照してください。 パラレルまたはシリアルインターフェイスカードは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 ケーブルとパラレルまたはシリアルインターフェイスカードの接続を確認します。 パラレルまたはシリアルインターフェイスカードは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	テクニカルサポートに カスタマサポート など、プリンタの状況を示します。

フラッシュメモリ不良が検出された

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 不良のフラッシュメモリを交換します。
- プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを無視し、印刷を続行します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

フラッシュメモリ空領域がリソースには不足

次の手順を 1 つ以上実行します。

- プリンタ操作パネルで[続行]を選択してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- フラッシュメモリに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- 容量が大きいフラッシュメモリを取り付けます。

メモ: フラッシュメモリに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。

未フォーマットフラッシュメモリが検出された

次の手順を 1 つ以上実行します。

- 操作パネルの[続行]を選択して、デフラグを停止し、印刷を続行します。
- フラッシュメモリをフォーマットします。

メモ: エラーメッセージがまだ表示される場合は、フラッシュメモリが不良の可能性があるので交換する必要があります。

消耗品の問題

カートリッジを交換、プリンタの地域設定が不一致

この問題を解決するには、プリンタの地域に一致する正しい地域でカートリッジを購入するか、世界標準のカートリッジを購入します。

- 42 の後ろに続くメッセージの最初の番号は、プリンタの地域を示します。
- 42 の後ろに続くメッセージの 2 番目の番号は、カートリッジの地域を示します。

プリンタおよびトナーカートリッジの地域

地域	数値コード
世界標準または未定義の地域	0
北米 (米国、カナダ)	1
欧州経済領域、西ヨーロッパ、北欧諸国、スイス	2
アジア太平洋	3
中南米	4
その他の欧州諸国、中東、アフリカ	5
オーストラリア、ニュージーランド	6

地域	数値コード
無効な地域	9

メモ: プリンタとトナーカートリッジの地域設定を検索するには、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、次のメニューを選択します。[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]

Lexmark 以外の消耗品

プリンタに他社製の消耗品または部品が取り付けられています。

お使いの Lexmark プリンタは、Lexmark の純正の消耗品および部品を使用して最適に動作するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。

すべての寿命インジケータは、純正の消耗品および部品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れあり: サードパーティ製の消耗品や部品の使用は、保証の対象に影響します。サードパーティ製の消耗品や部品の使用による損傷は、保証の対象外となる可能性があります。

これらのリスクをすべて許容し、純正でない消耗品や部品の使用をプリンタで続行するには、操作パネルで **X** と **#** を同時に 15 秒間押し続けます。

これらのリスクを許容しない場合は、サードパーティ製の消耗品や部品のプリンタから取り外し、Lexmark の純正の消耗品や部品を取り付けます。詳細については、[「Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する」](#)、145 ページを参照してください。

X と **#** を 15 秒間同時に押し続けても印刷されない場合、消耗品使用量カウンタをリセットします。

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成メニュー] > [消耗品使用量とカウンタ]

2 リセットする部品または消耗品を選択して、[スタート]を選択します。

3 警告メッセージを確認して[続行]を選択します。

4 **X** と **#** を同時に 15 秒間押し続けて、メッセージをクリアします。

メモ: 消耗品使用量カウンタをリセットできない場合は、購入した場所に消耗品を返品します。

スキャナのメンテナンスが必要、ADF キットを使用

プリンタはメンテナンスの予定があります。詳細については、<http://support.lexmark.com> を参照するか、サービス担当者に連絡してメッセージを報告してください。

給紙の問題

印刷時に封筒の封が閉じられる

対応	はい	いいえ
手順 1 a 乾燥した場所に保管されている封筒を使用してください。 メモ: 含水率の高い封筒に印刷すると、封の部分が閉じられる可能性があります。 b 次のように印刷ジョブを送信します。 印刷時に封筒の封が閉じられますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 用紙のタイプが[封筒]に設定されていることを確認します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] b 次のように印刷ジョブを送信します。 印刷時に封筒の封が閉じられますか。	Contact カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

部単位印刷が動作しない

アクション	はい	いいえ
手順 1 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [レイアウト] > [部単位] b [オン「1,2,1,2,1,2」]をタッチします。 c ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しく部単位になっていますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開いて[部単位]を選択します。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しく部単位になっていますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a 印刷するページ数を減らします。 b ドキュメントを印刷します。 ページは正しく部単位になっていますか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

用紙のカール

アクション	はい	いいえ
手順 1 トレイの用紙ガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に移動します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a お使いのオペレーティングシステムに応じて、[印刷設定]または[プリント]ダイアログで用紙の種類と重さを指定します。 メモ: - 設定とトレイにセットした用紙が一致していることを確認します。 - 設定の変更はプリンタの操作パネルからも行うことができます。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a トレイから用紙を取り除き、裏返します。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a 開封直後のパッケージから用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙が丸くなっていますか？	以下にお問い合わせください: カスタマサポート 。	問題は解決しました。

トレイのリンクが動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイに同じサイズおよびタイプの用紙がセットされているか確認します。 b 用紙ガイドの位置が正しいか確認します。 c ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 a コントロールパネルで、 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] をタッチします。 b 接続されているトレイにセットされた用紙に合った用紙サイズと用紙のタイプを設定します。 c ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a 同一用紙サイズのトレイのリンクが自動に設定されていることを確認します。詳細については、 「トレイのリンク」、30 ページ を参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

紙詰まりが頻繁に発生する

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイを取り外します。 b 用紙が正しくセットされていることを確認します。 メモ: - 用紙ガイドが正しい位置にあることを確認します。 - 重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようにします。 - 推奨用紙サイズとタイプで印刷していることを確認します。 c トレイを挿入します。 d ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] b 用紙サイズとタイプを正しく設定します。 c ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが頻繁に発生しますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

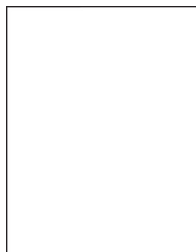
紙詰まりが発生したページが再印刷されない

対応	はい	いいえ
a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [デバイス] > [通知] > [紙詰まりしたページの再印刷] b [紙詰まりしたページの再印刷]メニューで[オン]または[自動]を選択します。 c ドキュメントを印刷します。 紙詰まりが発生したページは再印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

印刷の問題

印刷品質が悪い

空白または白のページ



メモ: 問題解決を行う前に、品質サンプルページを印刷し、印刷されない色がないかどうか確認します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 プリンタで空白または白のページが印刷されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 2 a イメージングキット、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットまたはイメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の写真コンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、イメージングキットの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 プリンタで空白または白のページが印刷されますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

印刷が濃い

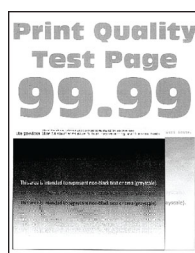


メモ: 問題解決を行う前に、品質サンプルページを印刷し、印刷されない色がないかどうか確認します。ホーム画面から、**[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]**の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 a [カラー調節]を実行します。 ホーム画面で、 [設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節] をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃すぎますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a オペレーティングシステム(OS)によって、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログからトナー濃度を薄くします。 メモ: プリンタ操作パネルで設定した設定を変更することもできます。ホーム画面で、 [設定] > [印刷] > [品質] > [トナーの濃さ] をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃すぎますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 3 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: - 設定がトレイにセットされた用紙と一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定した設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃すぎますか？	手順 4 に進みます。	手順 6 に進みます。
手順 4 用紙にテクスチャや粗さがないことを確認します。 テクスチャや粗さがある用紙に印刷していますか？	手順 5 に進みます。	手順 6 に進みます。
手順 5 a 表面が粗い用紙を普通紙と交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃すぎますか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が濃すぎますか？	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 a 廃トナーボトルをいったん取り外して、挿入します。 b [カラー調節]を実行します。 ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節]をタッチします。 c ドキュメントを印刷します。 印刷が濃すぎますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

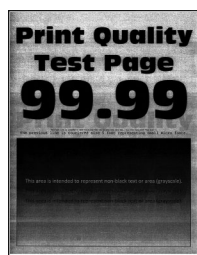
ゴーストイメージ



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイに、適切なタイプおよび重さの用紙をセットします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷にゴーストイメージが表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: - 設定がトレイにセットされた用紙と一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷にゴーストイメージが表示されますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a [カラー調節]を実行します。 ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷にゴーストイメージが表示されますか。	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

グレースケールまたはカラーの背景



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 a オペレーティングシステム (OS) に応じて、[印刷基本設定] または [印刷] ダイアログでトナー濃度を濃くします。 メモ: プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [トナーの濃さ] をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 グレースケールまたはカラーの背景が印刷に現れますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a カラー調節を実行します。 ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節] をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 グレースケールまたはカラーの背景が印刷に現れますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a イメージングキット、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットまたはイメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の写真コンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、イメージングキットの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 グレースケールまたはカラーの背景が印刷に現れますか。	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

横方向の黒い線



メモ:

- 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順にタッチします。
- 印刷に横方向の黒い線が表示され続ける場合は、「印刷不良が繰り返し発生する」のトピックを参照してください。

対応	はい	いいえ
手順 1 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから給紙源を指定します。 b ドキュメントを印刷します。 横方向の濃いすじが印刷物に入りますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: - 設定がトレイにセットされた用紙と一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 横方向の濃いすじが印刷物に入りますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 横方向の濃いすじが印刷物に入りますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a イメージングキット、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットまたはイメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の写真コンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、イメージングキットの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 横方向の濃いすじが印刷物に入りますか？	カスタマサポートに お問い合わせください。	問題は解決しました。

横方向の白い線



メモ:

- 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。
- 印刷に横方向の白い線が表示され続ける場合は、「繰り返し発生する異常」のトピックを参照してください。

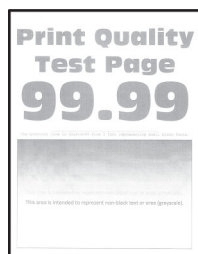
対応	はい	いいえ
手順 1 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: - 設定がトレイにセットされた用紙と一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に横方向の白い線が表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 推奨されるタイプの用紙の指定された給紙源をセットします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に横方向の白い線が表示されますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a イメージングキット、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットまたはイメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の写真コンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、イメージングキットの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 印刷に横方向の白い線が表示されますか。	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

余白が正しくない



アクション	はい	いいえ
手順 1 a 用紙ガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。 b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 用紙サイズを設定します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a オペレーティングシステム(OS)によって、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズを指定します。 メモ: トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 余白は正しいですか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

印刷が薄い

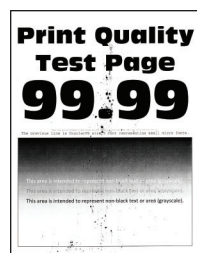


メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、**[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]**の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 a [カラー調節]を実行します。 ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログでトナー濃度を濃くします。 メモ: プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [トナーの濃さ]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a [カラートナー節約]をオフにします。 ホーム画面から、[設定] > [印刷] > [品質] > [カラートナー節約]の順にタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: - トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 用紙の表面が粗いかどうかを確認します。 テクスチャや粗さがある用紙に印刷していますか。	手順 6 に進みます。	手順 7 に進みます。
手順 6 a 表面が粗い用紙を普通紙と交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 7 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄いですか？	手順 8 に進みます。	問題は解決しました。
手順 8 a 廃トナーボトルをいったん取り外して、挿入します。 b [カラー調節]を実行します。 ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節]をタッチします。 印刷が薄いですか？	手順 9 に進みます。	問題は解決しました。
手順 9 a イメージングキット、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットまたはイメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下のフォトコンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、イメージングキットの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 印刷が明るすぎますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

まだらな印刷やドット



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 トナー漏れの汚れがないか、プリンタをチェックします。 プリンタにトナー漏れはありませんか？	手順 2 に進みます。	カスタマサポートに お問い合わせください 。
手順 2 a ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] をタッチします。 b 用紙サイズと用紙タイプがセットした用紙と一致しているかどうかを確認します。 メモ: 用紙の表面が粗くないことを確認します。 設定は一致していますか。	手順 4 に進みます。	手順 3 に進みます。
手順 3 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズと用紙タイプを指定します。 メモ: - 設定がトレイにセットされた用紙と一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定した設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷がまだらになっていますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷がまだらになっていますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a イメージングキット、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットまたはイメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の方コンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、イメージングキットの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 印刷がまだらになっていますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

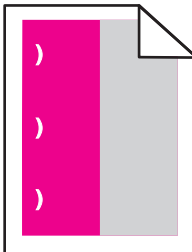
印刷が歪むまたは傾く



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイを引き出します。 b 用紙を取り除き、開封直後の印刷用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 c セットする用紙のサイズに合った正しい位置まで、用紙ガイドを握ってスライドさせます。 d トレイを挿入します。 e ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a サポートされている用紙で印刷しているかどうかを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

印刷不良が繰り返し発生する



メモ: 問題解決を行う前に、品質サンプルページを印刷し、印刷されない色がないかどうか確認します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 不良が発生している色数を確認します。 影響を受ける色は 1 つだけですか？	手順 2 に進みます。	手順 3 に進みます。
手順 2 a [メンテナンス不良ルーラー]を使って、影響を受けるカラーページに繰り返し現れる異常の間隔を測定します。 b 影響を受ける色ページの測定と一致する消耗品を交換します。 イメージングキットまたはイメージングユニット 94.20 mm (3.70 インチ) 29.80 mm (1.17 インチ) 25.10 mm (0.99 インチ) 現像体ユニット 43.90 mm (1.73 インチ) 45.50 mm (1.79 インチ) c 品質サンプルページを印刷します。 異常がまだ現れますか。	間隔を記録して、 カスタムサポート またはサービス担当者にお問い合わせください。	問題は解決しました。
手順 3 a [メンテナンス不良ルーラー]を使って、影響を受けるカラーページの異常の間隔を測定します。 b 影響を受ける色ページの測定と一致する消耗品を交換します。 転写モジュール 37.70 mm (1.48 インチ) 78.50 mm (3.09 インチ) 55 mm (2.17 インチ) フューザー 95 mm (3.74 インチ) 110 mm (4.33 インチ) 34.60 mm (1.36 インチ) c 品質サンプルページを印刷します。 異常がまだ現れますか。	間隔を記録して、 カスタムサポート またはサービス担当者にお問い合わせください。	問題は解決しました。

単色または黒のイメージ



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
a イメージングキット、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットまたはイメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の写真コンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、イメージングキットの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 プリンタで単色または黒のイメージが印刷されていますか。	カスタマサポートに お問い合わせください。	問題は解決しました。

文字または画像が切り取られる

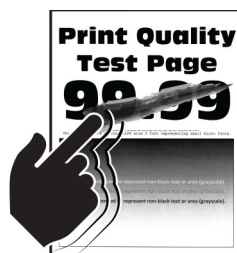


メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイの用紙ガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に移動します。 b ドキュメントを印刷します。 ページまたは画像は切り取られていますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a オペレーティングシステム (OS) によって、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズを指定します。 メモ: - 設定がトレイにセットされた用紙と一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 ページまたは画像は切り取られていますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 3 a イメージングキット、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットまたはイメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の写真コンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、イメージングキットの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 ページまたは画像は切り取られていますか。	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

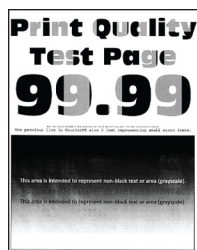
トナーが摩擦で簡単にはがれ落ちる



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
1 オペレーティングシステム (OS) に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: - トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]をタッチします。 2 ドキュメントを印刷します。 トナーがはがれますか。	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

印刷の濃さが均一ではない



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順に移動します。

対応	はい	いいえ
イメージングユニットまたはイメージングキットを交換し、ドキュメントを印刷します。 印刷の濃さが均一ではありませんか。	カスタマサポートに お問い合わせください。	問題は解決しました。

縦方向の黒い線



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: - 設定がトレイにセットされた用紙と一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に縦方向の黒い線が表示されますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は使用するまで元の包み紙のまま保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に縦方向の黒い線が表示されますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 3 a イメージングキット、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットまたはイメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の写真コンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、イメージングキットの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 印刷に縦方向の黒い線が表示されますか。	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

縦方向の白い線



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。ホーム画面から、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。

対応	はい	いいえ
手順 1 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: - 設定がトレイにセットされた用紙と一致していることを確認します。 - プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に縦方向の白い線が表示されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 推奨されるタイプの用紙を使用しているか確認します。 a 推奨されるタイプの用紙の指定された給紙源をセットします。 b ドキュメントを印刷します。 まだ印刷に縦方向の白い線が表示されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 3 a イメージングキット、イメージングユニットの順に取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットまたはイメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングキットの下の写真コンダクタードラムに触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b イメージングユニット、イメージングキットの順に取り付けます。 c ドキュメントを印刷します。 まだ印刷に縦方向の白い線が表示されますか？	カスタマサポートに お問い合わせください。	問題は解決しました。

コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保留ドキュメントが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 操作パネルから、保留ジョブのリストにドキュメントが表示されるかを確認します。 メモ: ドキュメントが一覧表示されない場合、[印刷して保持]オプションを使用してドキュメントを印刷します。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 印刷ジョブに、フォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている可能性があります。印刷ジョブを削除し、もう一度送信します。 ドキュメントは印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 インターネットから印刷する場合、プリンタは重複している複数のジョブタイトルを読み取る可能性があります。 Windows の場合 a [印刷設定]ダイアログを開きます。 b [印刷して保持]タブで、[[印刷して保持]を使用する]をクリックして、[重複ドキュメントを維持]をクリックします。 c PIN を入力して、変更を保存します。 d 印刷ジョブを送信します。 Macintosh の場合 a ジョブは保存され、ジョブごとに違う名前が付けられます。 b ジョブを個別に送信します。 ドキュメントは印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 4 a 一部の保留ジョブを削除して、プリンタメモリの空き容量を増やします。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 a プリンタメモリを増設します。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

印刷が遅い

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタケーブルがプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続されていることを確認します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a プリンタが静音モードになっていないことを確認します。 ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [構成設定メニュー] > [デバイスの操作] > [静音モード] をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから印刷解像度を指定します。 b 解像度を 4800 CQ に設定します。 c ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [印刷解像度] をタッチします。 b 解像度を 4800 CQ に設定します。 c ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 5 a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]をタッチします。 • 重い用紙は、印刷に時間がかかります。 • レター、A4、リーガルよりも幅の狭い用紙は、印刷に時間がかかることがあります。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 a [表面の粗さ]と[重さ]のプリンタ設定がセットされている用紙と一致していることを確認します。 ホーム画面で、[設定] > [用紙] > [用紙構成] > [用紙の種類]をタッチします。 メモ: 粗い用紙および重い用紙は、印刷に時間がかかることがあります。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 保留ジョブを削除します。 印刷に時間がかかりますか。	手順 8 に進みます。	問題は解決しました。
手順 8 a プリンタが過熱していないことを確認します。 メモ: • 長い印刷ジョブの後には、プリンタを十分に冷まします。 • プリンタの推奨周囲温度を守ってください。詳細については、「プリンタの設置場所を選択する」、11 ページを参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷に時間がかかりますか。	カスタマサポートに お問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷ジョブが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 印刷する原稿で[印刷]ダイアログボックスを開き、正しいプリンタが選択されているかどうかを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 b ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。 c ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a ポートが動作し、ケーブルがコンピュータとプリンタにしっかりと接続されていることを確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 a 印刷ドライバを削除してから、再インストールします。 b ドキュメントを印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

プリンタが応答していない

対応	はい	いいえ
手順 1 電源コードが電源コンセントに接続されていることを確認します。  注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていますか？	スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。	手順 3 に進みます。
手順 3 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源はオンになっていますか？	手順 4 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 4 プリンタがスリープモードまたは休止モードになっていないか確認します。 プリンタがスリープモードまたは休止モードになっていませんか？	電源ボタンを押してプリンタを復帰させます。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタとコンピュータをつなぐケーブルが正しいポートに接続されているかどうかを確認します。 ケーブルは正しいポートに差し込まれていますか？	手順 6 に進みます。	ケーブルを正しいポートに差し込みます。
手順 6 プリンタの電源を切ってハードウェアオプションを取り付けてから、プリンタの電源を入れます。 詳細については、オプションに同梱されているマニュアルを参照してください。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 7 に進みます。
手順 7 正しいプリントドライバをインストールします。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 8 に進みます。
手順 8 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

ジョブが誤ったトレイまたは用紙で印刷される

対応	はい	いいえ
手順 1 a 正しい用紙で印刷しているかどうかを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しい用紙で印刷されていますか？	手順 2 に進みます。	正しいサイズとタイプの用紙をセットします。
手順 2 a オペレーティングシステム (OS) に応じて、[印刷基本設定] または [印刷] ダイアログから用紙サイズと用紙タイプを指定します。 メモ: プリンタ操作パネルで設定した設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。 [設定] > [用紙] > [トレイ設定] > [用紙サイズ/タイプ] b セットした用紙と設定が一致していることを確認します。 c ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しい用紙で印刷されていますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a トレイがリンクされていることを確認します。 詳細については、 「トレイのリンク」、30 ページ を参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しいトレイから印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

色品質の問題

トナーの濃さを調整する

- 1 ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [印刷品質] をタッチします。
- 2 トナーの濃さを調整します。
- 3 変更を適用します。

印刷出力で色を変更する

- 1 ホーム画面から、[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー補正] の順にタッチします。
- 2 [カラー補正] メニューから、[手動] > [カラー補正の内容] をタッチします。
- 3 適切なカラー変換設定を選択します。

オブジェクトタイプ	カラー変換表
RGB イメージ RGB 文字 RGB グラフィックス	• ビビッドより明るい彩度の色を生成し、すべての受信するカラー形式に適用できます。 • sRGB 表示—コンピュータ画面の表示に近い色で印刷します。写真印刷のブラクトナーの使用が最適化されます。 • 画面-トウルーブラック—コンピュータ画面の表示に近い色で印刷します。この設定では、中間色のグレーにはすべてのレベルでブラクトナーのみが使用されます。 • sRGB ビビッド—sRGB 表示カラー補正の高い彩度の色を生成します。ビジネスグラフィックスの印刷の場合に、ブラクトナーの使用が最適化されます。 • オフ
CMYK イメージ CMYK 文字 CMYK グラフィックス	• 米国 CMYK—SWOP(米国のオフセット印刷標準規格)色出力の近似値に補正します。 • ユーロ CMYK—EuroScale 色出力の近似値に補正します。 • ビビッド CMYK—米国 CMYK より彩度の高いカラー補正設定が適用されます。 • オフ

カラー印刷についてのよくある質問

RGB カラーとは？

RGB カラーは、ある色を作るのに使用する赤、緑、青色の割合を示すことによって色を表現する方法です。赤、緑、青の光は、さまざまな割合で重ねると自然界で見られる幅広い色を作ることができます。コンピュータ画面、スキャナ、デジタルカメラは、この方法を使用してカラーを表示します。

CMYK カラーとは？

CMYK カラーは、特定の色を再現するのに使用するシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの割合を示すことによって色を表現する方法です。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのインクまたはトナーは、さまざまな割合で印刷すると自然界で見られる幅広い色を作ることができます。印刷機、インクジェットプリンタ、カラーレーザープリンタの色はこのように作ります。

印刷されるドキュメントの色はどのように指定されるのですか？

RGB または CMYK カラーの組み合わせを使用してドキュメントの色を指定および変更するには、ソフトウェアプログラムが使用されます。詳細については、ソフトウェアプログラムのヘルプの項を参照してください。

プリンタは印刷する色をどのように認識するのですか？

ドキュメントを印刷するとき、各オブジェクトのタイプとカラーを示す情報がプリンタに送信され、カラー変換テーブルを通じて渡されます。カラーは、希望する色を作るのに使用するシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのトナー量に換算されます。適用するカラー変換テーブルはオブジェクト情報によって決まります。例えば、文字には 1 種類のカラー変換テーブルを適用し、写真イメージには別のカラー変換テーブルを適用することができます。

手動カラー補正とは？

手動カラー補正が有効である場合、ユーザーが選択したカラー変換テーブルを使用し、オブジェクトを処理します。手動カラー補正の設定は、印刷するオブジェクトのタイプ(文字、グラフィックス、イメージ)によって異なります。また、ソフトウェアプログラムでオブジェクトのカラーを指定する方法(RGB または CMYK の組み合わせ)によっても異なります。異なるカラー変換テーブルを手動で適用する方法については、[「印刷出力で色を変更する」、218 ページ](#)を参照してください。

ソフトウェアプログラムが RGB または CMYK の組み合わせでカラーを指定しない場合、手動カラー補正は役立ちません。また、ソフトウェアプログラムやコンピュータのオペレーティングシステム(OS)がカラー調整を制御している場合も、設定が無効になります。ほとんどの場合、カラー補正を[自動]に設定すると、ドキュメントに対して適切なカラーが選択されます。

特殊な色(企業のロゴなど)はどのように合わせますか？

プリンタの[品質]メニューには、9種類の[カラーサンプル]値があります。これらの設定は EWS のカラーサンプルページにあります。カラーサンプルのいずれかを選択すると、数百のカラーボックスが複数ページに印刷されます。選択したテーブルに応じて、各ボックスに CMYK または RGB の組み合わせが示されます。ボックスに表示された CMYK または RGB の組み合わせを選択したカラー変換テーブルに通すと各ボックスの実際の色が得られます。

カラーサンプルページを確認して、対応する色に最も近い色のボックスを特定できます。次に、ボックスに表示される色の組み合わせを使用して、ソフトウェアプログラムでオブジェクトの色を変更できます。詳細については、ソフトウェアプログラムのヘルプの項を参照してください。[手動カラー補正]は特定オブジェクトに対してカラー変換テーブルを選択して使用する際に必要です。

特定カラーの一致の問題を解決するためにどのカラーサンプルセットを選択するかは、以下の点によって異なります。

- 使用するカラー補正の設定(自動、オフ、手動)
- 印刷するオブジェクトのタイプ(文字、グラフィックス、イメージ)
- ソフトウェアプログラムでオブジェクトのカラーを指定する方法(RGB または CMYK の組み合わせ)

ソフトウェアプログラムが RGB または CMYK の組み合わせでカラーを指定しない場合、カラーサンプルページは役立ちません。また、カラー管理機能を介してプログラムで指定される RGB または CMYK の組み合わせを調整するソフトウェアプログラムもあります。そのような状況では、印刷された色がカラーサンプルページと厳密には合わない場合があります。

印刷が薄く見える

アクション	はい	いいえ
手順 1 [カラー調節]を実行します。 a ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラー調節]をタッチします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が薄く見えますか。	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 [カラーバランス]を実行します。 a ホーム画面で、[設定] > [印刷] > [品質] > [イメージ詳細設定] > [カラーバランス]をタッチします。 b 設定を調整します。 c ドキュメントを印刷します。 印刷が薄く見えますか。	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

FAX に関するトラブル

FAX を送受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 以下の機器のケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 • 電話 • ハンドセット • 留守番電話 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 発信音を確認します。 • FAX 番号に電話をかけて、正しく機能していることを確認します。 • オンフックダイヤル機能をご使用の場合は、ボリュームを上げて発信音が聞こえるかどうかを確認してください。 発信音が聞こえますか？	手順 5 に進みます。	手順 4 に進みます。
手順 4 電話の差し込み口を確認します。 - a 差し込み口に直接アナログ電話を接続します。 - b 発信音を聞いてください。 - c 発信音が聞こえない場合は、別の電話ケーブルをご利用ください。 - d やはり発信音が聞こえない場合は、アナログ電話を別の差し込み口に差し込んでください。 - e 発信音が聞こえたら、その差し込み口にプリンタを接続してください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタがアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続されていることを確認します。 • 統合サービスデジタル通信網 (ISDN) 電話サービスを使用している場合、ISDN ターミナルアダプタのアナログ電話ポートに接続します。詳細については、ISDN プロバイダにお問い合わせください。 • DSL を使用している場合、アナログでの使用をサポートしている DSL フィルタまたはルーターに接続します。詳細については、DSL プロバイダにお問い合わせください。 • 構内交換機 (PBX) 電話サービスをご使用の場合は、PBX のアナログ接続部に接続しているか確認してください。アナログ接続部がない場合は、FAX 機用アナログ電話回線の設置をご検討ください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 6 一時的に他の機器の接続を切断して、他の電話サービスを無効にします。 a プリンタと電話回線間の他の機器（留守番電話、コンピュータ、モデムまたは電話回線スプリッタなど）を切断します。 b 割込通話およびボイスメールを無効にします。詳細については、電話会社にお問い合わせください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 7 に進みます。
手順 7 原稿を一度に 1 ページスキャンしてください。 a FAX 番号にダイヤルしてください。 b 原稿をスキャンします。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

FAX を受信できるが送信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台に正しくセットします。 FAX を送信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 ショートカット番号を正しく設定します。 - ショートカット番号がダイヤルしたい電話番号に設定されていることを確認してください。 - 電話番号を手動でダイヤルします。 FAX を送信できますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

FAX を送信できるが受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 給紙源が空でないことを確認します。 FAX を受信できますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 着信音待機回数の設定をチェックします。 コントロールパネルで、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [呼び出し回数]の順にタッチします。 FAX を受信できますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 プリンタが空白のページを印刷する場合(⇒ 「空白または白のページ」、196 ページ)。 FAX を受信できますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

FAX の印刷品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 印刷品質に問題がないことを確認します。 a 操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]の順にタッチします。 b あらゆる印刷品質の問題を修正します。詳細については、 「印刷品質が悪い」、196 ページ を参照してください。 FAX の印刷品質に問題はありませんか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 FAX の受信速度を下げてください。 a コントロールパネルで、[設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定]をタッチします。 b [送信最大ビット速度]メニューで、遅い送信速度を選択します。 FAX の印刷品質に問題はありませんか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

スキャンに関するトラブル

コンピュータからスキャンできない

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。 b スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブを送信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルがしっかり固定されていることを確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。 b スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブを送信できますか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

文書や写真の一部しかコピーされない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 b 文書または写真をコピーします。 文書または写真は正しくコピーされていますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。 b 文書または写真をコピーします。 文書または写真は正しくコピーされていますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

コピー品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 a 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、スキャナ原稿台ガラスと ADF 原稿台ガラスを清掃してください。お使いのプリンタで、ADF 内部に 2 枚目の ADF 原稿台ガラスがある場合は、そのガラスも清掃してください。 詳細については、 「スキャナの清掃」、143 ページ を参照してください。 b 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。 c 文書または写真をコピーします。 コピーの品質に問題はありますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 文書または写真の質を確認します。 b スキャン品質の設定を調整します。 c 文書または写真をコピーします。 コピーの品質に問題はありますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

スキャンジョブが失敗しました

対応	はい	いいえ
手順 1 ケーブル接続をチェック確認します。 a イーサネットまたは USB ケーブルがコンピュータおよびプリンタにしっかりと接続されていることを確認してください。 b スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブが正常に完了しましたか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 スキャンするファイルを確認します。 a ファイル名が保存先フォルダで既に使用されていないことを確認します。 b スキャンする文書または写真が他のアプリケーションで開かれていないことを確認します。 c スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブが正常に完了しましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a 保存先の設定で[タイムスタンプを追加]または[既存ファイルを上書き]チェックボックスが選択されていることを確認します。 b スキャンジョブを再送信します。 スキャンジョブが正常に完了しましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャナが閉じない

アクション	はい	いいえ
スキャナカバーが閉じない原因となっている障害物を取り除きます。 スキャナカバーは正常に閉じましたか。	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする

対応	はい	いいえ
スキャンを妨害しているすべてのアプリケーションを閉じます。 スキャンに時間がかかる、またはコンピュータが停止してしまいませんか？	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

スキャナが反応しない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 電源コードがプリンタと電源コンセントに接続されていることを確認します。  注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。 b 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 a プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 b ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。 c 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b 原稿をスキャンまたはコピーします。 スキャナは応答していますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

スキャナ登録の調整

- ホーム画面から[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [スキャナ設定] > [スキャナ手動登録]をタッチします。
- [印刷簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- 原稿台ガラスに印刷簡易テストページを配置し、[フラットベッド登録]をタッチします。
- [コピー簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- コピー簡易テストページを原稿と比較します。
メモ: テストページの余白が原稿と異なる場合は、[左余白]と[上余白]を調整します。
- コピー簡易テストページの余白が原稿と一致するまで、[手順 4](#) および [手順 5](#) を繰り返します。

ADF 登録を調整する

- ホーム画面から[設定] > [デバイス] > [メンテナンス] > [設定メニュー] > [スキャナ設定] > [スキャナ手動登録]をタッチします。
- [印刷簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- ADFトレイに印刷簡易テストページをセットします。
- [正面 ADF 登録]または[背面 ADF 登録]をタッチします。
メモ:
 - 前面 ADF 登録を調整するには、短辺方向から ADF ヘテストページ面を上にしてセットします。
 - 背面 ADF 登録を調整するには、短辺方向から ADF ヘテストページ面を下にしてセットします。
- [コピー簡易テスト]メニューで[開始]をタッチします。
- コピー簡易テストページを原稿と比較します。
メモ: テストページの余白が原稿と異なる場合は、[水平方向調整]と[上余白]を調整します。
- コピー簡易テストページの余白が原稿と一致するまで、[手順 5](#) および [手順 6](#) を繰り返します。

カスタマサポートに問い合わせる

カスタマサポートに連絡する前に、次の情報を確認してください。

- プリンタの問題
- エラーメッセージ
- プリンタ機種とシリアル番号

<http://support.lexmark.com> E メールまたはチャットによるサポートを受けるか、マニュアル、サポートドキュメント、ドライバ、およびその他のダウンロードのライブラリを参照するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

電話によるテクニカルサポートもご利用いただけます。米国またはカナダの場合、1-800-539-6275 までお電話ください。その他の国または地域については、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

アップグレードと移行

ハードウェア

使用可能な内蔵オプション

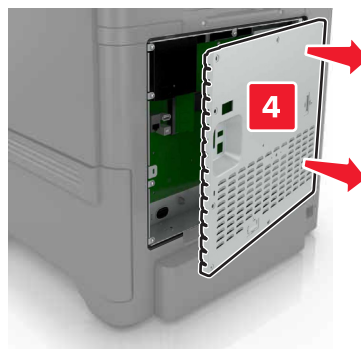
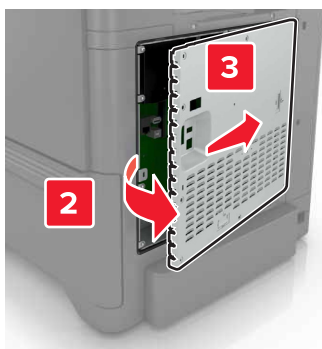
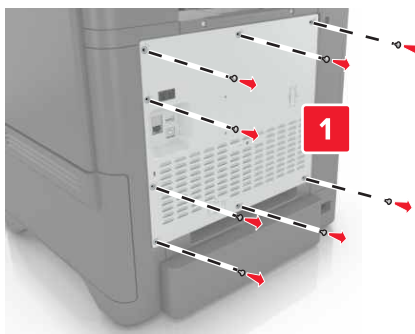
- メモリカード
 - DDR3 DIMM
 - フラッシュメモリ
 - フォント
 - アプリケーションカード
 - 用紙とバーコード
 - 規定
 - IPDS
- Lexmark 内蔵ソリューションポート (ISP)
 - MarkNet N8370 (802.11 a/b/g/n/ac ワイヤレスプリントサーバー)
 - IEEE 1284-B パラレルカード
 - RS-232C シリアルカード

メモリカードを取り付ける

 **注意—感電危険:** 感電の危険を回避するため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 コントローラボードのアクセスカバーを取り外すには、マイナスドライバを使用します。

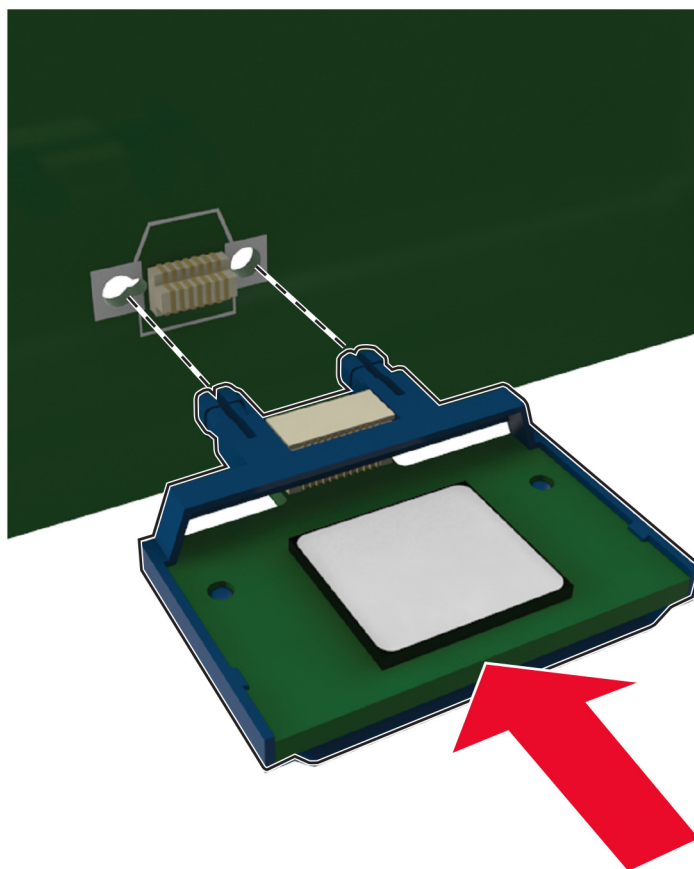
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



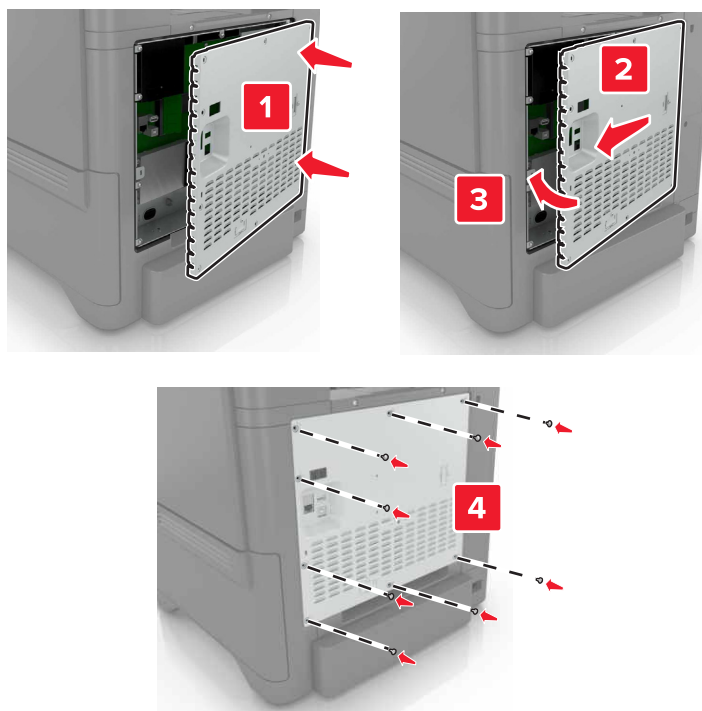
3 メモリカードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。

4 メモリカードを、所定の位置でカチッと音がするまで挿入します。



5 アクセスカバーをもう一度取り付けます。



6 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

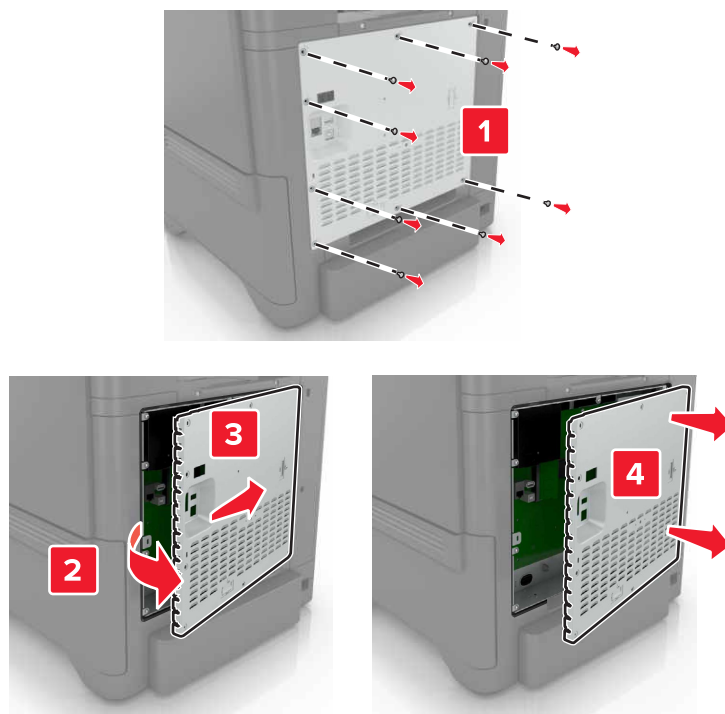
内蔵ソリューションポートを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を回避するため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

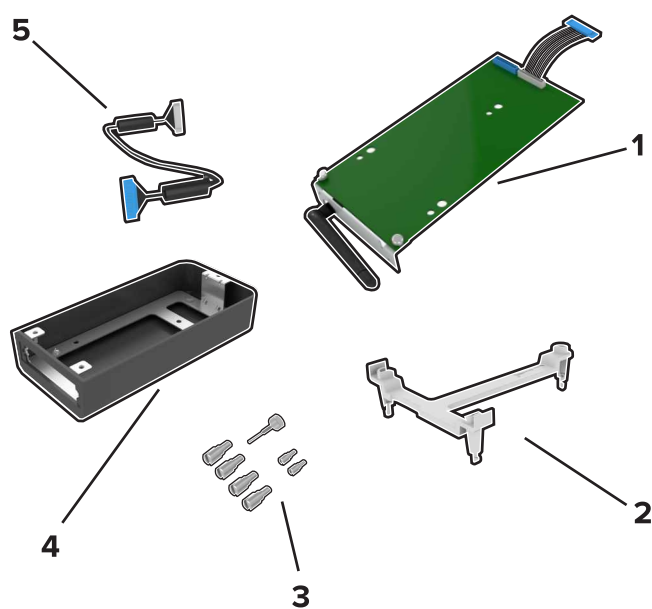
1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

2 コントローラボードのアクセスカバーを取り外すには、マイナスドライバを使用します。

警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



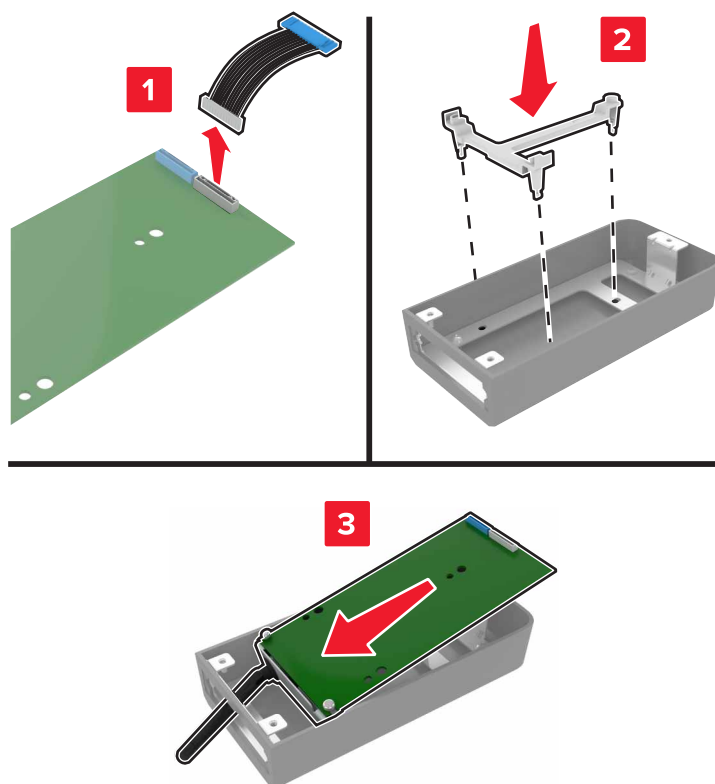
3 内蔵ソリューションポート(ISP)をパッケージから取り出す



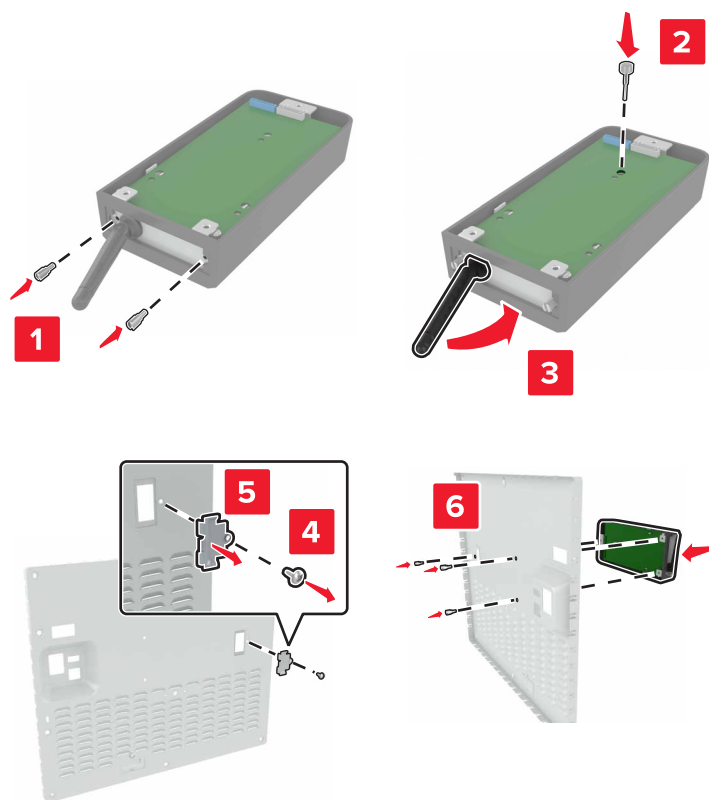
1	ISP
2	取り付けブラケット
3	つまみネジ
4	ハウジング

5 ISP 延長ケーブル

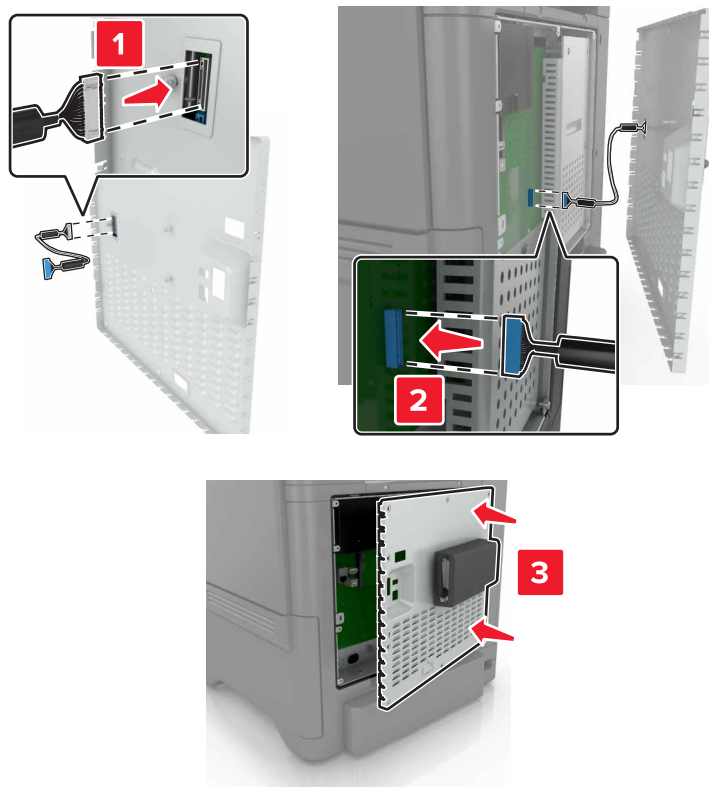
4 ISP をハウジングに取り付けます。



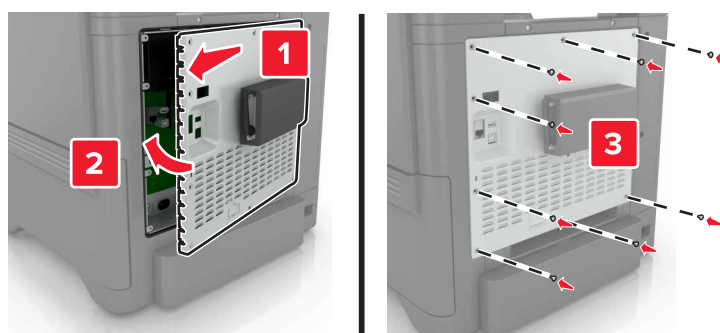
5 コントローラボードのアクセスカバーにハウジングを取り付けます。



6 コントローラボードの ISP コネクタに ISP 延長ケーブルを接続します。



7 コントローラボードのアクセスカバーを再び取り付けます。



8 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

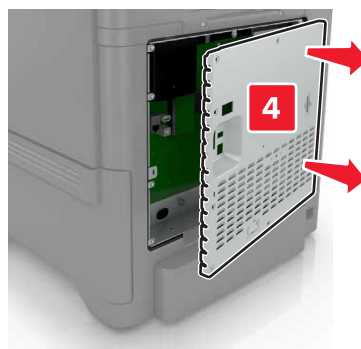
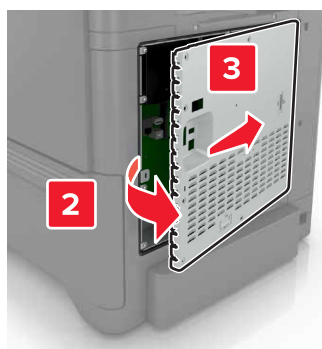
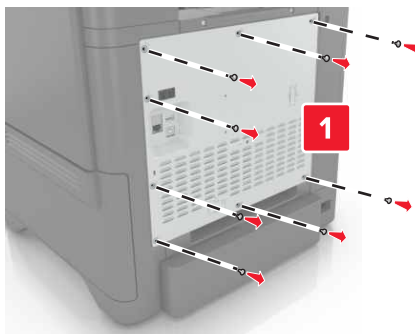
⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

オプションカードを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を回避するため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 コントローラボードのアクセスカバーを取り外すには、マイナスドライバを使用します。

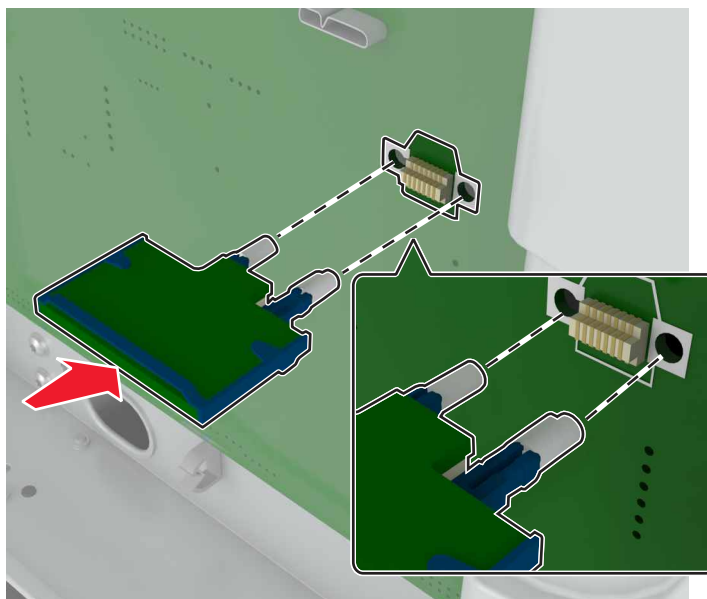
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



- 3 オプションカードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。

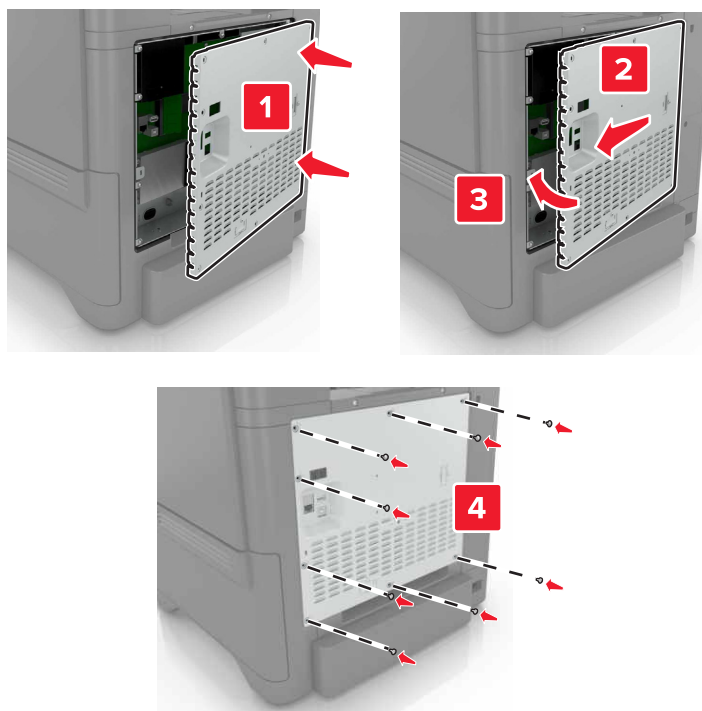
4 カードを所定の位置にしっかりと押し入れます。



メモ: カードのコネクタ全体がコントローラボードに触れ、水平になっている必要があります。

警告—破損の恐れあり: カードを正しく取り付けない場合、カードとコントローラボードが損傷するおそれがあります。

5 アクセスカバーをもう一度取り付けます。



6 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

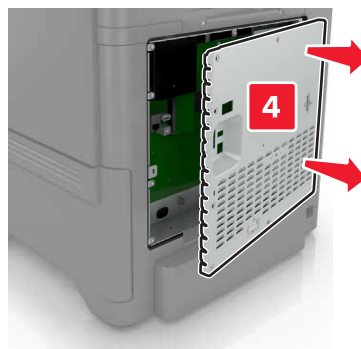
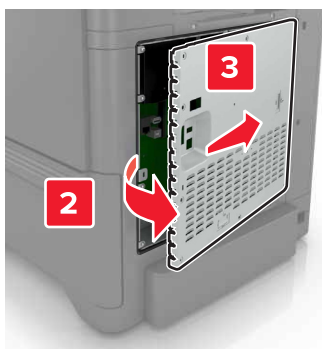
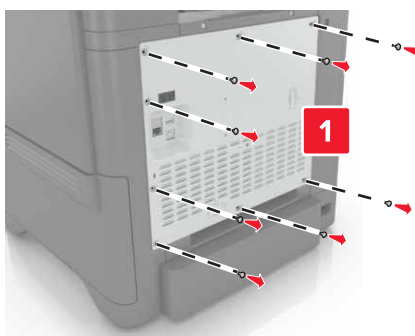
プリンタハードディスクを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を回避するため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

2 コントローラボードのアクセスカバーを取り外すには、マイナスドライバを使用します。

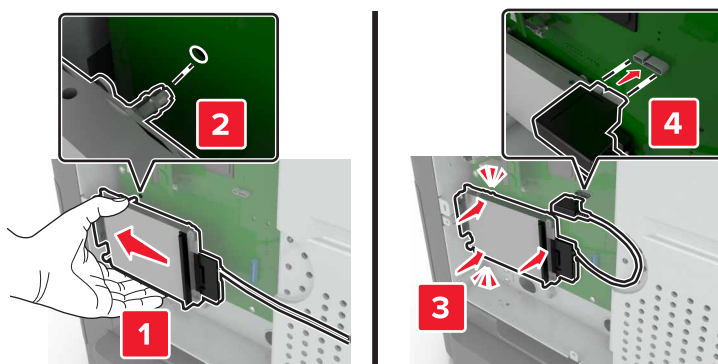
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードの電気コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



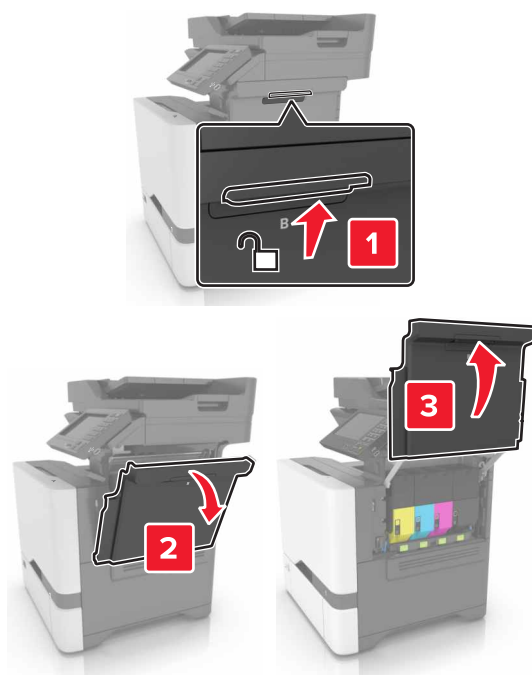
3 ハードディスクを開梱します。

4 ハードディスクをコントローラボードへ取り付けます。

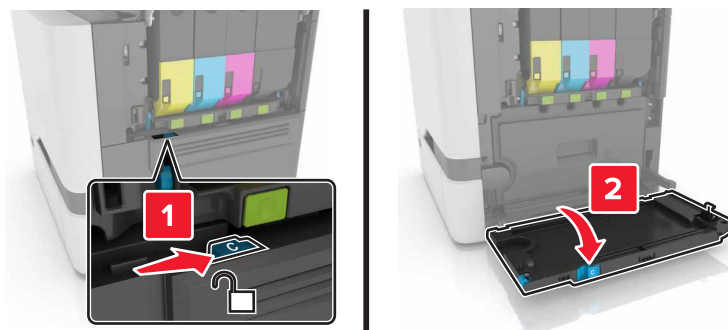
警告—破損の恐れあり: ハードディスクの中央に触れたり、押したりしないでください。



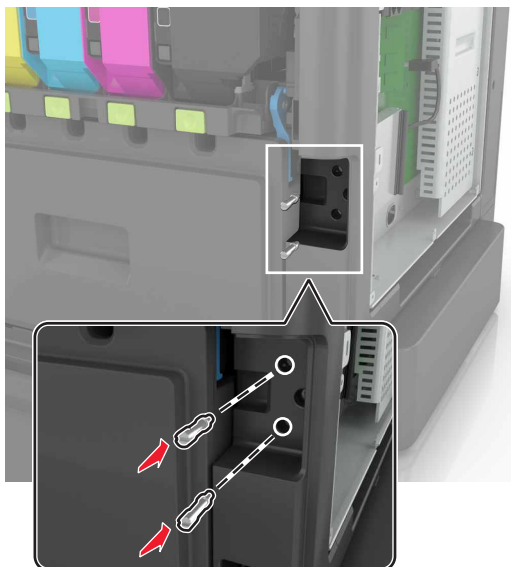
5 ドア B を開きます。



6 ドア C を開きます。

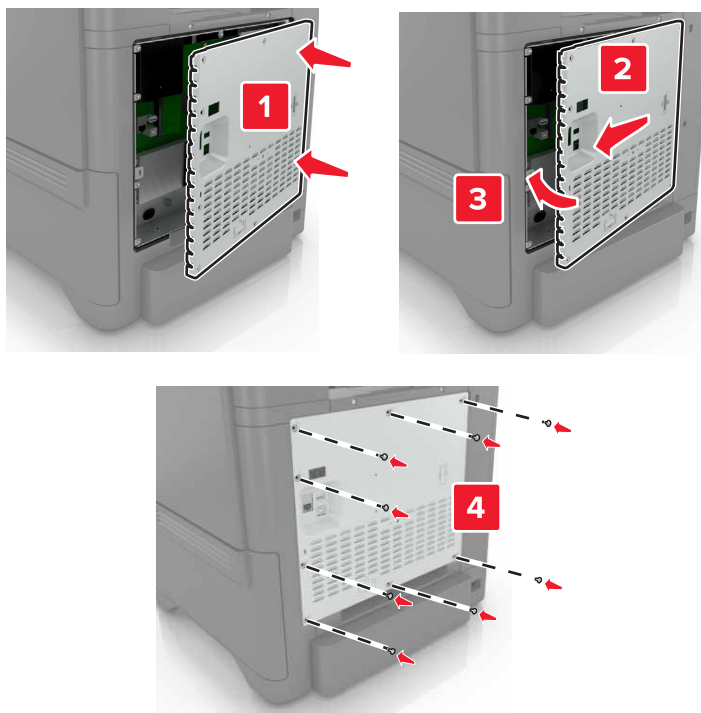


7 つまみねじを使用して、ハードディスクをプリンタにしっかりと固定します。



8 ドア C とドア B を閉じます。

9 コントローラボードのアクセスカバーを再び取り付けます。



10 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

オプショントレイを取り付ける

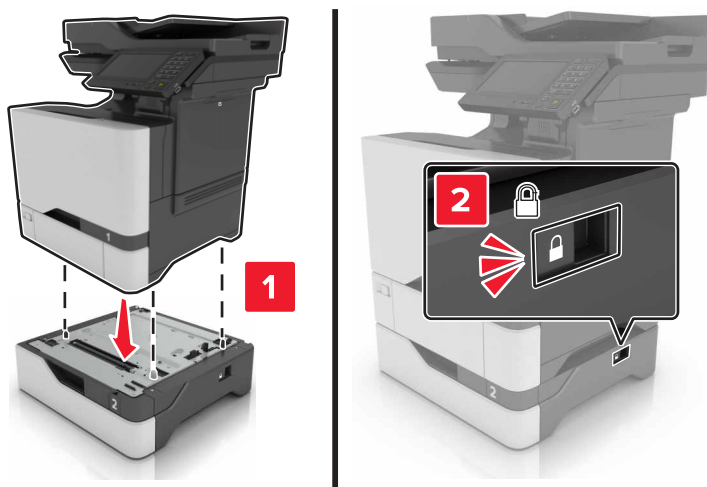
⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタのセットアップ後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付ける場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。
- 3 オプショントレイを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。

メモ: オプショントレイがすでに取り付けられている場合は、プリンタを持ち上げる前にトレイのロックを解除してください。トレイとプリンタを同時に持ち上げないでください。

- 4 プリンタをオプショントレイに合わせ、プリンタユニットを所定の位置までカチッと音がするまで下ろします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタの重量が 20 kg (44 ポンド) 以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。



- 5 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに電源コードを接続します。

- 6 プリンタの電源を入れます。

プリントドライバにトレイを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、[「プリントドライバの使用可能なオプションを追加する」](#)、243 ページを参照してください。

ソフトウェア

プリンタソフトウェアをインストールする

メモ:

- プリントドライバはソフトウェアインストーラパッケージに含まれています。

- macOS バージョン 10.7 以降が搭載されている Macintosh コンピュータの場合は、AirPrint 対応プリンタで印刷するためにドライバをインストールする必要はありません。
- 1 ソフトウェアインストーラパッケージのコピーを取得します。
 - プリンタに付属のソフトウェア CD から
 - <http://support.lexmark.com> にアクセスし、お使いのプリンタとオペレーティングシステム(OS)を選択します。
 - 2 インストーラを実行して、コンピュータの画面の手順に従います。

プリントドライバの使用可能なオプションを追加する

Windows の場合

- 1 プリンタフォルダを開きます。
- 2 更新するプリンタを選択して、次のいずれかを実行します。
 - Windows 7 以降の場合は、[プリンタのプロパティ]を選択します。
 - それ以前のバージョンの場合は、[プロパティ]を選択します。
- 3 [設定]タブに移動して、[今すぐ更新 - プリンタに照会]を選択します。
- 4 変更を適用します。

Macintosh の場合

- 1 アップルメニューの[システム環境設定]からお使いのプリンタに移動して、[オプションとサプライ]を選択します。
- 2 ハードウェアオプションの一覧に移動して、設置済みのオプションを追加します。
- 3 変更を適用します。

ファームウェア

設定ファイルをエクスポートまたはインポートする

プリンタの構成設定をテキストファイルにエクスポートしてから、それをインポートし、他のプリンタに設定を適用できます。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

 - プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
 - プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。
- 2 EWS から、[構成をエクスポート]または[構成をインポート]をクリックします。
- 3 画面に表示される手順に従います。

4 プリンタがアプリケーションをサポートする場合は、次の手順を実行します。

- a [アプリ] > をクリックし、アプリケーションの > [設定]を選択します。
- b [エクスポート]または[インポート]をクリックします。

ファームウェアを更新する

一部のアプリケーションを正しく動作させるためには、デバイスファームウェアの最小レベルが必要になります。

デバイスファームウェアの更新の詳細については、Lexmark 担当者にお問い合わせください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [デバイス] > [ファームウェアを更新]をクリックします。

3 フラッシュファイルを参照します。

4 [アップロード]をクリックします。

通知

製品情報

製品名:

Lexmark CX725de、Lexmark CX725dhe、Lexmark CX725dthe、Lexmark CX725R、Lexmark CX727de、Lexmark XC4140、Lexmark XC4143、Lexmark XC4150、Lexmark XC4153 MFP

機種番号:

7528

機種:

1A9、196、5A6、5A8、5A9、576、578、598

版通知

2020 年 10 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があります、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

本製品の使用に関する Lexmark のプライバシーポリシーの詳細については、www.lexmark.com/privacy にアクセスしてください。

消耗品およびダウンロードについては、www.lexmark.com にアクセスしてください。

© 2017 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark および Lexmark ロゴは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

Google クラウドプリント、Google Chrome、Android、Google Play は、Google LLC の商標です。

Macintosh, App Store, Safari, and AirPrint are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Mopria® のワードマークは、米国およびその他の国における Mopria Alliance, Inc. の登録商標または未登録商標です。無断使用は固く禁じられています。

PCL® は Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のプリンタ製品に含まれるプリンタコマンド(言語)および機能のセットの表示です。このプリンタは PCL 言語に対応します。このことは、プリンタがさまざまなアプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、プリンタがコマンドに対応する機能をエミュレートすることを意味します。

PostScript は米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Wi-Fi® および Wi-Fi Direct® は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

ライセンスに関する通知

この製品に関連するライセンスについての通知はすべて、インストールソフトウェア CD の CD:\NOTICES ディレクトリから表示できます。

騒音レベル

次の計測は ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠した手順で報告されました。

メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

1 メートルの平均音圧 (dBA)	
印刷中	53(片面)、55(両面)
スキャン中	53
コピー中	56
レディ状態	16

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

製品の廃棄

プリンタまたは消耗品は、一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。廃棄とリサイクルの方法については、お住まいの地方自治体にお問い合わせください。

再利用やリサイクルのために Lexmark カートリッジを返却する

Lexmark カートリッジ回収プログラムを使用して、使用済みカートリッジを無料で Lexmark に返却し、再利用やリサイクルに役立てることができます。Lexmark に返却された空のカートリッジの 100 %が、リサイクル用に再利用されるか、再製造されます。また、カートリッジを返却するのに使用されるダンボール箱もリサイクルされます。

再利用やリサイクルのために Lexmark カートリッジを返却するには、以下の手順に従います。

- 1 www.lexmark.com/recycle をご覧ください。
- 2 リサイクルする製品を選択します。

静電気感知に関する通知



このマークは、静電気に敏感な部品であることを示します。このマークの周辺に触れる前に、マークから離れた場所のプリンタの金属フレームに触れてください。

紙詰まりの除去や消耗品の交換などのメンテナンス作業時に、静電気放電による損傷を防ぐため、マークがない場合でも、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

国際エネルギースタープログラム(ENERGY STAR)

ENERGY STAR® のマークが付いている Lexmark 製品、または起動画面でこのマークが表示される Lexmark 製品は、製造日時点でアメリカ環境保護庁(EPA)の ENERGY STAR 基準に準拠しています。



温度に関する情報

動作温度と相対湿度	10 ~ 32.2°C (50 ~ 90°F) および 15 ~ 80% RH
プリンタ/カートリッジ/イメージングユニットの長期保存 ¹	15.3 ~ 32.2°C (60 ~ 90°F) および 8 ~ 15% RH 最高湿球温度: 22.8°C (73°F)
プリンタ/カートリッジ/イメージングユニットの短期輸送	-10 ~ 40°C (14 ~ 104°F)
¹ 消耗品棚の寿命は約 2 年です。これは 22°C (72°F)、湿度 45% の標準的なオフィス環境における保管に基づいています。	
² 湿球温度は空気温度と相対湿度によって決まります。	

レーザーについて

本機は、米国においてクラス I(1)レーザー製品に対する DHHS 21 CFR、Chapter I、Subchapter J の要件に準拠し、その他の国では IEC 60825-1 の要件に準拠するクラス I レーザー製品として認可されています。2014

クラス I レーザー製品は、危険性がないとみなされています。レーザーシステムとプリンタは、通常の操作、ユーザーによるメンテナンス、または所定のサービス条件の下で、ユーザーがクラス I レベルを超えるレーザー放射に絶対

にさらされないように設計されています。プリンタには、以下の仕様のレーザーを含む、メンテナンス不可能なプリントヘッドアセンブリがあります。

クラス: IIIb (3b) AlGaInP

公称出力電力(ミリワット): 15

波長(ナノメートル): 650 ~ 670

電力消費量

製品の消費電力

次の表に、本製品の電力消費特性を示します。

メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

モード	説明	消費電力(W)
印刷	製品が入力データからハードコピー出力を生成しているとき。	700(片面)、600(両面)
コピー	製品が原稿のハードコピー出力を生成しているとき。	460
スキャン	製品が原稿のスキャンを行っているとき。	85
準備完了	印刷ジョブを待機中	100
スリープモード	製品が高レベルのパワーセーブモードの状態にあるとき。	1.67 (CX725、CX727、XC4150、XC4153)、1.66 (XC4140、XC4143)
休止モード	製品が低レベルのパワーセーブモードの状態にあるとき。	0.2
オフ	製品の電源コードがコンセントに差し込まれていて、電源スイッチはオフの状態のとき。	0.2

上記の表に示されている電力消費レベルは、時間的平均測定値です。瞬間的な電力は、この平均値を大きく上回る場合があります。

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

スリープモード

この製品には、スリープモードと呼ばれる省電力モードがあります。スリープモードでは、長時間アイドル状態になった場合、電力消費量を下げることによって電力を節約します。[スリープモードタイムアウト]という一定期間の間に本機が使用されない場合、自動的にスリープモードになります。

本機の工場出荷時のデフォルト[スリープモードタイムアウト](分): 1

設定メニューを使用し、[スリープモードタイムアウト]を1 ~ 120 分の間に変更できます。印刷速度が1分あたり30 ページ以下の場合、タイムアウトは60 分まで設定できます。[スリープモードタイムアウト]を低い値に設定すると電力消費量を下げることができますが、本機の応答時間が長くなる場合があります。[スリープモードタイムアウト]を高い値に設定すると、応答が速くなりますが、電力消費量が多くなります。

休止モード

この製品には、休止モードと呼ばれる超低電力動作モードがあります。休止モードで動作中は、他のシステムやデバイスの電源を安全に切れる状態です。

休止モードに切り替えるには、次のいずれかの方法を使用します。

- 休止モードタイムアウトを使用する
- 電力モードの定期実行を使用する

すべての国または地域におけるこの製品の工場出荷時の休止モードタイムアウト	3 日
--------------------------------------	-----

ジョブが印刷された後から休止モードに切り替わるまでプリンタが待機する時間は、1 時間～ 1 か月の範囲で設定できます。

オフモード

オフモードでも、わずかながら電力を消費します。製品の電力消費を完全になくすには、電源コードをコンセントから抜いてください。

総消費電力

本製品の総消費電力を見積もる必要がある場合があります。消費電力はワット単位で示されているので、総消費電力を計算するには、プリンタの各モードでの消費電力に使用時間を乗じます。プリンタの総消費電力は、各モードでの消費電力の合計です。

通信端末機器の規制に関する通知

このセクションでは、アナログファクシミリカードを含む製品の規制に関する情報を提供しています。

Lexmark 規制タイプ/モデル番号:

LEX-M03-002

日本における通信に関する通知

内蔵のオプションモデムは日本の電気通信法に準拠し、以下の証明書番号によって電気通信端末機器審査協会による認証を受けています。

A11-0160001JP

	Lexmark International, Inc.
	LEX-M03-002
	A11-0160001JP

RFID 製品に関する規制通知

このセクションに記載されている規制情報は、以下の RFID 機種にのみ適用されます。

CX725R

モジュールコンポーネントに関する通知事項(RFID)

RFID モデルには、以下のモジュールコンポーネントが搭載されています。

Lexmark 規制タイプ/モデル番号:FCC ID:IYL0528RFU、カナダ産業省(IC)規則:2376A-0528RFU

高周波エネルギーの放射に対する被爆

この装置の高周波放射出力は、FCC およびその他の監督機関の高周波エネルギーに対する被爆制限値よりはるかに低いものです。アンテナおよび人体から本機器までの距離を最低 20 cm (8 インチ) 確保することにより、FCC の高周波エネルギーに対する被爆制限を満たすことができます。

複数のモデル情報

次の情報は、以下のタイプおよびモデル番号のすべての CX725、CX725R、CX727、XC4140、XC4143、XC4150、XC4153 プリンタ機種に適用されます。

7528-576、7528-578、7528-196、7528-598

日本の VCCI 規定

製品にこのマークが表示されている場合、次の要件を満たしています。



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

モデル固有の情報

次の情報は、以下のタイプおよびモデル番号の CX725、CX725R、CX727、XC4140、XC4143、XC4150、XC4153 プリンタ機種にのみ適用されます。

7528-5A6、7528-5A8、7528-1A9、7528-5A9

日本の VCCI 規定

製品にこのラベルが表示されている場合、
次の要件を満たしています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用す
ると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な
対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電波障害について

警告

本製品は、EN55022/EN55032 クラス A 制限の放射要件および EN55024 の電磁波耐性要件に準拠しています。
本製品は、住宅環境での使用を目的としていません。

本製品はクラス A 製品です。本製品を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こす場合があります。この場合には
使用者が適切な対策を講じる必要があります。

索引

アルファベット

ADF 給紙トレイ
交換 165
ADF 給紙トレイを交換する 165
ADF 区切りローラーを交換する 168
ADF スキャンパッド
交換 166
ADF スキャンパッドを交換する 166
ADF セパレーターローラー
交換 168
ADF 登録
調整 226
ADF 登録を調整する 226
ADF を使用
コピー 42
AirPrint
使用 36
Android デバイス
印刷 35
Card Copy
セットアップ 19
Embedded Web Server を開けない 187
E メール
アドレス帳を使用する 46
原稿台ガラスを使用 45
自動原稿フィーダ(ADF)の使用 45
ショートカット番号を使用 46
プリンタを使用する 46
E メールサーバー
セットアップ 45
E メールショートカット
作成 46
E メール用の SMTP サーバー
設定 45
E メールを送信する 46
Fax
SMTP サーバーの設定 47
送信スケジュールを設定する 55
転送 56
保留 56
原稿台ガラスを使用 54
自動原稿フィーダ(ADF)の使用 54
日付および時刻の設定 54

FAX 宛先のショートカット
作成 55
FAX 解像度
変更 55
FAX スピーカー
設定を構成する 139
FAX の印刷品質が悪い 223
FAX の初期設定
国または地域固有 50
標準電話回線接続 48
Fax の設定
国または地域固有 50
標準電話回線接続 48
FAX の濃度
調整 56
FAX の保留 56
FAX の問題に対処する
FAX を受信できない 222
FAX を送受信できない 221
FAX を送信できない 222
印刷品質が良くない 223
FAX 用に SMTP サーバーを設定する 47
FAX 用の SMTP サーバー
設定 47
FAX ログ
表示 56
FAX ログの閲覧 56
FAX を受信できない 222
FAX をスケジュール設定する 55
Fax を送信する
コンピュータを使用する 54
操作パネルを使用する 54
FAX を送信できるが受信できない 222
FCC 通知 250
FTP アドレス
ショートカットの作成 57
FTP サーバー、スキャンする
操作パネルを使用する 57
FTP サーバーへのスキャンデータの送信
操作パネルを使用する 57
Google クラウド プリント
使用 35
ISP の取り付け後にプリンタポート
設定を変更する 142
Lexmark 以外の消耗品 192

Lexmark の純正部品と純正消耗品 145
Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する 145
Lexmark モバイル印刷
使用 35
Mopria プリントサービス 36
QR コード
追加 21
QR コードジェネレータを使用する 21
RJ11 アダプタ 50
SMTP サーバーの設定 45
USB ケーブル 13
USB ポート 13
有効化 188
USB ポートを有効にする 188
Wi-Fi Protected Setup
ワイヤレスネットワーク 140
wifi ダイレクト 141
モバイルデバイスから印刷する 36
wifi ダイレクトを有効化 141
Wi-Fi ネットワーク
無効化 142
Wi-Fi ネットワークの無効化 142

あ行

明るさの調整
プリンタディスプレイ 175
アダプタプラグ 50
厚紙
用紙をセット 29
アプリケーション、サポートされている 18
暗号化
プリンタハードディスク 137
安全情報 7, 8, 9
イーサネットケーブル 13
イーサネットポート 13
イメージングキット
交換 154
注文 147
イメージングキットを交換する 154
イメージングユニット
交換 150
注文 147

イメージングユニットを交換する 150
色品質、問題に対処する
印刷が薄く見える 220
印刷
Android デバイスから 35
Google クラウドプリントを使用する 35
Mopria プリントサービスを使用する 36
wifi ダイレクトを使用する 36
クラウドコネクタプロファイルから 40
コンピュータから 35
ディレクトリリスト 40
フォントサンプルリスト 40
フラッシュドライブから 37
メニュー設定ページ 136
モバイルデバイスから 35, 36
印刷が薄い 203
印刷が薄く見える 220
印刷が遅い 214
印刷が濃い 197
印刷が歪む 207
印刷ジョブ
コンピュータからキャンセルする 40
プリンタ操作パネルから印刷ジョブをキャンセルする 40
印刷ジョブが印刷されない 216
印刷ジョブの保存 38
印刷ジョブを確認 38
Macintosh コンピュータから印刷 39
Windows から印刷 39
印刷ジョブをキャンセルする
コンピュータから 40
プリンタ操作パネルから 40
印刷ジョブを繰り返し 38
Macintosh コンピュータから印刷 39
Windows から印刷 39
印刷ジョブを戻す
Macintosh コンピュータから印刷 39
Windows から印刷 39
印刷にゴーストが表示される 198
印刷に縦方向の黒い線が表示される 211
印刷の濃さが均一ではない 210
印刷の問題に対処する
印刷が遅い 214

印刷時に封筒の封が閉じられる 193
印刷ジョブが印刷されない 216
紙詰まりが発生したページが再印刷されない 196
コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保留ドキュメントが印刷されない 213
ジョブが正しくないトレイから印刷される 218
ジョブが正しくない用紙で印刷される 218
正しくないマージン 203
トレイのリンクが動作しない 194
頻繁な紙詰まり 195
部単位印刷が動作しない 193
フラッシュメモリを読み取れない 188
用紙が巻いてしまう 194
印刷の問題を繰り返す 207
印刷品質
イメージングキットを交換する 154
スキャナを清掃する 143
印刷品質テストページ 136
印刷品質の問題に対処する
印刷が薄い 203
印刷が濃い 197
印刷が歪む 207
印刷にゴーストが表示される 198
印刷に縦方向の黒い線が表示される 211
印刷の濃さが均一ではない 210
印刷の問題を繰り返す 207
空白または白のページ 196
グレースケールまたはカラーの背景 199
縦方向の白い線 212
単色または黒の画像 208
トナーがはがれ落ちる 210
まだらな印刷やドット 205
文字または画像が切り取られる 209
歪んだ印刷 207
横方向の黒い線 200
横方向の白い線 202
インジケータランプ
状態について理解する 15
オプション
内蔵ソリューションポート 231
ファームウェアカード 228

メモ리카ード 228
ワイヤレス 228
オプションカード
設置 236
オプションカードを取り付ける 236
オプションを取り付ける
プリンタハードディスク 238
音声ガイダンス
スピーチ速度 25
有効化 25
音声ガイダンスのスピーチ速度調整 25
音声ガイダンスの有効化 25
音声のパスワード
有効化 25
音声のパスワードの有効化 25

か行

解像度を変更する
Fax 55
開発者キット
交換 154
拡大モード
有効化 25
拡大モードを有効にする 25
カスタマサポート
使用 21
問い合わせ 227
カスタマサポートに問い合わせる 227
カスタマサポートを使用する 21
仮想キーボード
使用 26
カートリッジを交換してください。プリンタの地域設定が一致しません 191
壁紙を変更する 20
紙詰まり
防止 177
紙づまり箇所
場所 178
紙づまりが発生しているエリアにアクセスする 178
紙詰まり、取り除く
フューザー内 182
両面印刷ユニット内 182
自動原稿フィーダ 180
多目的フィーダ 180
トレイ 179
紙詰まりを取り除く
標準排紙トレイ 181
紙詰まりを防止する 177

画面の操作

- ジェスチャを使用する 25
- 画面をカスタマイズする 20
- カラー印刷についてのよくある質問 219
- カラー出力を変更する 218
- カラー補正 218
- 環境設定 175
- 揮発性に関する記述 138
- 揮発性メモリ 138
 - 消去 137
- 空白ページ 196
- 区切りパッド
 - 交換 163
- 区切りパッドを交換する 163
- クラウドコネクタブロファイル
 - 印刷 40
 - 作成 21
 - スキャン 59
- クラウドコネクタブロファイルを作成する 21
- グループ
 - 削除 24
 - 追加 23
 - 編集 24
- グループを削除する 24
- グループを追加する 23
- グループを編集する 24
- グレースケールまたはカラーの背景 199
- ケーブルを接続する 13
- 原稿
 - スキャンして FAX サーバーに送信する 59
- 原稿台ガラス
 - 使用 42, 45, 54, 57
- 原稿台ガラスを使用 42, 45, 54, 57
 - コピー 42
- 濃さを調整する
 - Fax 56
- 個人 ID 番号
 - 有効化 25
- 個人 ID 番号方式 140
- 個人識別番号の有効化 25
- コピー
 - 原稿台ガラスを使用 42
 - 自動原稿フィーダ(ADF)の使用 42
 - 写真 42
 - 用紙の両面 43
 - レターヘッド紙 42

- コピーする
 - 選択したトレイ 42
- コピーの拡大 43
- コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する
 - コピー 43
- コピーの縮小 43
- コピーの問題に対処する
 - コピー品質が悪い 224
 - スキャナが反応しない 225
 - 文書や写真の一部分しかコピーされない 224
- コピーを作成する 42
- コンピュータから印刷する 35
- コンピュータにスキャン
 - セットアップ 59
- コンピュータへのスキャン 59
- コンフィデンシャル印刷ジョブ 38
 - Macintosh コンピュータから印刷 39
 - Windows から印刷 39
- コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持されたジョブを印刷する
 - Macintosh コンピュータから印刷 39
 - Windows から 39
- コンフィデンシャルドキュメントが印刷されない 213

さ行

- サイズの異なる用紙、コピー 42
- サイズの異なる用紙をコピーする 42
- サポートされているファイルタイプ 38
- サポートされているフラッシュドライブ 38
- サポートされている用紙サイズ 32
- サポートされている用紙タイプ 33
- サポートされている用紙の重さ 34
- サポートされるアプリケーション 18
- ジェスチャを使用した画面操作 25
- 自動原稿フィーダ(ADF)
 - 使用 42, 45, 54, 57
- 自動原稿フィーダ(ADF)の使用 42, 45, 54, 57
- 写真、コピー 42
- 受信した FAX
 - 転送 56
 - 保留 56

出荷時初期設定

- 復元 137
- 手動カラー補正 218
- 使用可能な内蔵オプション 228
- 消耗品
 - 節約 175
- 消耗品使用量カウンタ
 - リセット 192
- 消耗品使用量カウンタをリセットする 192
- 消耗品、注文
 - イメージングキット 147
 - イメージングユニット 147
 - トナーカートリッジ 146
 - 廃トナーボトル 147
- 消耗品通知
 - 設定 148
- 消耗品通知を設定する 148
- 消耗品の状態
 - 確認 145
- 消耗品を節約する 175
- 消耗品を注文する
 - 廃トナーボトル 147
- 初期設定の音量を調整する
 - ヘッドホン 139
- 初期設定のスピーカー音量調整 139
- 初期設定のスピーカー音量を調整する 139
- 初期設定のヘッドホン音量調整 139
- ショートカット、作成
 - E メール 46
 - Fax 宛先 55
 - FTP アドレス 57
 - コピー 44
- ショートカットセンター
 - 使用 19
- ショートカットの作成
 - E メール 46
 - Fax 宛先 55
 - FTP アドレス 57
- ショートカットの追加
 - コピー 44
 - E メール 46
 - Fax 宛先 55
 - FTP アドレス 57
- ショートカットを作成する
 - コピー 44
 - ネットワークフォルダ 57
- シリアル印刷
 - セットアップ 142

シリアル印刷を設定する 142
シリアルインターフェイスカード
問題に対処する 190
白のページ 196
スキャナ
清掃 143
スキャナが閉じない 225
スキャナの清掃 136
スキャナのメンテナンスが必要、
ADF キットを使用 192
スキャン
クラウドコネクタプロファイル
へ 59
原稿台ガラスを使用 57
自動原稿フィーダ(ADF)の使
用 57
データの FTP サーバーへの送
信 57
スキャンして FAX サーバーに送信
する 59
スキャンセンター
セットアップ 19
スキャンの問題に対処する
コピー品質が悪い 224
コンピュータからスキャンできな
い 223
スキャナが反応しない 225
スキャンジョブが失敗しまし
た 224
スキャンに時間がかかりすぎ
る 225
スキャンによってコンピュータがフ
リーズする 225
文書や写真の一部分しかコピー
されない 224
スクリーンセーバーを管理する 20
スピーカー
初期設定の音量 139
スピーチ速度の調整
音声ガイダンス 25
スライドショーを実行する 20
スリープモード
設定 175
清掃
スキャナ 143
プリンタの外観 143
プリンタの内部 143
設定ファイルをインポートする
Embedded Web Server を使用
する 243

設定ファイルをエクスポートする
Embedded Web Server を使用
する 243
設定を構成する
FAX スピーカー 139
節電モード
設定 175
騒音レベル 246
操作パネル
使用 15
操作パネルを使用する 15

た行

対処、色品質
印刷が薄く見える 220
対処、印刷品質
印刷が薄い 203
印刷が濃い 197
印刷が歪む 207
印刷にゴーストが表示され
る 198
印刷に縦方向の黒い線が表示さ
れる 211
印刷の濃さが均一ではない 210
印刷の問題を繰り返す 207
空白または白のページ 196
グレースケールまたはカラーの背
景 199
縦方向の白い線 212
単色または黒の画像 208
トナーがはがれ落ちる 210
まだらな印刷やドット 205
文字または画像が切り取られ
る 209
歪んだ印刷 207
横方向の黒い線 200
横方向の白い線 202
正しくないマージン 203
縦方向の白い線 212
多目的フィーダ
用紙をセット 29
多目的フィーダの紙詰まり 180
単色または黒の画像 208
着信識別サービス、FAX
有効化 53
着信識別サービスへの接続 53
注文
イメージングキット 147
イメージングユニット 147
転写モジュール 148
フューザーメンテナンスキッ
ト 148
丁合印刷する 43
調整
スキャナ登録 226
通知 246, 248, 249, 250, 251
詰まり、取り除く
多目的フィーダ 180
ドア E の後ろ 180
トレイ 179
ディスプレイのカスタマイズ
使用 20
ディスプレイのカスタマイズを使用
する 20
ディスプレイのキーボード
使用 26
ディレクトリリスト
印刷 40
ディレクトリリストを印刷する 40
デバイスクォータ
セットアップ 20
デバイスクォータを設定する 20
電源コードソケット 13
電源ボタンのランプ
状態について理解する 15
転写モジュール
交換 170
注文 148
転写モジュールのページ数をリセッ
トする 174
転写モジュールを交換する 170
ドア A の紙詰まり 182
ドア E の後ろの紙詰まり 180
ドキュメント、印刷
コンピュータから 35
モバイルデバイスから 35
トナーカートリッジ
交換 149
注文 146
トナーカートリッジを交換する 149
トナーがはがれ落ちる 210
トナーの濃さ
調整 218
トナーの濃さを調整する 218
トナーの節約 43
トレイ
設置 242
用紙をセット 27
リンク 30
リンク解除 30
トレイの紙詰まり 179
トレイのリンク 30
トレイのリンク解除 30

な行

内蔵オプション 228
 設置 236
 メモリカード 228
内蔵オプション、追加
 プリントドライバ 243
内蔵オプションを追加する
 プリントドライバ 243
内蔵ソリューションポート
 設置 231
 問題に対処する 190
内蔵ソリューションポートの取り付け 231
内部オプションが検出されません 189
夏時間
 設定 54
夏時間を設定する 54
二酸化炭素排出量に関する通知 246, 250, 251
日時
 FAX 設定 54
ネットワーク設定ページを印刷する 188
ネットワークフォルダ
 ショートカットを作成する 57

は行

廃トナーボトル
 交換 158
 注文 147
廃トナーボトルを交換する 158
ハイバネートモード
 設定 175
ハードウェアオプション
 トレイ 242
ハードウェアオプション、追加
 プリントドライバ 243
ハードウェアオプションを追加する
 プリントドライバ 243
ハードディスクメモリ
 消去 137
ハードディスクメモリを消去する 137
パラレルインターフェイスカード
 問題に対処する 190
ピックアップ
 交換 161
ピックアップを交換する 161
標準排紙トレイの紙詰まり 181
ファームウェアカード 228

ファームウェア、更新 244
ファームウェアを更新する 244
封筒
 用紙をセット 29
フォルダを作成する
 ブックマーク用 23
フォントサンプルリスト
 印刷 40
フォントサンプルリストを印刷する 40
不揮発性メモリ 138
 消去 137
複数のページをコピーする
 1 枚の用紙へ 43
複数部をソートする 43
部単位印刷が動作しない 193
ブックマーク
 作成 22
 フォルダを作成する 23
 ブックマークを作成する 22
 プッシュボタン方式 140
部品と消耗品の状況を確認する 145
部品の状態
 確認 145
部品を交換する
 ADF セパレーターローラー 168
 区切りパッド 163
 転写モジュール 170
 ピックアップローラー 161
フューザー
 交換 159
フューザーのページ数をリセットする 174
フューザーメンテナンスキット
 注文 148
フラッシュドライブから印刷する 37
フラッシュドライブにスキャンする 58
フラッシュメモリ
 印刷 37
 スキャン 58
フラッシュメモリ空領域がリソースには不足 191
フラッシュメモリ不良 191
フラッシュメモリを読み取れない
 問題に対処する、印刷 188
プリンタ
 移動 11
 完全に設定 12
 基本モデル 12
 最小スペース 11
 設置場所を選択する 11
 搬送 174
プリンタオプションの問題に対処する
 シリアルインターフェイスカード 190
 内蔵オプションが検出されない 189
 内蔵ソリューションポート 190
 パラレルインターフェイスカード 190
プリンタが応答していない 217
プリンタ構成 12
プリンタ周辺の温度 247
プリンタ周辺の湿度 247
プリンタ情報
 確認 10
プリンタ設定
 工場出荷状態に復元する 137
プリンタソフトウェア
 設置 242
プリンタソフトウェアをインストールする 242
プリンタディスプレイ
 明るさの調整 175
プリンタディスプレイの明るさを調整する 175
プリンタに関する詳細情報を見つける 10
プリンタの状態 15
プリンタの清掃 143
プリンタの接続を確認する 188
プリンタの設置場所を選択する 11
プリンタのハードディスクの取り付け 238
プリンタのワイヤレスネットワーク
 モバイルデバイスの接続先 141
プリンタハードディスク
 暗号化 137
プリンタハードディスクメモリ 138
プリンタポート 13
プリンタポート設定
 変更 142
プリンタメッセージ
 Lexmark 以外の消耗品 192
 カートリッジを交換してください。プリンタの地域設定が一致しません 191
 スキャナのメンテナンスが必要、ADF キットを使用 192
 フラッシュメモリ空領域がリソースには不足 191

フラッシュメモリ不良 191
未フォーマットフラッシュメモリ検出 191
プリンタメニュー 60
プリンタメモリを消去する 138
プリンタメモリを保護する 138
プリンタを移動する 11, 174
プリンタを接続する
 ワイヤレスネットワークに 140
プリンタを着信音に割り当てる 53
プリンタを搬送する 174
プリントドライバ
 設置 242
 ハードウェアオプション、追加 243
プリントドライバをインストールする 242
保持されたジョブ 38
 Macintosh コンピュータから印刷 39
 Windows から印刷 39
ホーム画面
 カスタマイズ 18
ホーム画面のアイコン
 使用 16
 表示 18
ホーム画面を使用する 16
保留ドキュメントが印刷されない 213

ま行

まだらな印刷やドット 205
未フォーマットフラッシュメモリ検出 191
迷惑 FAX
 ブロック 56
迷惑 FAX のブロック 56
メニュー
 802.1x 122
 E メール初期値設定 103
 E メール設定 101
 Fax 135
 FAX サーバー設定 99
 FAX 設定 89
 FAX モード 89
 FTP 初期値設定 107
 Google クラウド プリント 125
 HTML 82
 HTTP/FTP の設定 123
 IPSec 121
 Lexmark に送信される情報 68
 LPD 構成設定 122

PCL 81
PDF 80
PostScript 81
SNMP 120
TCP/IP 118
ThinPrint 124
USB 124
USB デバイスのスケジュール 129
Web リンク設定 107
wifi ダイレクト 125
XPS 80
イーサネット 117
一時データファイルの消去 133
印刷する 134
印刷品質 78
エコモード 62
遠隔操作パネル 63
外部ネットワークアクセスの制限 125
カスタムスキャンサイズ 85
画像 83
基本設定 61
権限を管理 127
工場出荷状態に復元 69
このプリンタについて 75
コピー初期設定 86
コンフィデンシャル印刷設定 132
ショートカット 135
ジョブアカウント 79
セキュリティ監査ログ 129
設定メニュー 69
セットアップ 77
その他 133
ソリューション LDAP 設定 133
通知 64
ディスク暗号化 132
デバイス 134
電源管理 67
トレイ構成設定 84
ネットワーク 135
ネットワークの概要 115
標準設定のログイン方式 128
フラッシュドライブ印刷 114
フラッシュドライブスキャン 111
ヘルプ 135
ホーム画面アイコンの表示 75
未使用時の消去 74
メニュー設定ページ 134
問題に対処する 136
ユーザー補助機能 68
ユニバーサル設定 84

用紙の種類 85
レイアウト 75
ローカルアカウント 128
ログイン制限 131
ワイヤレス 116
メニュー設定ページ
 印刷 136
メモ리카ード 228
 設置 228
メモ리카ードを取り付ける 228
メンテナンスカウンタ
 リセット 174
メンテナンスカウンタをリセットする 174
文字または画像が切り取られる 209
モバイルデバイス
 印刷 35, 36
モバイルデバイスを接続する
 プリンタのワイヤレスネットワークに 141
問題に対処する
 Embedded Web Server を開けない 187
 カラー印刷についてのよくある質問 219
 プリンタが応答していない 217
問題に対処する、FAX
 FAX を送受信できない 221
 FAX を送信できない 222
 印刷品質が良くない 223
問題に対処する、印刷
 印刷が遅い 214
 印刷時に封筒の封が閉じられる 193
 印刷ジョブが印刷されない 216
 紙詰まりが発生したページが再印刷されない 196
 コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保留ドキュメントが印刷されない 213
 ジョブが正しくないトレイから印刷される 218
 ジョブが正しくない用紙で印刷される 218
 正しくないマージン 203
 トレイのリンクが動作しない 194
 頻繁な紙詰まり 195
 部単位印刷が動作しない 193
 用紙が巻いてしまう 194
問題に対処する、コピー
 コピー品質が悪い 224

スキャナが閉じない 225
スキャナが反応しない 225
文書や写真の一部分しかコピー
されない 224
問題に対処する、スキャン
コピー品質が悪い 224
コンピュータからスキャンできな
い 223
スキャナが閉じない 225
スキャナが反応しない 225
スキャンジョブが失敗しまし
た 224
文書や写真の一部分しかコピー
されない 224
問題に対処する、プリンタオプショ
ン
内蔵オプションが検出されな
い 189
内蔵ソリューションポート 190

や行

歪んだ印刷 207
ユニバーサル用紙サイズ
設定 27
ユニバーサル用紙サイズを設定す
る 27
用紙
印刷 35
ユニバーサルサイズ設定 27
用紙サイズ
設定 27
用紙サイズを設定する 27
用紙節約 43
用紙タイプ
設定 27
サポート 33
用紙タイプを設定する 27
用紙とお気に入り
セットアップ 18
用紙の重量
サポート 34
用紙を印刷する 35
用紙をセット
厚紙 29
多目的フィーダ 29
封筒 29
用紙をトレイにセットする 27
横方向の黒い線 200
横方向の白い線 202

ら行

リサイクル
Lexmark 梱包 176
Lexmark 製品 175
リセット
消耗品使用量カウンタ 192
両面コピー 43
留守番電話
セットアップ 48
レターヘッド
コピー 42
連絡先
削除 24
追加 23
編集 24
連絡先を削除する 24
連絡先を追加する 23
連絡先を編集する 24

わ行

ワイヤレスオプション 228
ワイヤレスネットワーク 140
Wi-Fi Protected Setup 140
プリンタに接続する 140
ワイヤレスネットワークに接続する
PIN 方式を使用する 140
プッシュボタン方式を使用す
る 140